

子育て支援に関するアンケート調査結果

I 調査の概要

1 調査対象者及び調査方法

対象者	配付方法	回収方法
区内子育て施設を利用している子どもの保護者 (認可保育所、幼稚園、認定こども園、認証保育所、家庭的保育事業所、小規模保育所、児童館・子ども未来プラザ、子育てひろば)	利用している施設 で配付	利用している施設 またはインター ネットでの回収
区内子育て施設を利用している子どもとその保護者 (学童保育クラブ)		
無作為抽出した区内に住む小学生、中学生、高校生と その保護者	自宅に郵送	郵送またはイン ターネットでの 回収

※いずれも無記名自記式

2 調査期間

令和6年6月24日から7月10日

3 配付・回収状況

①保護者調査

施設等の種別	対象施設数	配付数	回収数	回収率
認可保育所（公立・私立）	8	643	301	46.8%
幼稚園（公立・私立）	2	132	40	30.3%
認定こども園	2	215	87	40.5%
認証保育所	1	30	15	50.0%
家庭的保育事業所（保育ママ）	14	56	36	64.3%
小規模保育事業所	1	19	13	68.4%
学童保育クラブ（公立・私立）	6	125	42	33.6%
児童館・子ども未来プラザ	7	165	46	27.9%
子育てひろば（公立・私立）	2	110	91	82.7%
小計	43	1,495	671	44.9%
郵送調査		500	179	35.8%
合計		1,995	850	42.6%

②子ども調査

施設等の種別	対象施設数	配付数	回収数	回収率
学童保育クラブ(公立・私立)	6	165	35	31.1%
郵送調査	-	500	137	27.4%
合計		665	172	25.9%

(参考)

		配付数	回収数	回収率
令和5年度	保護者調査	1,989	1,022	51.4%
	子ども調査	606	183	30.2%
令和4年度	保護者調査	1,900	951	50.1%
	子ども調査	620	237	38.2%
令和3年度	保護者調査	1,887	1,026	54.4%
	子ども調査	586	241	41.1%
令和2年度		2,499	1,569	62.8%
令和元年度		2,477	1,445	58.3%

※令和2年度以前の調査は、区内の子育て施設等を利用している児童の保護者を調査対象としている。

4 回答方法

①保護者調査

	回収数	割合
調査票(紙)回答	441	51.9%
インターネット回答	409	48.1%
合計	850	

②子ども調査

	回収数	割合
調査票(紙)回答	87	50.6%
インターネット回答	85	49.4%
合計	172	

5 調査結果の見方

- 図中の「n」は、当該設問の回答者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の回答者数より小さくなります。
- 集計した数値（％）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- 解説における回答比率の前年度との比較は、以下の指標に基づいて表現しています。
 - 3ポイント未満の変化…「大きな変化はみられません」
 - 3ポイント以上5ポイント未満の変化…「やや増加（または減少）しています」
 - 5ポイント以上10ポイント未満の変化…「増加（または減少）しています」
 - 10ポイント以上の変化…「大きく増加（または減少）しています」

Ⅱ 調査結果（保護者）

1 子育てに関するそれぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

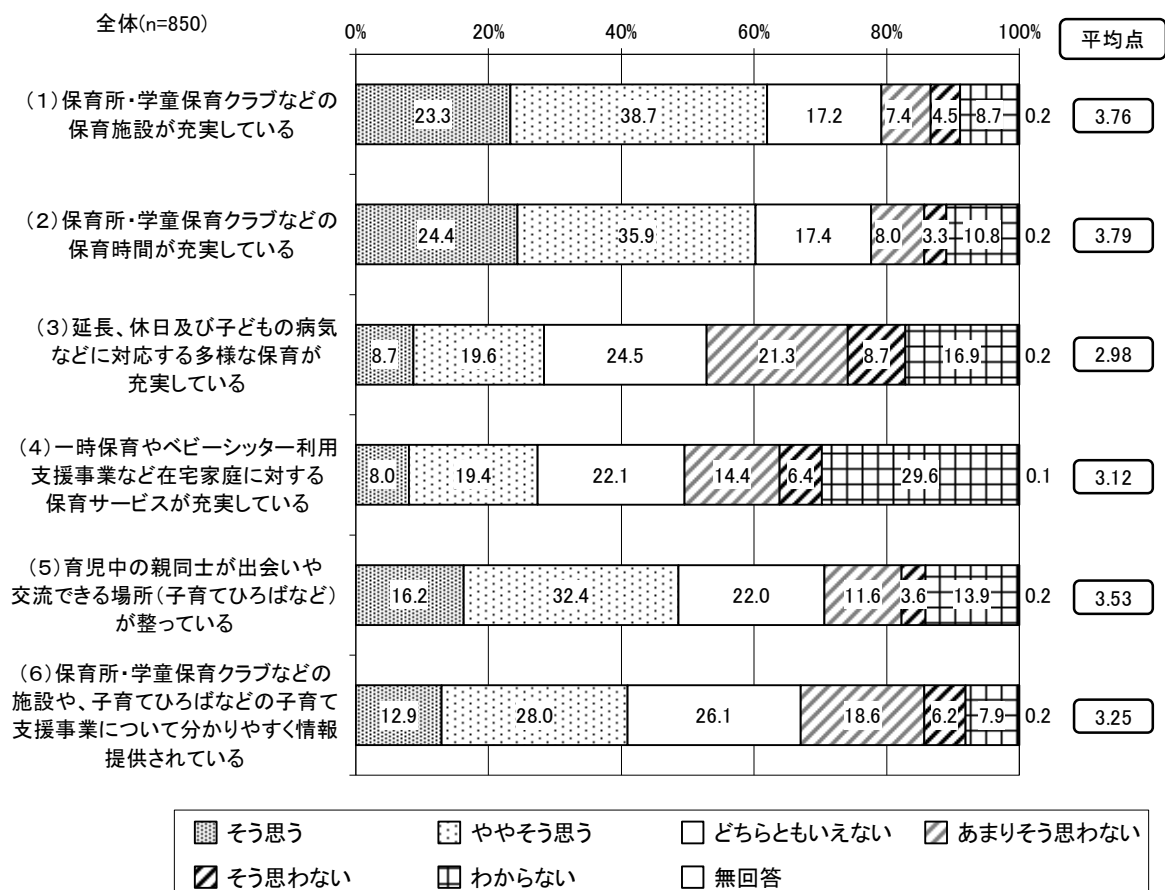
【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。

【経年変化】例年実施している同様の調査5か年分の比較を掲載しています。

基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【全体】

- (1) 保育所・学童保育クラブなどの保育施設が充実している。
- (2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。
- (3) 延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している。
- (4) 一時保育やベビーシッター利用支援事業など在宅家庭に対する保育サービスが充実している。
- (5) 育児中の親同士が出会いや交流できる場所（子育てひろばなど）が整っている。
- (6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

基本目標 1 の評価は、『(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している』が 3.79 点で最も高く、『(3) 延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している』が 2.98 点で最も低くなっています。

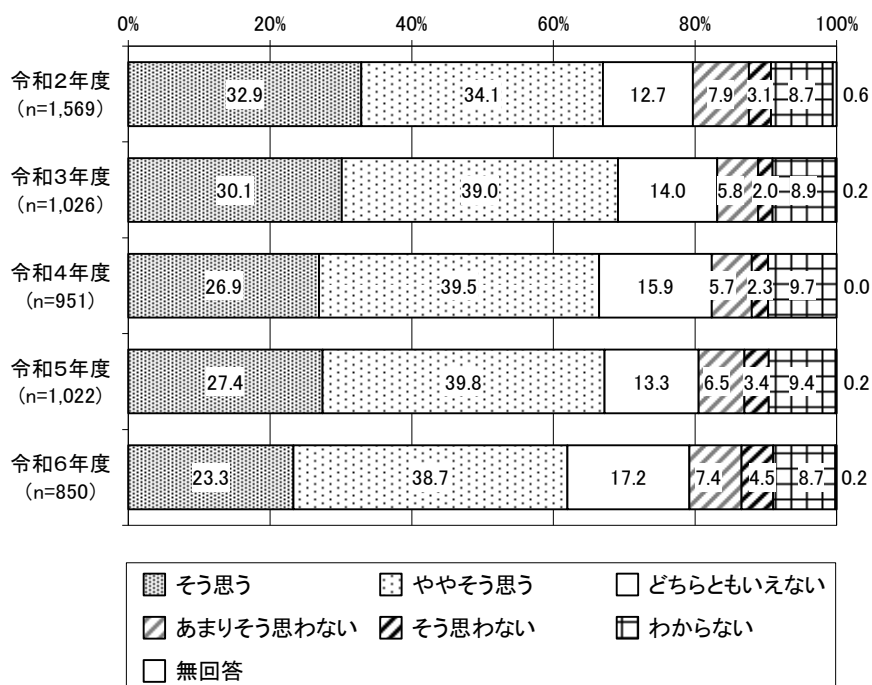


基本目標 1. のびのび子育て！に関する質問【経年変化】

(1) 保育所・学童保育クラブなどの保育施設が充実している。

「ややそう思う」が 38.7%で最も多く、「そう思う」が 23.3%、「どちらともいえない」が 17.2%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「そう思う」がやや減少し「どちらともいえない」がやや増加しています。

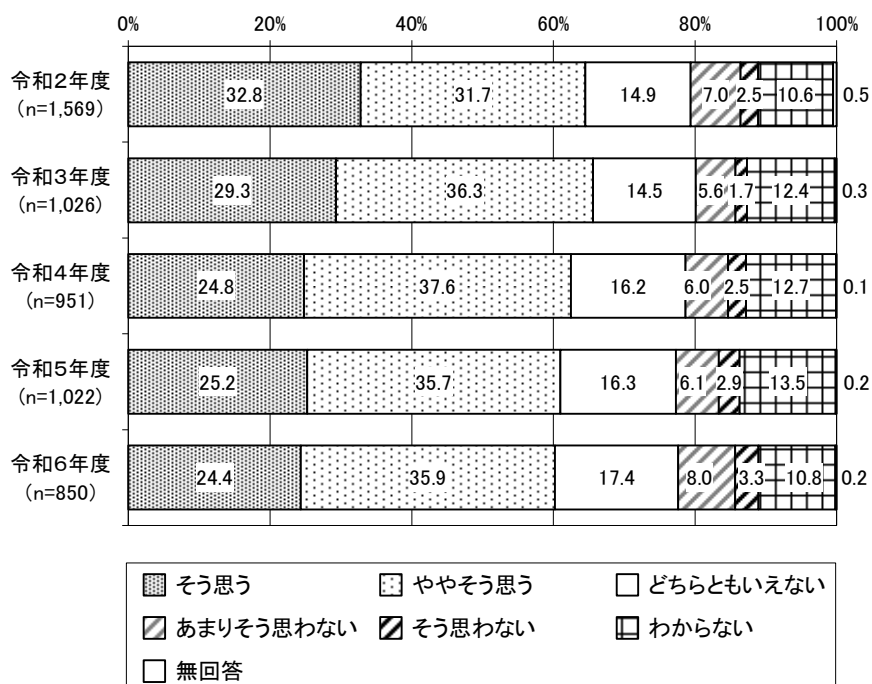


※令和2年度調査までの質問は「仕事と子育てを両立するうえで、保育所・学童保育クラブなどの保育施設が整っている」

(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。

「ややそう思う」が 35.9%で最も多く、「そう思う」が 24.4%、「どちらともいえない」が 17.4%となっています。

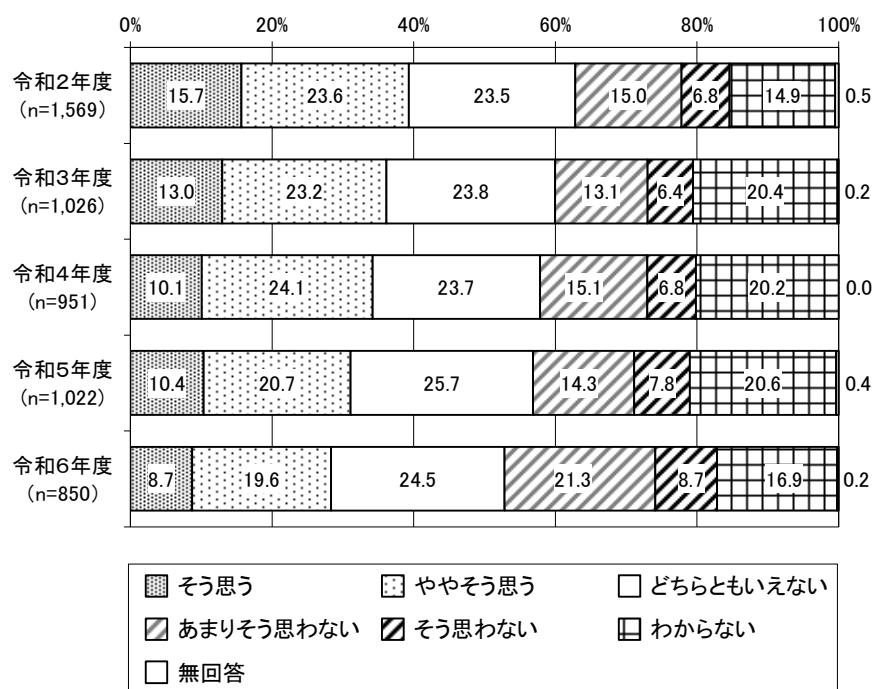
令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している。

「どちらともいえない」が24.5%で最も多く、「あまりそう思わない」が21.3%、「ややそう思う」が19.6%となっています。

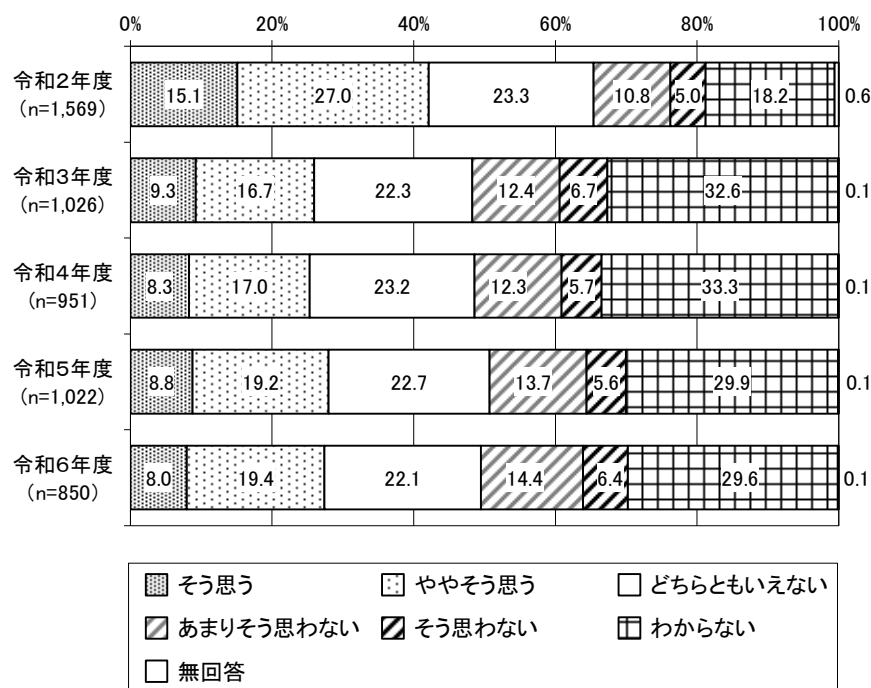
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が増加しています。



(4) 一時保育やベビーシッター利用支援事業など在宅家庭に対する保育サービスが充実している。

「わからない」が29.6%で最も多く、「どちらともいえない」が22.1%、「ややそう思う」が19.4%となっています。

令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

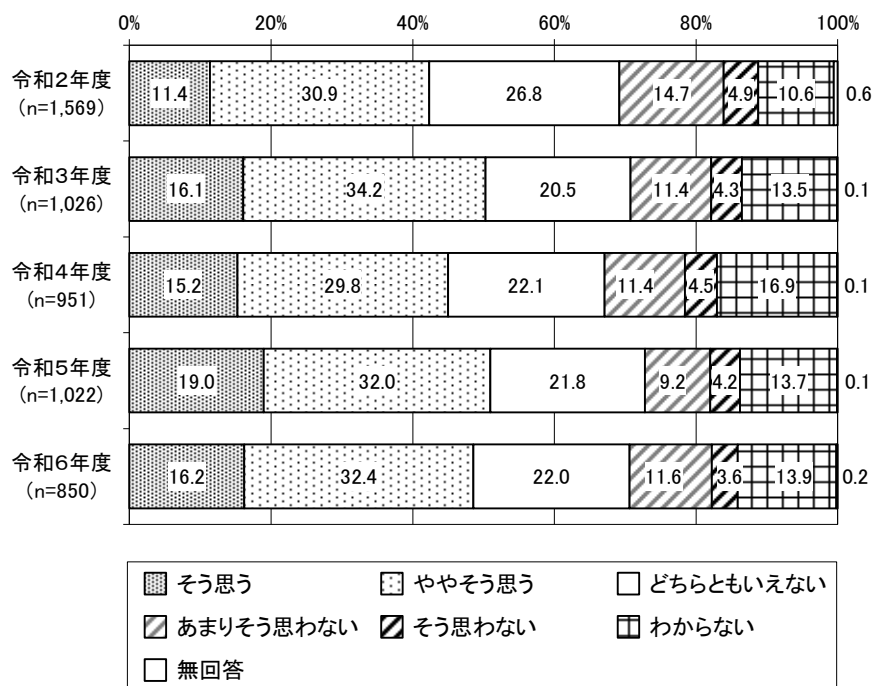


※令和2年度調査までの質問は「一時保育や子育てひろばなど在宅家庭に対する保育サービスが充実している」

(5) 育児中の親同士が会いや交流できる場所（子育てひろばなど）が整っている。

「ややそう思う」が 32.4%で最も多く、「どちらともいえない」が 22.0%、「そう思う」が 16.2%となっています。

令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

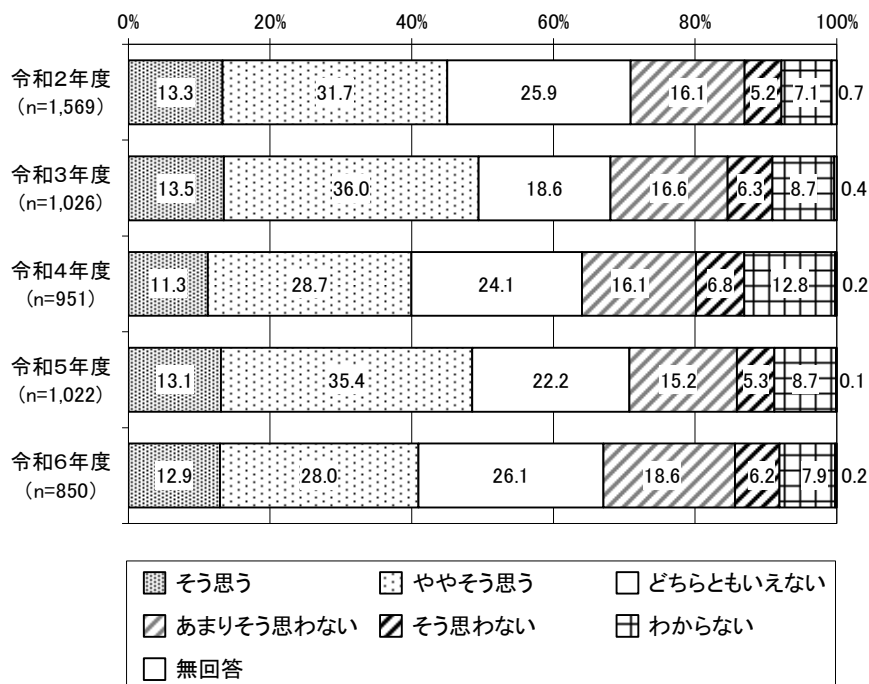


※令和2年度調査までの質問は「育児中の親同士が会いや交流できる場所が整っている」

(6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について
分かりやすく情報提供されている。

「ややそう思う」が 28.0%で最も多く、「どちらともいえない」が 26.1%、「あまりそう思わない」が 18.6%となっています。

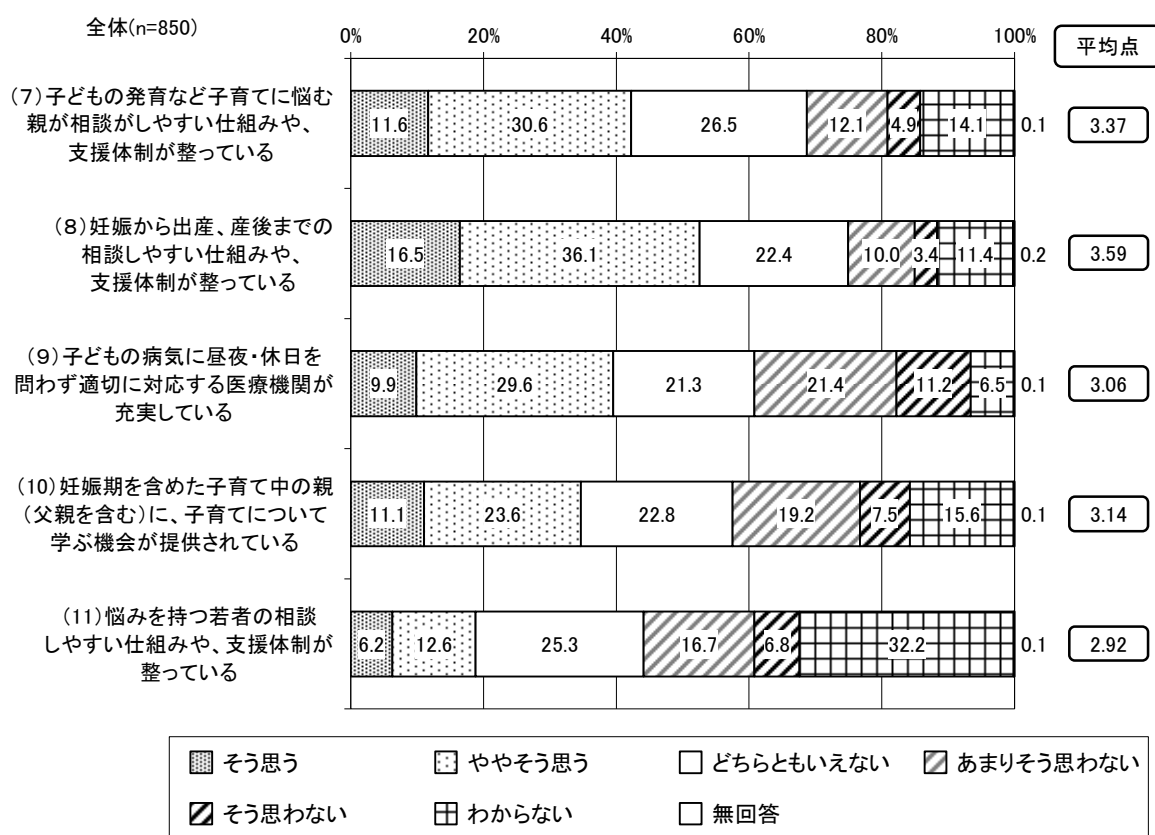
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が減少し、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」がやや増加しています。



基本目標2. すこやか子育て！に関する質問【全体】

- (7) 子どもの発育など子育てに悩む親が相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。
- (8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。
- (9) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。
- (10) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が提供されている。
- (11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

基本目標2の評価は、『(8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている』が3.59点で最も高く、『(11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている』が2.92点で最も低くなっています。

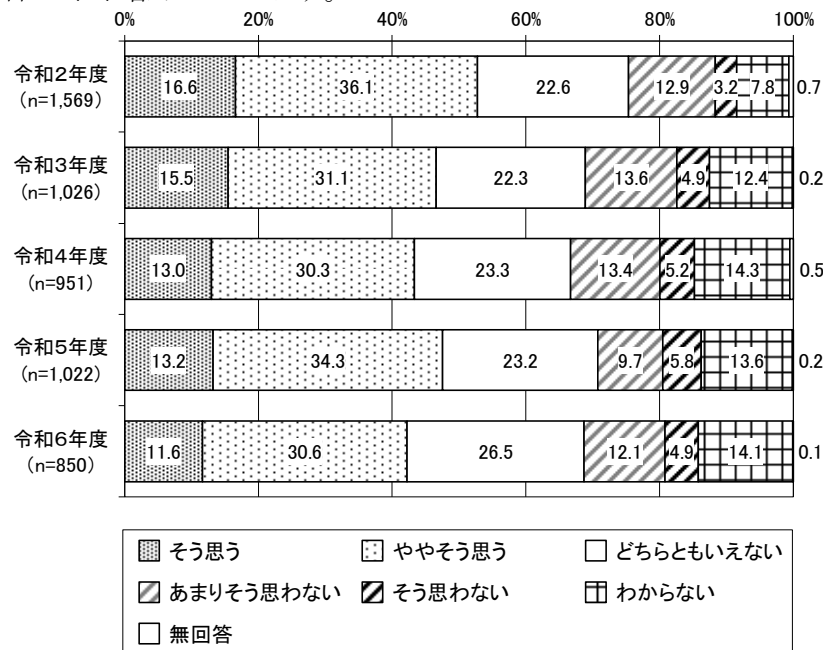


基本目標2. すこやか子育て！に関する質問【経年変化】

(7) 子どもの発育など子育てに悩む親が相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

「ややそう思う」が30.6%で最も多く、「どちらともいえない」が26.5%、「わからない」が14.1%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合がやや減少し、「どちらともいえない」の割合がやや増加しています。

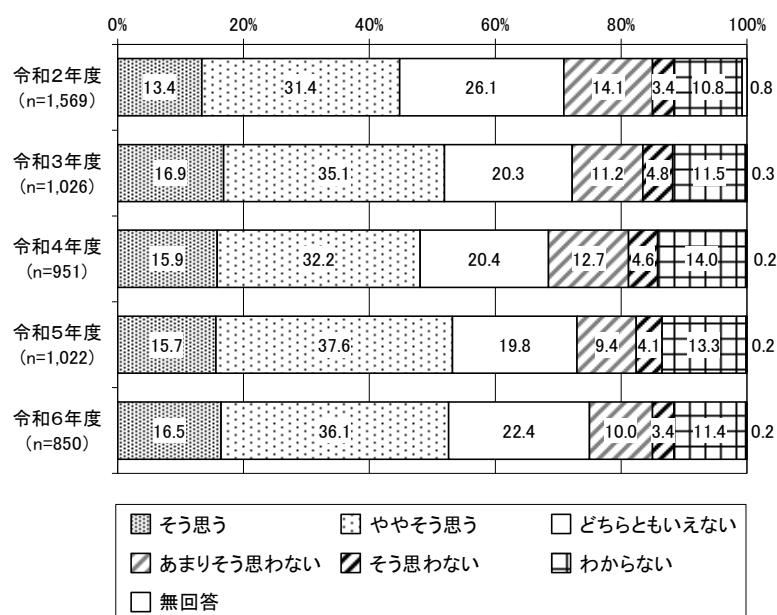


※令和2年度調査までの質問は「子どもの発育や発達に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている」

(8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

「ややそう思う」が36.1%で最も多く、「どちらともいえない」が22.4%、「そう思う」が16.5%となっています。

令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

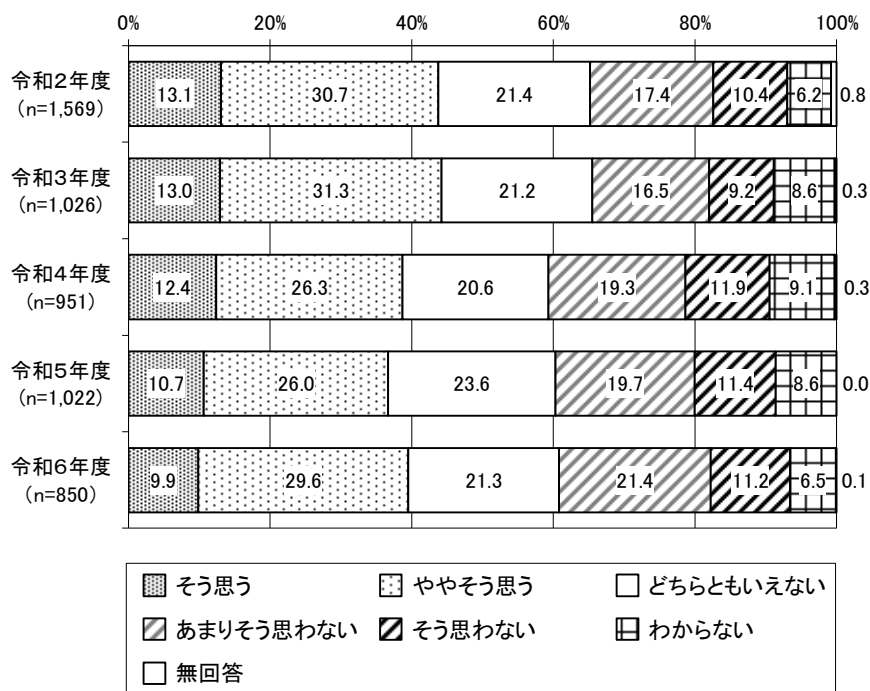


※令和2年度調査までの質問は「妊娠から出産、産後までの体調に関する相談がしやすい体制（仕組み）が整っている」

(9) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。

「ややそう思う」が29.6%で最も多く、「あまりそう思わない」が21.4%、「どちらともいえない」が21.3%、となっています。

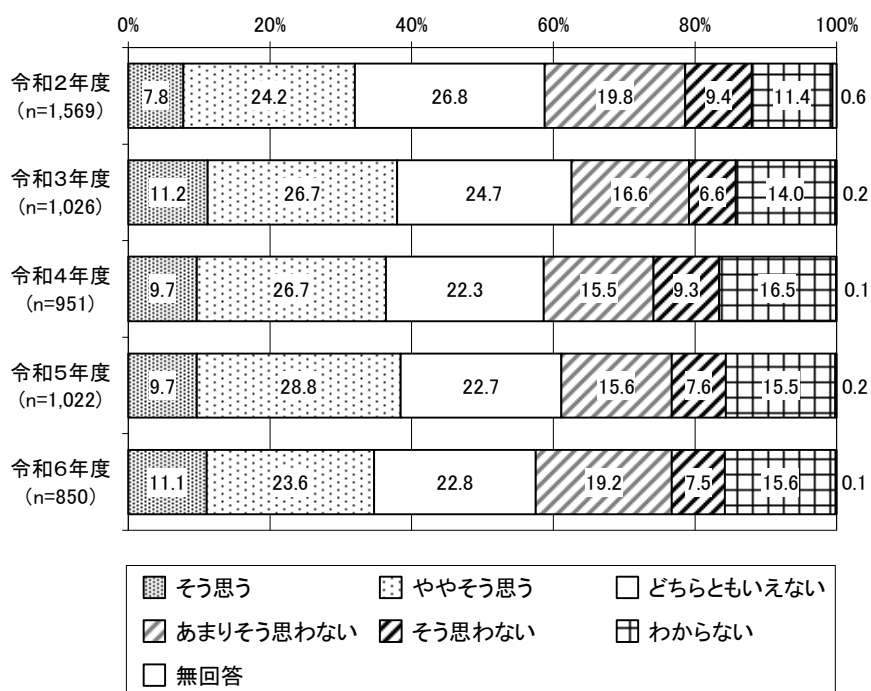
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」がやや増加しています。



(10) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が提供されている。

「ややそう思う」が23.6%で最も多く、「どちらともいえない」が22.8%、「あまりそう思わない」が19.2%となっています。

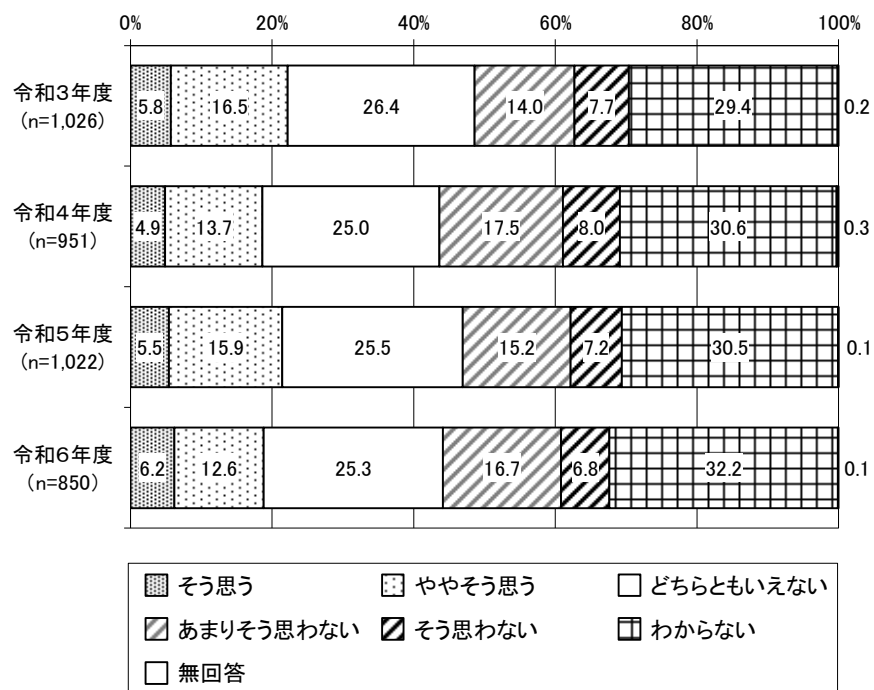
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」が減少し、「あまりそう思わない」がやや増加しています。



(11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

「わからない」が32.2%で最も多く、「どちらともいえない」が25.3%、「あまりそう思わない」が16.7%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」がやや減少しています。



※令和3年度調査から質問を新設しました。

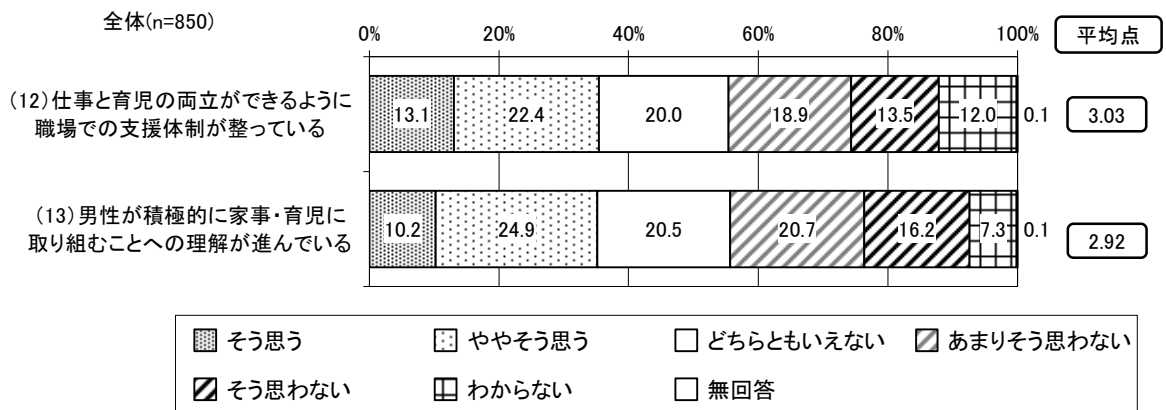
※令和3年度調査の質問は「様々な悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている」

基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【全体】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

基本目標3の評価は、『(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている』が3.03点、『(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる』が2.92点となっています。

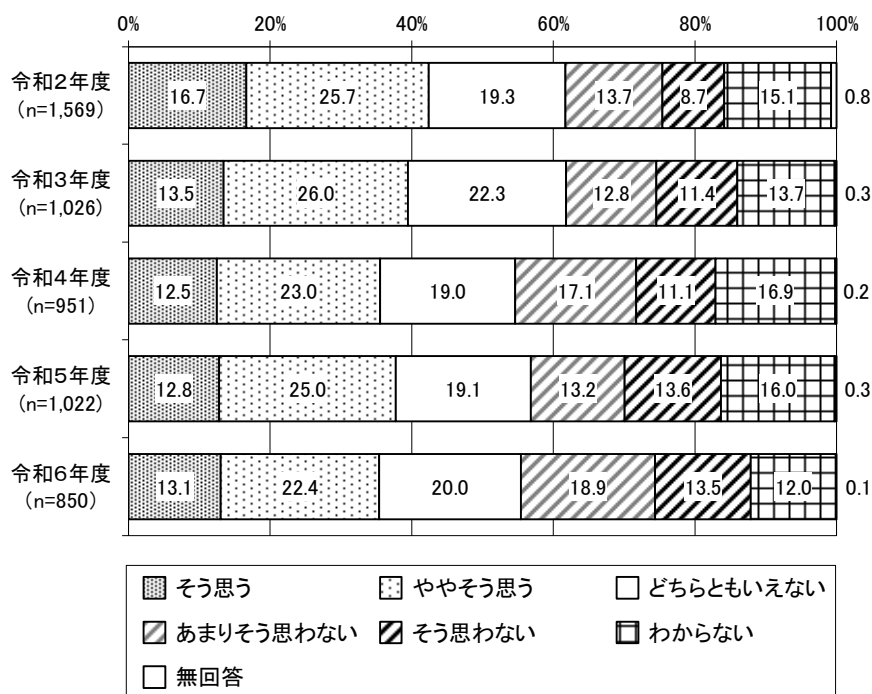


基本目標3. いきいき子育て！に関する質問【経年変化】

(12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

「ややそう思う」が22.4%で最も多く、「どちらともいえない」が20.0%、「あまりそう思わない」が18.9%となっています。

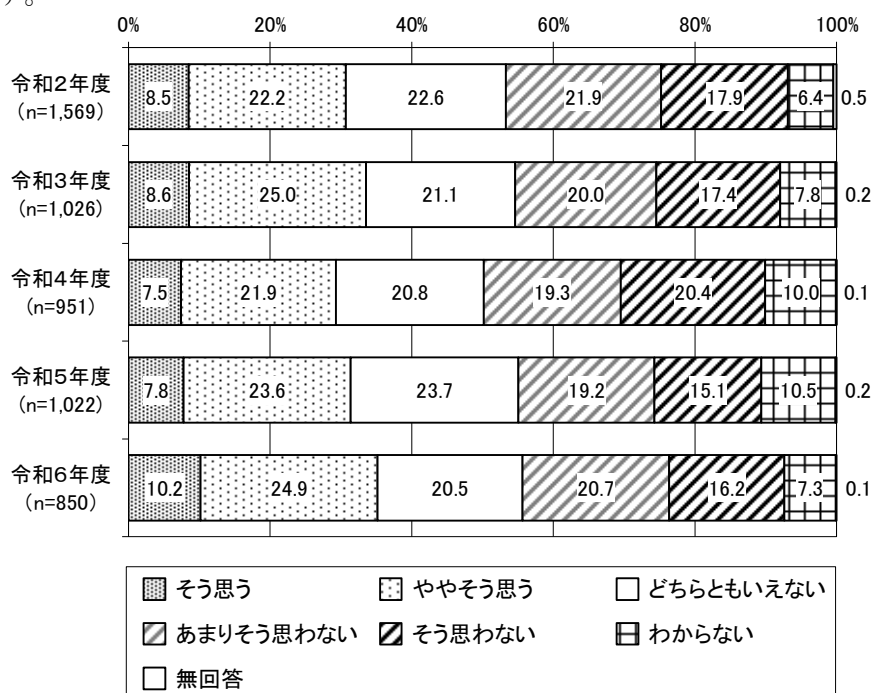
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が増加し、「わからない」の割合がやや減少しています。



(13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

「ややそう思う」が24.9%で最も多く、「あまりそう思わない」が20.7%、「どちらともいえない」が20.5%となっています。

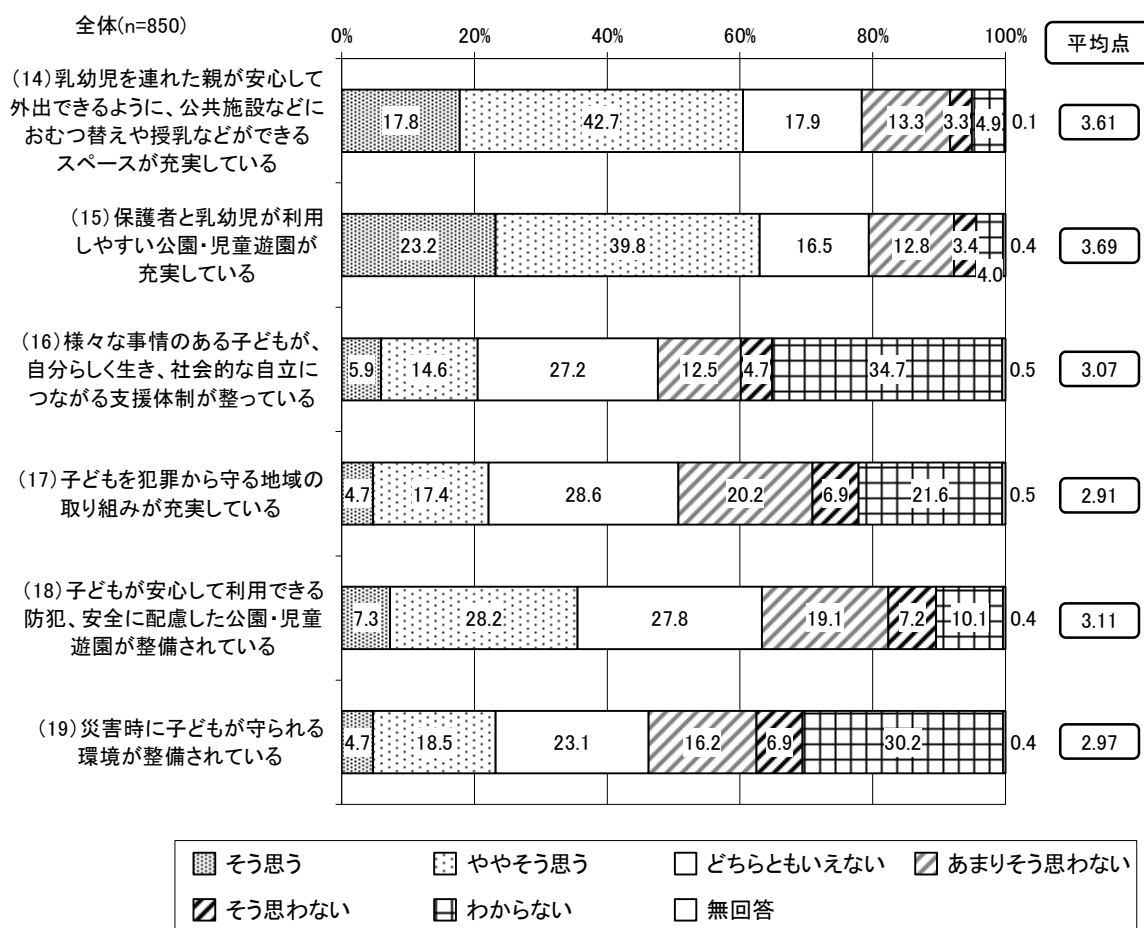
令和5年度調査と比較すると、「どちらともいえない」、「わからない」の割合がやや減少しています。



基本目標4. あんしん子育て！に関する質問【全体】

- (14) 乳幼児を連れて親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。
- (15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。
- (16) 様々な事情のある子どもが、自分らしく生き、社会的な自立につながる支援体制が整っている。
- (17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。
- (18) 子どもが安心して利用できる防犯、安全に配慮した公園・児童遊園が整備されている。
- (19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。

基本目標4の評価は、『(15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している』が3.69点で最も高く、『(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している』が2.91点で最も低くなっています。

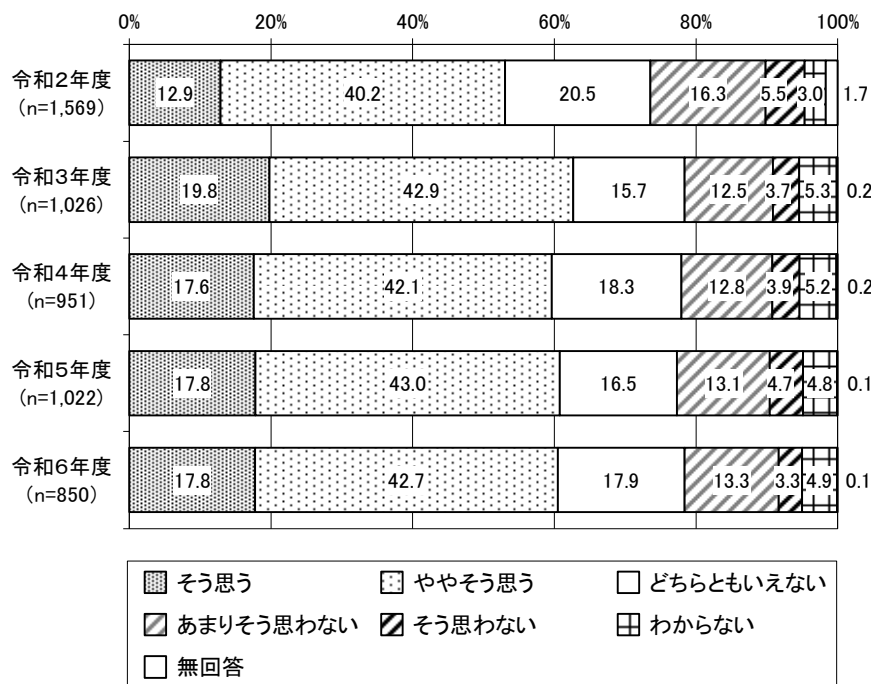


基本目標4. あんしん子育て！に関する質問【経年変化】

(14) 乳幼児を連れて親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。

「ややそう思う」が42.7%で最も多く、「どちらともいえない」が17.9%、「そう思う」が17.8%となっています。

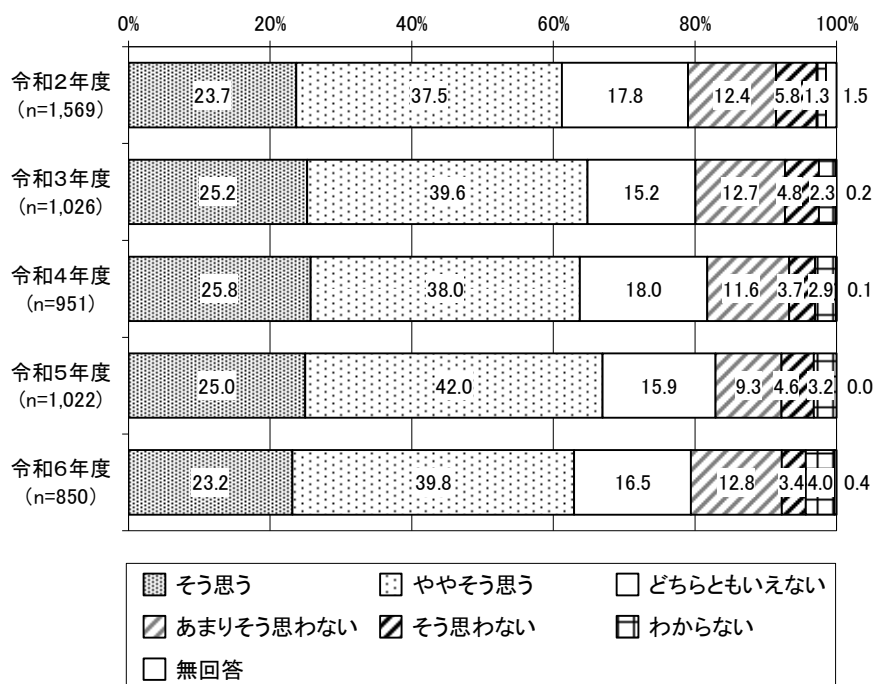
令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。

「ややそう思う」が39.8%で最も多く、「そう思う」が23.2%、「どちらともいえない」が16.5%となっています。

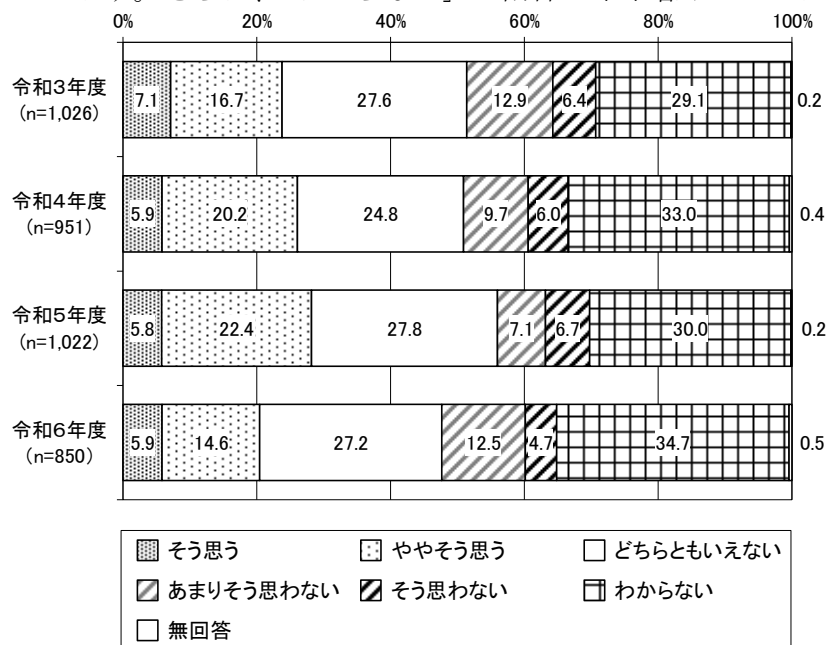
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや増加しています。



(16) 様々な事情のある子どもが、自分らしく生き、社会的な自立につながる支援体制が整っている。

「わからない」が34.7%で最も多く、「どちらともいえない」が27.2%、「ややそう思う」が14.6%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が増加し、「ややそう思う」の割合が減少しています。さらに、「わからない」の割合がやや増加しています。



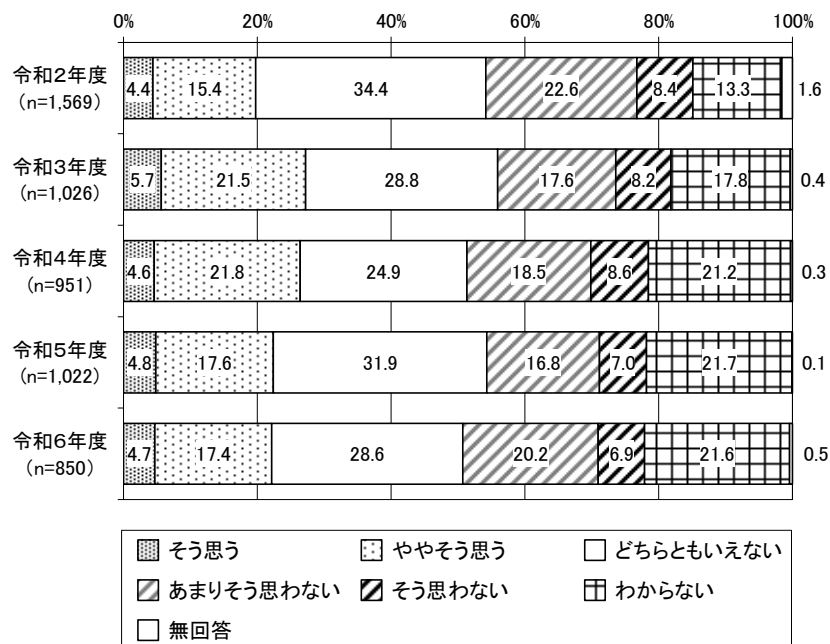
※令和3年度調査から質問を新設しました。

※令和3年度の調査の質問は「様々な事情を有する子どもが、自己肯定感を高め社会的な自立につながる支援体制が整っている」

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。

「どちらともいえない」が28.6%で最も多く、「わからない」が21.6%、「あまりそう思わない」が20.2%となっています。

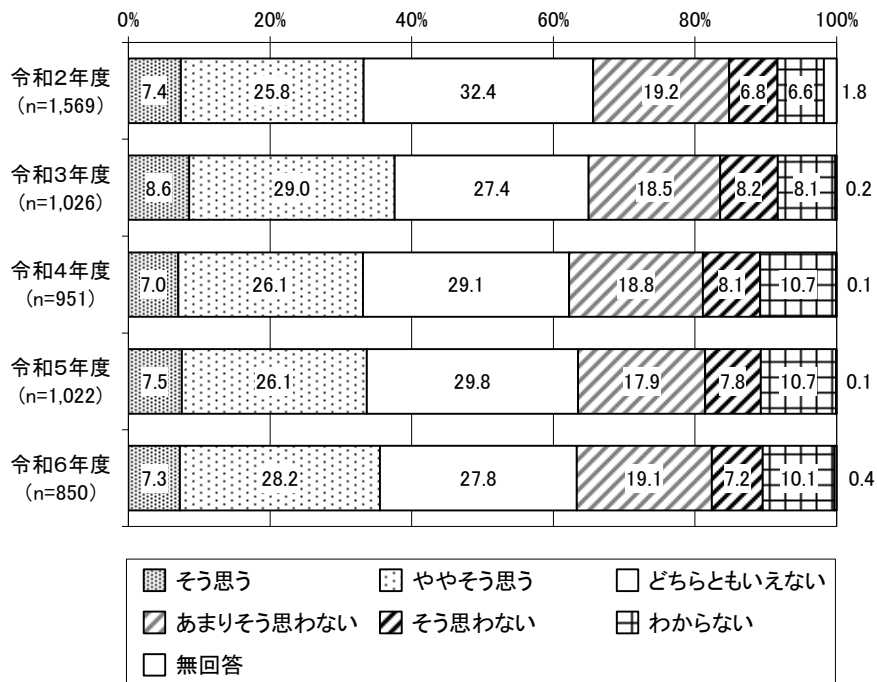
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや増加し、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(18) 子どもが安心して利用できる防犯、安全に配慮した公園・児童遊園が整備されている。

「ややそう思う」が28.2%で最も多く、「どちらともいえない」が27.8%、「あまりそう
思わない」が19.1%となっています。

令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

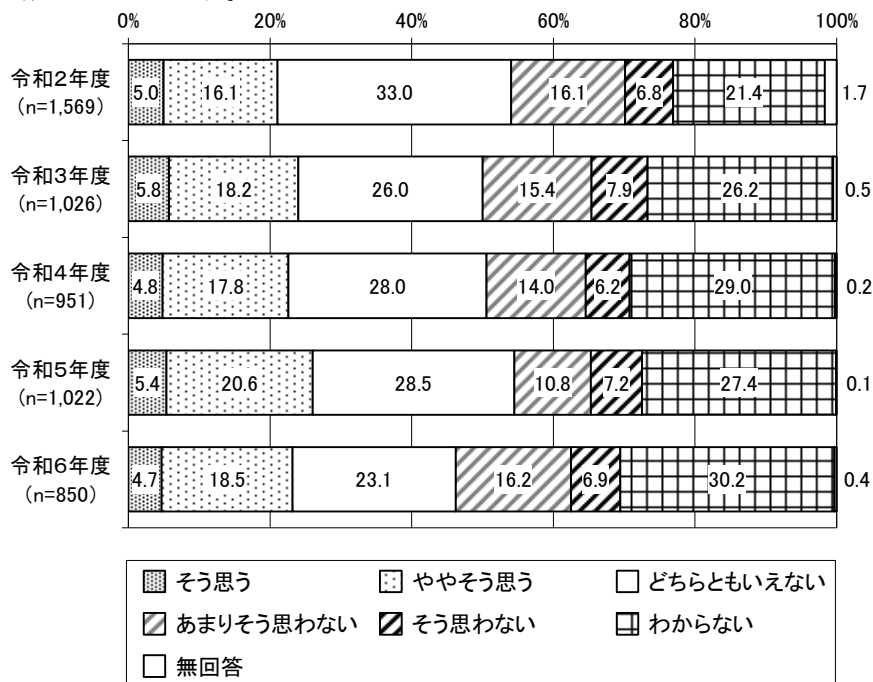


※令和2年度調査までの質問は「防犯や事故防止の観点から、子どもが安心して利用できる公園・児童遊園が整備されている」

(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。

「わからない」が30.2%で最も多く、「どちらともいえない」が23.1%、「ややそう思う」
が18.5%となっています。

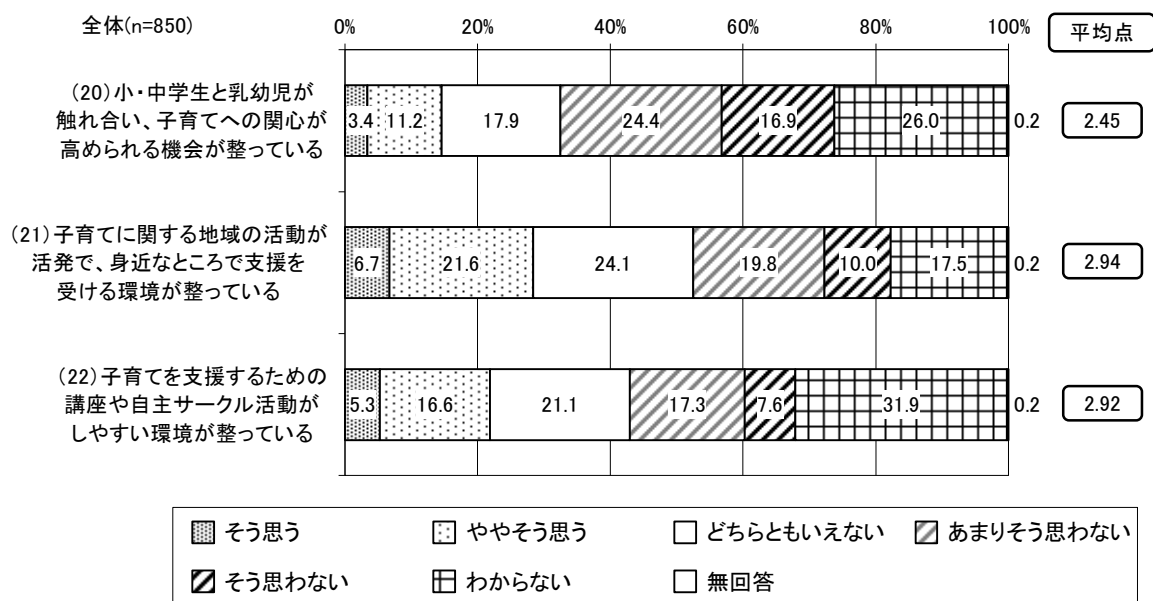
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合が増加し、「どちらともい
えない」が減少しています。



基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【全体】

- (20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。
- (21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている。
- (22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

基本目標5の評価は、『(21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている』が2.94点で最も高く、『(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている』が2.45点で最も低くなっています。

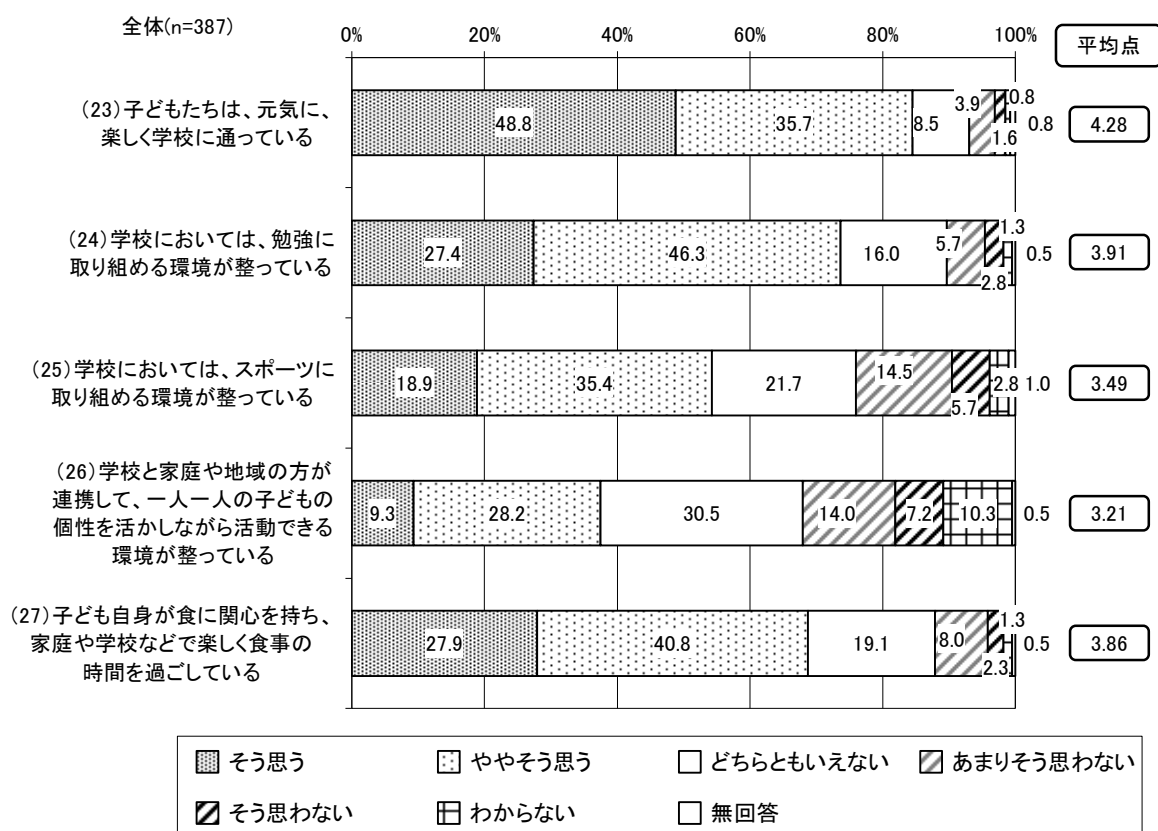


※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。

小学生以上のお子様がない保護者の方は(28)にお進みください。

- (23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。
- (24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。
- (25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。
- (26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。
- (27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

基本目標5で、小学生以上の子どもがいる保護者に尋ねた質問の評価は、『(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている』が4.28点で最も高く、『(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている』が3.21点で最も低くなっています。

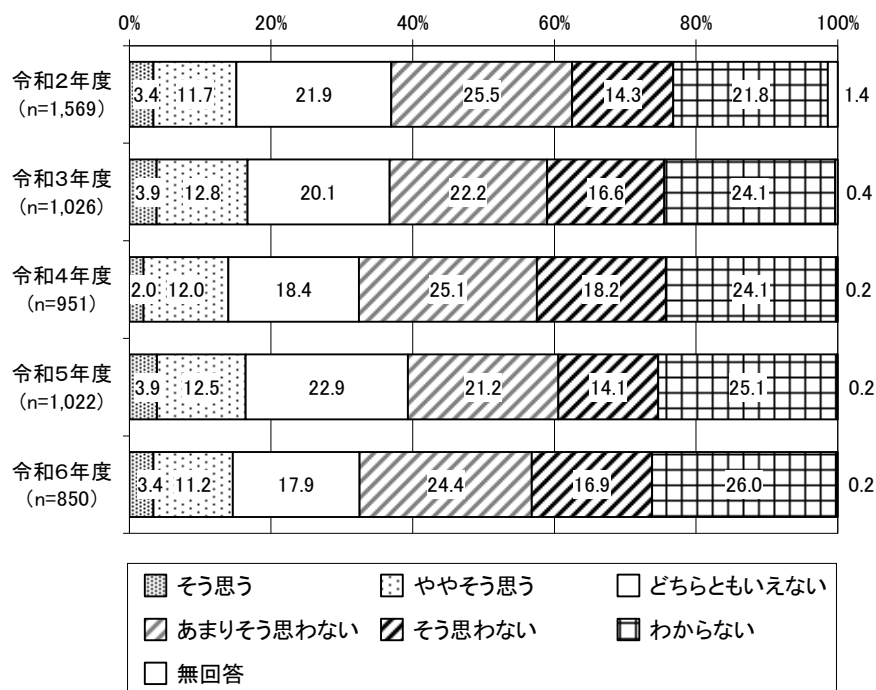


基本目標5. みんなで子育て！に関する質問【経年変化】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。

「わからない」が26.0%で最も多く、「あまりそう思わない」が24.4%、「どちらともいえない」が17.9%となっています。

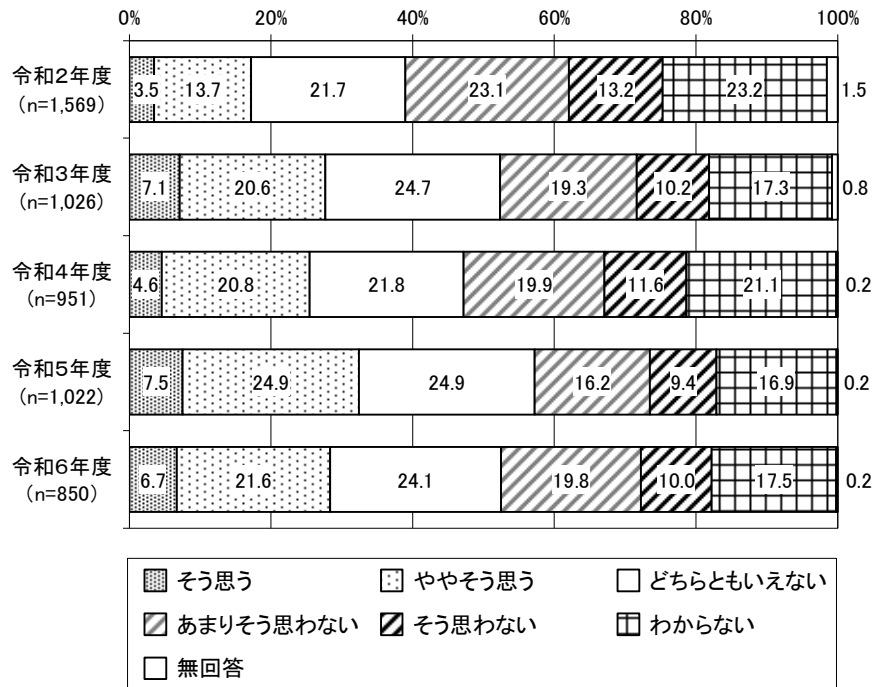
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや増加し、「どちらともいえない」の割合が減少しています。



(21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている。

「どちらともいえない」が24.1%で最も多く、「ややそう思う」が21.6%、「あまりそう思わない」が19.8%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや増加し、と「ややそう思う」の割合がやや減少しています。

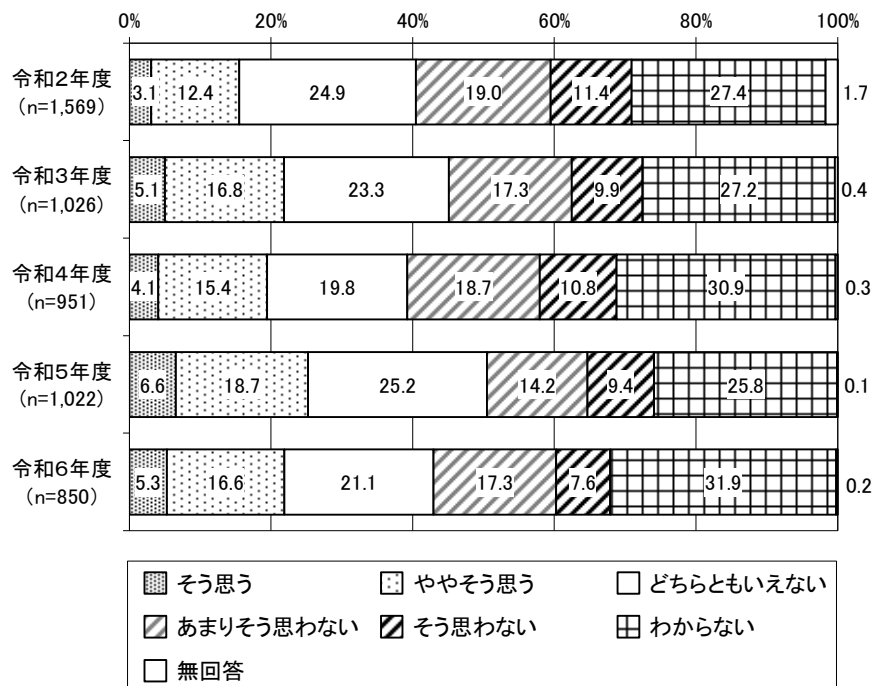


※令和2年度調査までの質問は「子育てに関する地域のボランティア活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境がある」

(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

「わからない」が31.9%で最も多く、「どちらともいえない」が21.1%、「あまりそう思わない」が17.3%となっています。

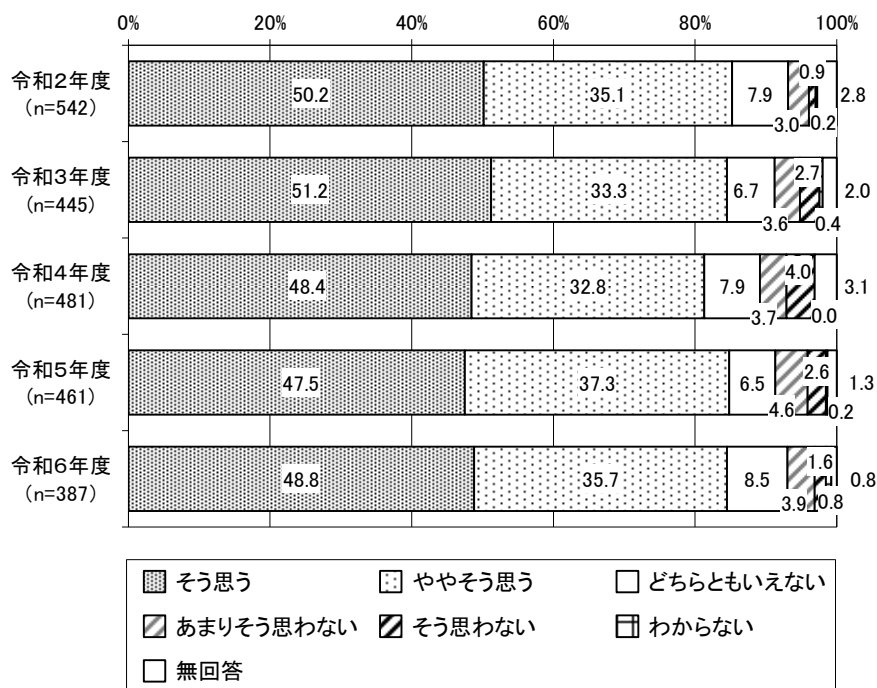
令和5年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。さらに、「あまりそう思わない」の割合がやや増加、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。

「そう思う」が48.8%で最も多く、「ややそう思う」が35.7%、「どちらともいえない」が8.5%となっています。

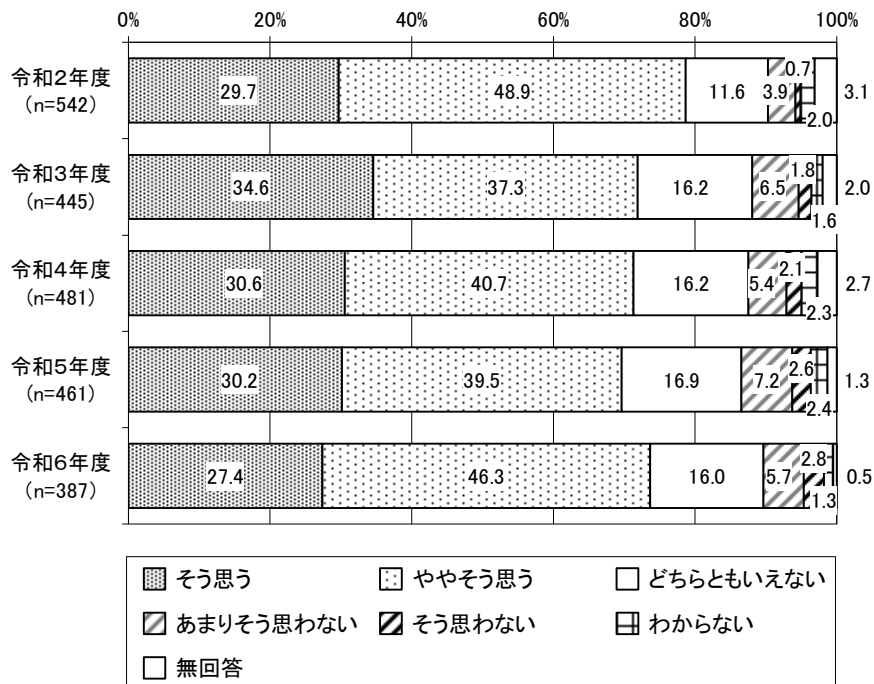
令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。

「ややそう思う」が46.3%で最も多く、「そう思う」が27.4%、「どちらともいえない」が16.0%となっています。

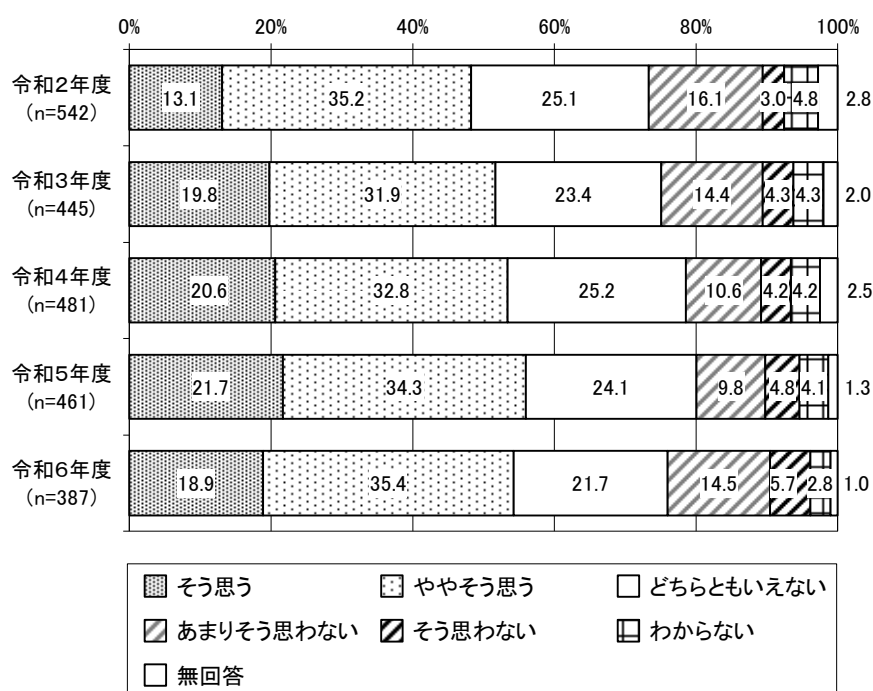
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加しています。



(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。

「ややそう思う」が 35.4%で最も多く、「どちらともいえない」が 21.7%、「そう思う」が 18.9%となっています。

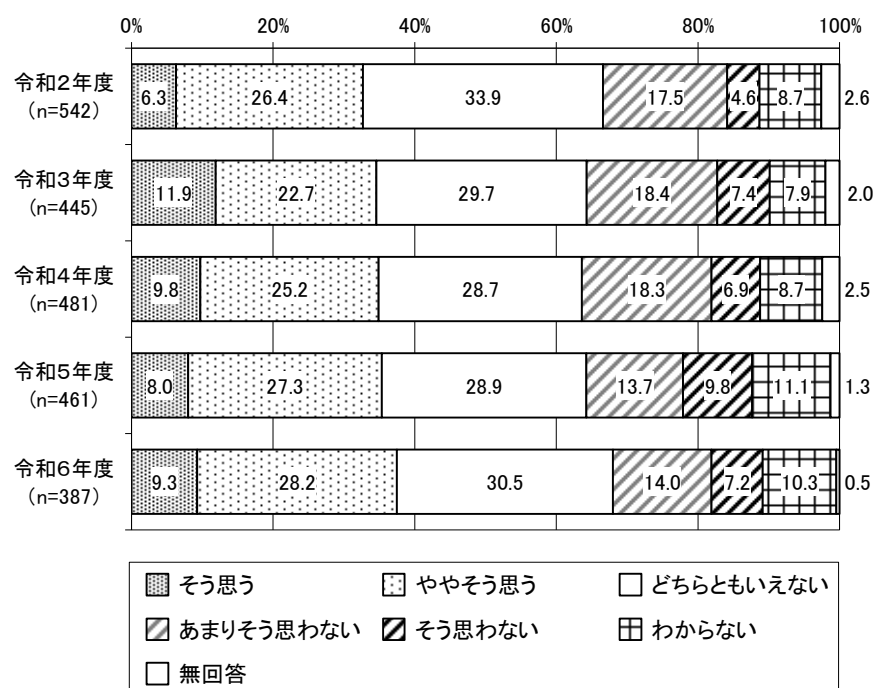
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや増加しています。



(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。

「どちらともいえない」が 30.5%で最も多く、「ややそう思う」が 28.2%、「あまりそう思わない」が 14.0%となっています。

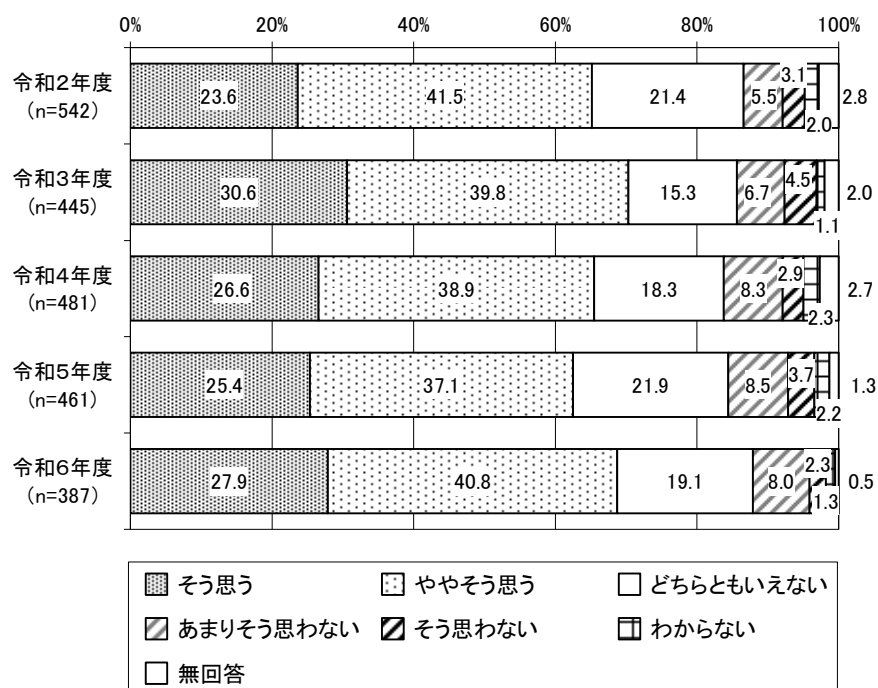
令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

「ややそう思う」が40.8%で最も多く、「そう思う」が27.9%、「どちらともいえない」が19.1%となっています。

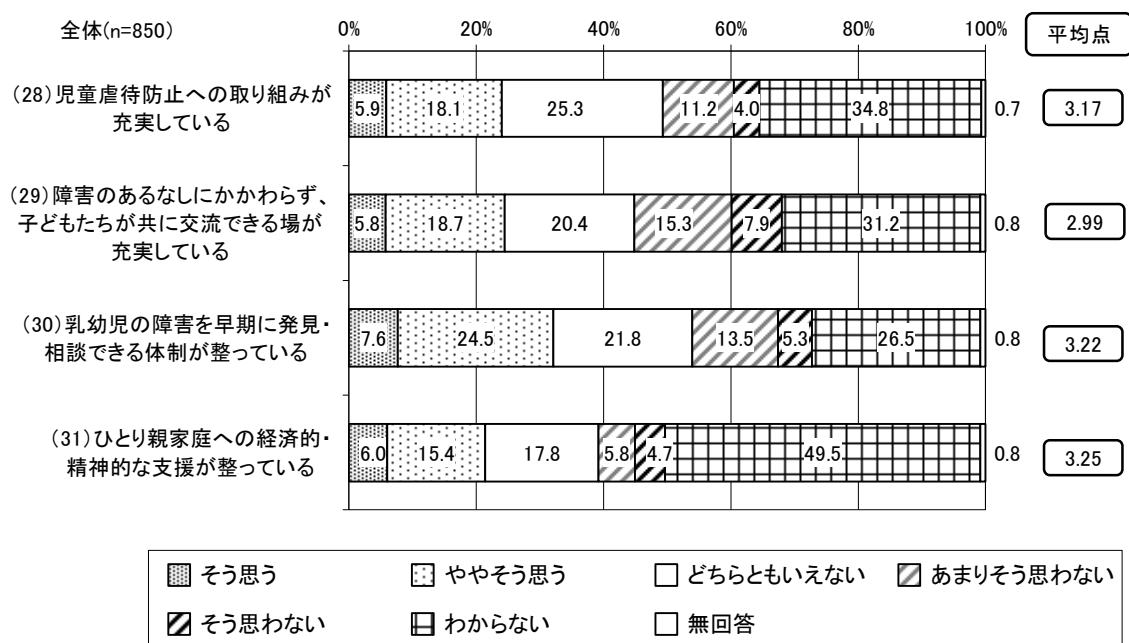
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合がやや増加しています。



基本目標6. つながる子育て！に関する質問【全体】

- (28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。
- (29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。
- (30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。
- (31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

基本目標6の評価は、『(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている』が3.25点で最も高く、『(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している』が2.99点で最も低くなっています。

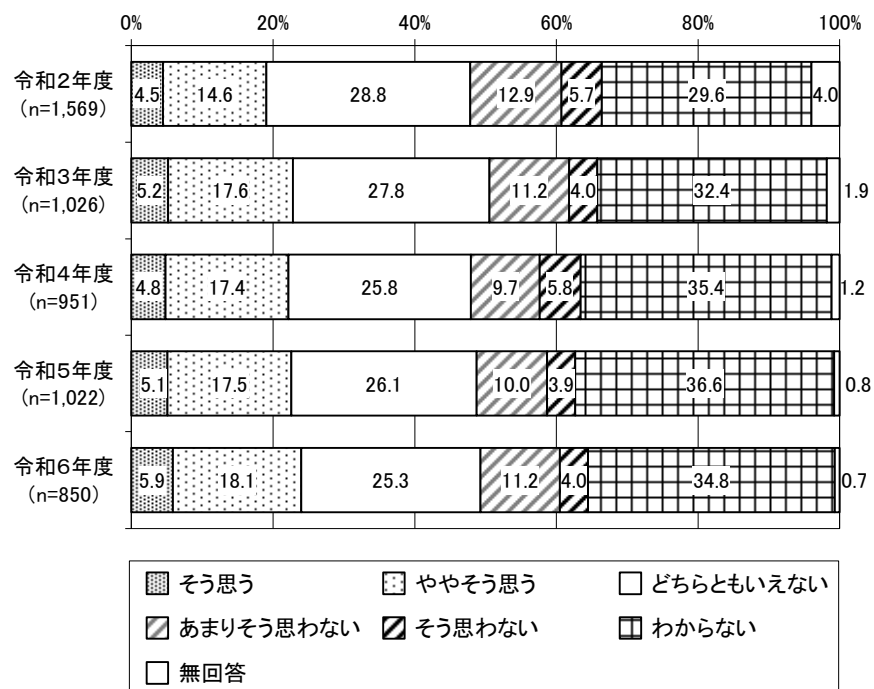


基本目標6. つながる子育て！に関する質問【経年変化】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。

「わからない」が34.8%で最も多く、「どちらともいえない」が25.3%、「ややそう思う」が18.1%となっています。

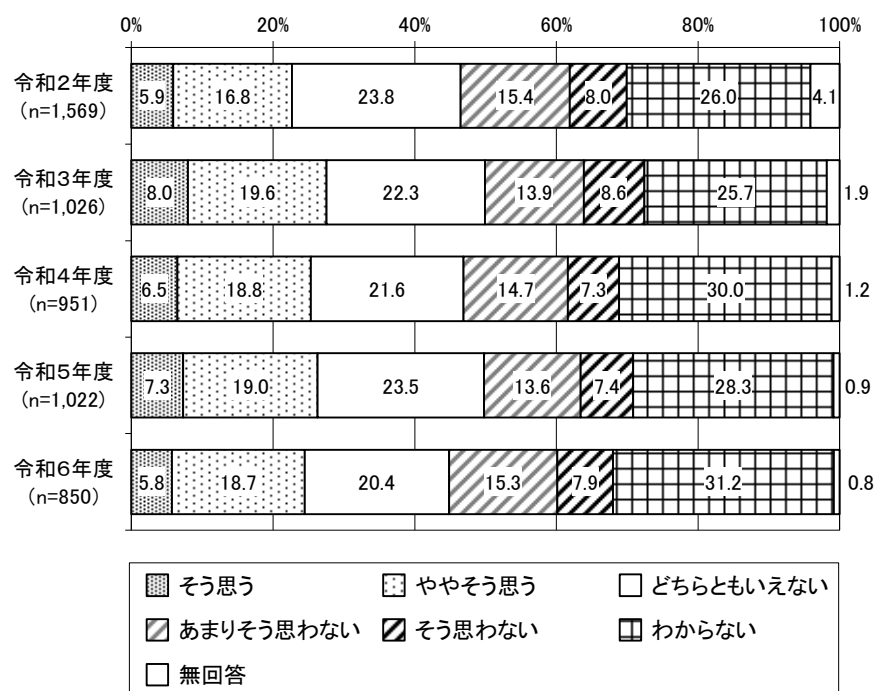
令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。

「わからない」が31.2%で最も多く、「どちらともいえない」が20.4%、「ややそう思う」が18.7%となっています。

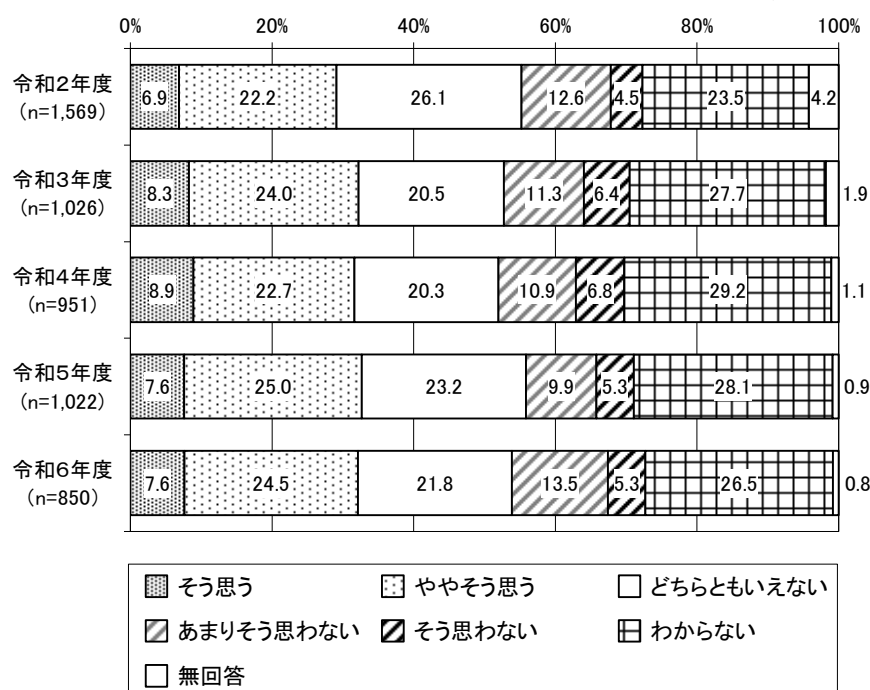
令和5年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。

「わからない」が26.5%で最も多く、「ややそう思う」が24.5%、「どちらともいえない」が21.8%となっています。

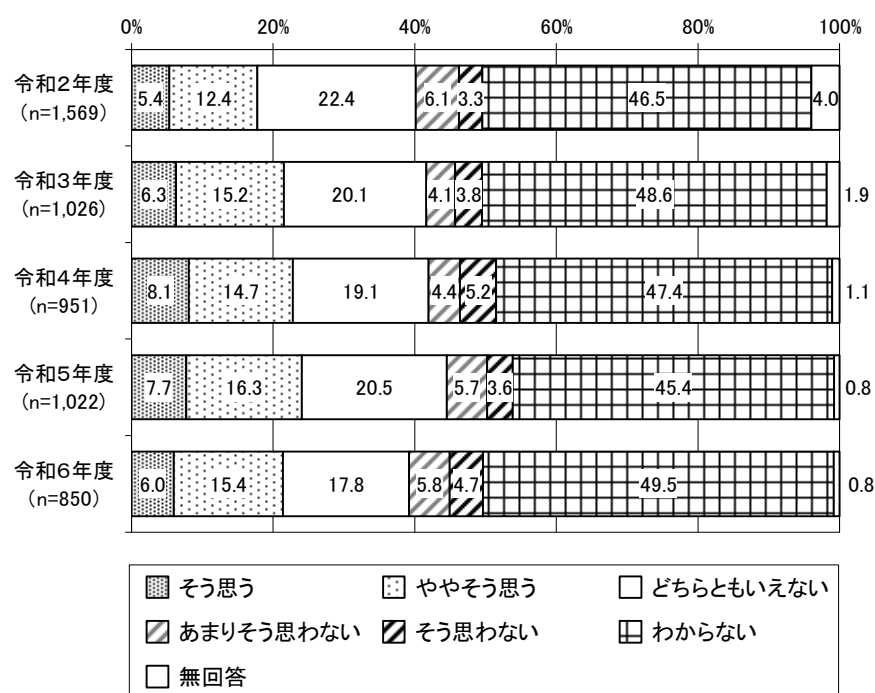
令和5年度調査と比較すると、「あまりそう思わない」の割合がやや増加しています。



(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

「わからない」が49.5%で最も多く、「どちらともいえない」が17.8%、「ややそう思う」が15.4%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「わからない」の割合がやや増加しています。



2 子ども・子育て支援に関する情報提供についてお伺いします。

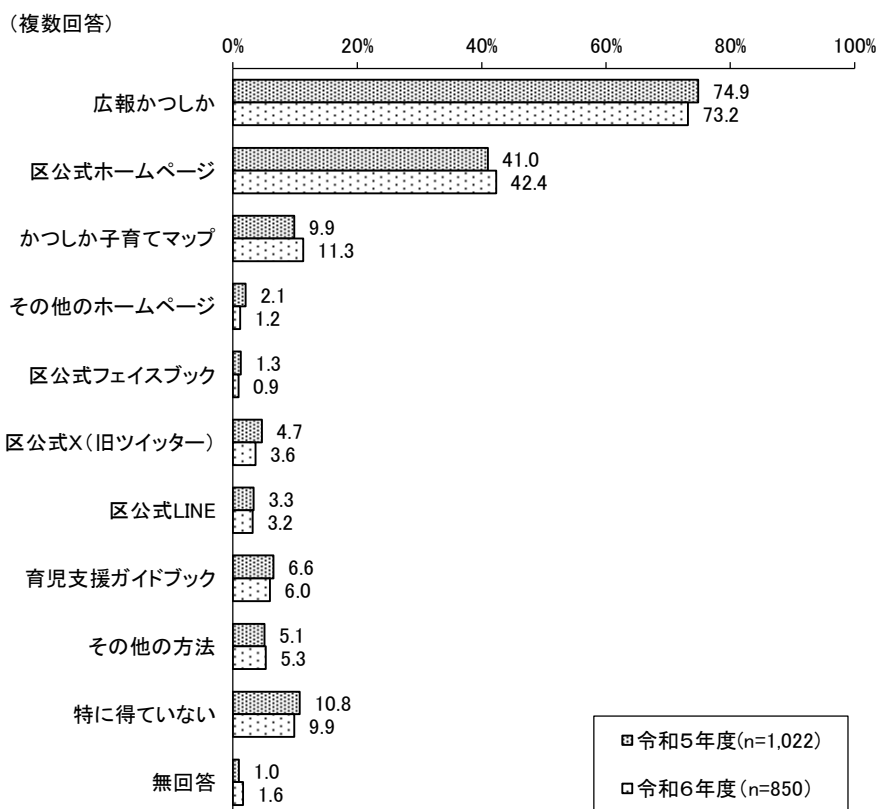
(32) 子育てに関する区の情報をどのように得ていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- | | | |
|-------------------|--------------|---------------|
| 1. 広報かつしか | 2. 区公式ホームページ | 3. かつしか子育てマップ |
| 4. その他のホームページ () | | 5. 区公式フェイスブック |
| 6. 区公式X(旧ツイッター) | 7. 区公式LINE | 8. 育児支援ガイドブック |
| 9. その他の方法 () | | 10. 特に得ていない |

「広報かつしか」が73.2%で最も多く、「区公式ホームページ」が42.4%、「かつしか子育てマップ」が11.3%となっています。

令和5年度調査と比較すると、大きな変化はみられません

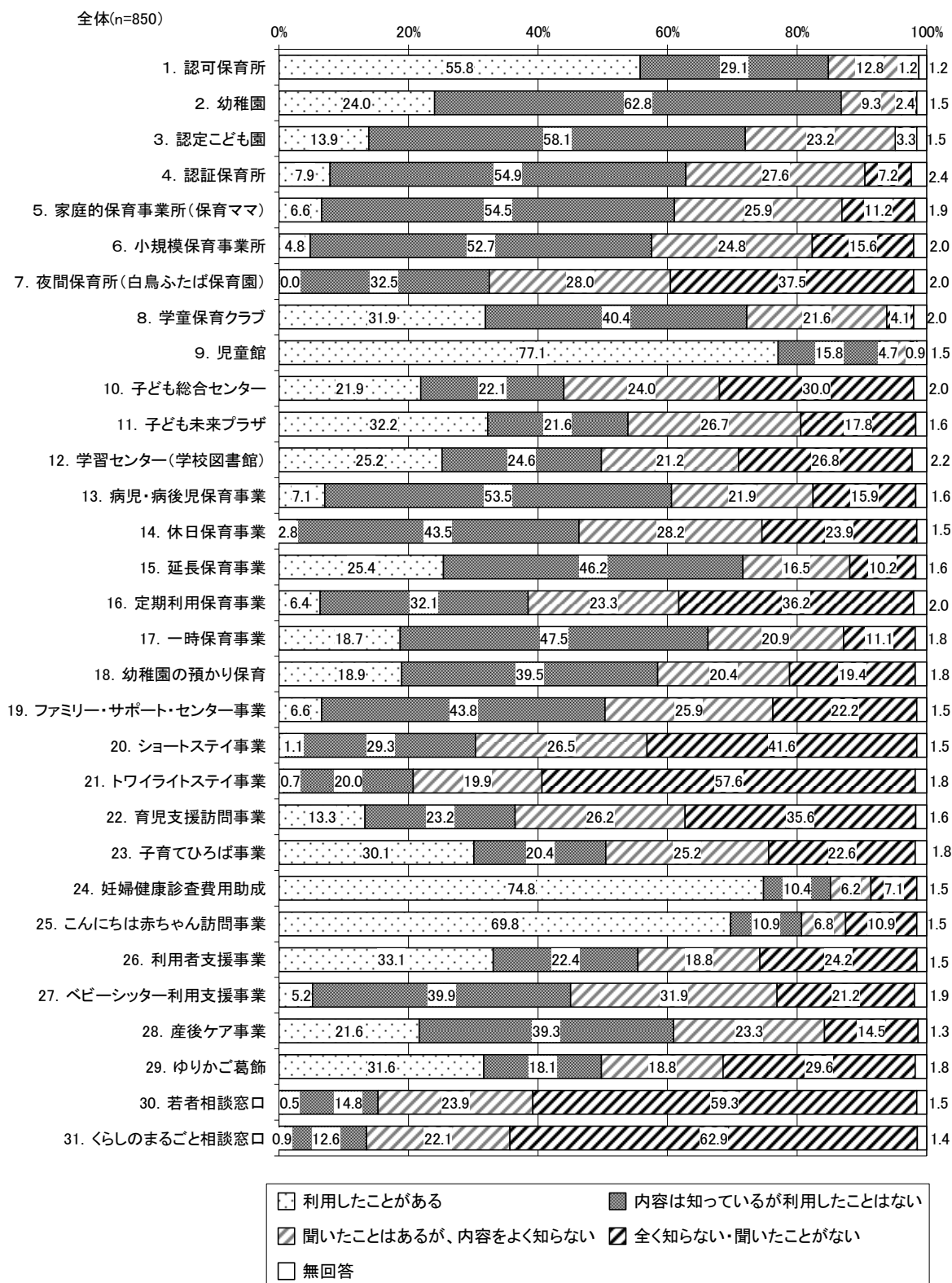


※令和5年度調査から「区公式LINE」を新設

(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

『児童館』は77.1%が、『妊婦健康診査費用助成』は74.8%が、『こんにちは赤ちゃん訪問事業』は69.8%が、「利用したことがある」と回答しています。

一方、『くらしのまるごと相談窓口』、『若者相談窓口』、『トワイライトステイ事業』は、「全く知らない・聞いたことがない」が過半数に達しています。



※26 利用者支援事業（子ども未来プラザや保健センターで行う、子育て支援事業等に関する情報提供及び相談）

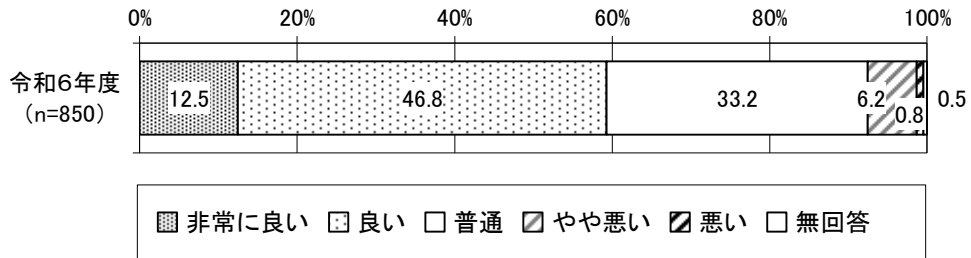
※31 くらしのまるごと相談窓口（「ヤングケアラー」などくらしに関する困りごとの相談窓口）

3 子育て環境についてお伺いします。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。

【全体】

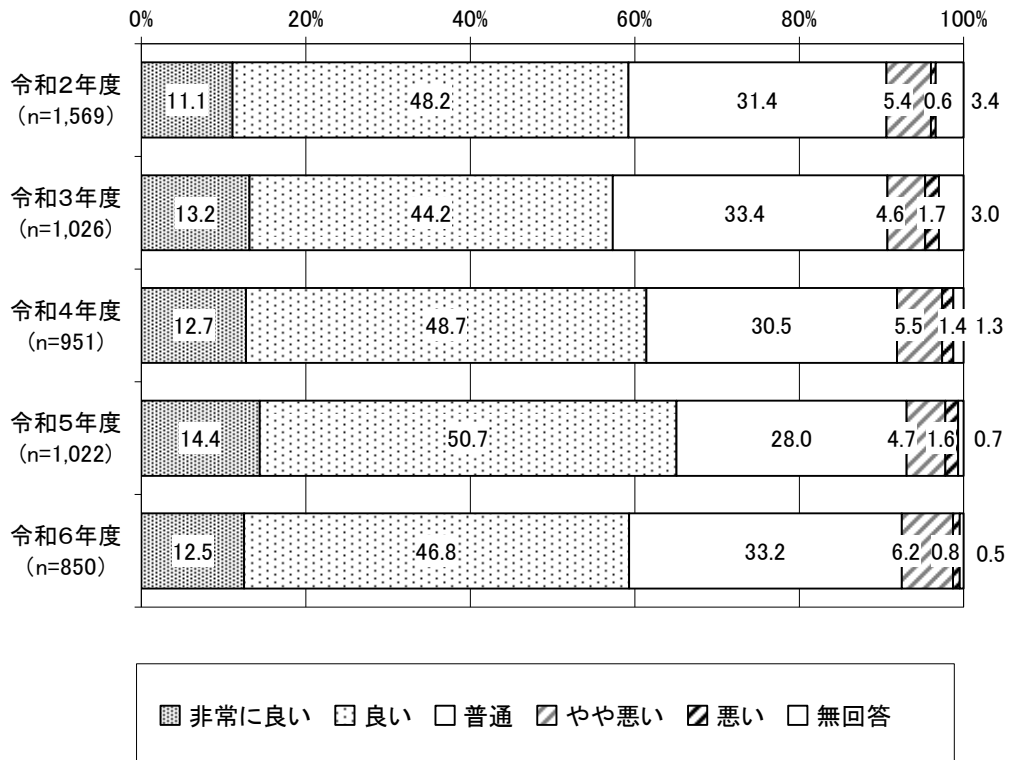
総合的な評価は、「非常に良い」「良い」の合計は59.3%、「やや悪い」「悪い」の合計は7.0%となっています。



【経年変化】

「良い」が46.8%で最も多く、「普通」が33.2%、「非常に良い」が12.5%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「普通」が増加し、「良い」がやや減少しています。



その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご意見・ご要望等の記述があったのは、回収数 850 票中 266 票でした。記述内容を区の子育て支援の「基本目標」に従って分類すると、以下のような結果となりました。なお、一人の方が複数の分類項目について記述をしている場合があるため、件数の合計は記述のあった票数より多くなっています。

分類項目	件数
基本目標 1. のびのび子育て！について	89
基本目標 2. すこやか子育て！について	31
基本目標 3. いきいき子育て！について	9
基本目標 4. あんしん子育て！について	78
基本目標 5. みんなで子育て！について	56
基本目標 6. つながる子育て！について	18
その他	53

以下に、主な意見を掲載します（文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っている場合があります）。

基本目標 1. のびのび子育て！について

【保育園の入園基準について】	
1	保育園の入園（抽選）は、親にとって子どもを育てる中で挫折を感じてしまう方もいます。
【保育園の定員について】	
1	保育所の 1 歳児枠をもっと多くしてほしいです。
2	一歳児で、希望する保育園に入れるように入園の枠を調整していただくと（公立園の募集を停止しないなど）ありがたいと思います。
3	保育園にもっと入りやすいといいです。
4	1 歳児が認可保育園に入るのは、競争率が高いのが現状です。そのため、無理をして 0 歳で入園を選ぶ保護者が多く、子どもとの大切な期間の触れ合いを妨げられています。希望すれば 1 歳児が認可保育園へ入園できるよう、改善をお願いいたします。
5	1 歳児の入所できる保育園をもっと増やしてほしいです。早生まれの場合、0 歳児 4 月入園は難しく、途中入園も希望できる園が限られている、または空きがないと伺いました。生まれ月によって入園の配慮をしていただくとありがたいです。子育て支援の情報を HP 等に掲載していただくことは、情報収集にとっても役立ちます。ただ、もう少し検索しやすく、見やすくまとめていただくとありがたいです。

【保育園のサービス内容について】	
1	私立の保育園にも予約入園制度を取り入れてほしいです。公立の保育園は建物が古いので不安があります（児童館も同様です）。
2	保育園について入所しやすいのは良いです。以前、通っていた保育園で、土曜日保育や延長保育の申請を出したところ、園長と副園長から「労働基準法に違反する」「そんなに働いている訳がない」など難癖をつけられて、預かってもらえませんでした。（実際に労働基準法違反ではなく、大きな会社なので勤務証明書も正しく記入されたもので申請しました。）毎回嫌なことを言われるので、夫婦で交代で休みを取るなどして大変苦労しました。認可保育園でこの対応はどうかといまだに疑問に思っています。ハイリスク妊婦に対するサポートも、ゆりかご面接で把握されているようですが、その後のサポートが熱心ではない印象がありました。産後ケア事業には期待しています。発達障害がある子どもに対しても、検査などの機会はありますが、その後のサポートが親身には感じられませんでした。今でも苦労しています。
3	だれでも保育園に通える制度を今すぐ取り入れてほしいです。なぜ、少子化なのにそれが実行できないのか詳しい理由を知りたいです。
4	認可保育園でも教育に差があるため、すべての認可保育園で体操と英語を取り入れていただきたいです。
5	利用しているこども園は、新2号認定なのに延長利用が制限されている日が多く満足に預けられません。長期休暇時の延長保育の利用に関して、2ヶ月先の延長保育の利用日を申請させ、料金は前払いです。利用日が制限されているからパートでしか働けず、その雇用状況だから2ヶ月先の勤務状況がわからないのに、前払いを強制されています。上の子が新2号認定、下の子が3号認定の場合、新2号が預かり不可の日は就労の場合でも下の子も預けられません。3号認定は他園の一時保育利用ができないルールなのだから、せめて下の子は園で預かるべきです。就労で新2号認定の申請を提出しているのに、全く共働きの保護者に対して寄り添っていない状況です。その反面、2号3号認定の保護者は、仕事が明らかに休みの日でも預けたい放題です。育休中も平然と園のルールを無視してお迎え時間にきている保護者も多々見受けられます。どちらも共働きの保護者のためにある制度なのに、平等とは思えません。
6	延長保育について、条件付きでもいいので上限を設けずに利用できるようにしてほしいです。
【保育士について】	
1	先日、長男の通う保育園で保育参観をしてきました。コロナが収束し再開された保育参観で、実際に子どもがどんな風に過ごしているのか見ることができ、子どもの成長にとっても感動しました。先生方が忙しそうに、座る暇もなく子ども達と笑顔で接し、転べば優しく手当をし、子どもがけんかすればお互いの話を聴き、先生方が真剣に子どもたちと向き合う姿を目の当たりにしました。その姿を見て、感謝の気持ちと息子がとても恵まれた環境で生活していることを実感しました。子育ては良いこと、楽しいことばかりではなく、大変なことも多いです。そんな中、先生方に優しくしてもらえて、私自身もとても救われています。本当にありがとうございます

	ます。ぜひ、先生方がもっと楽に仕事ができるように、例えば人員を増やしたりするなどの支援をお願いしたいです。お給料が上がったり、先生方の努力が報われるような世の中になってほしいです。いつも先生方と保育園関係者の皆様、本当にありがとうございます。
2	保育園内で先生が子どもに対してきつく当たっているのを見かけたり、自分の子どもがきつく言われたと話していた事があり、少し不安を感じました。もし、子どもが悪いことをして怒られていたのならかまいませんが、子ども側に全く悪い所は見受けられなかったのが気になりました。
3	保育士さんの事件を目にするたび、心が痛みます。先生方のサポートや待遇改善なども強く願います。
4	最近、「こども誰でも通園制度」について報道されていますが、葛飾区でも本格実施することになった場合、既に通園している在園児や保育士の先生方に影響が出ることがないように、葛飾区独自で人員面や予算面などで適切な配慮を講じていただきたいです。例えば、「こども誰でも通園制度」にて預かる子を担当する保育士を、国の保育士の配置基準とは別枠で設けるなどです。
【保育料について】	
1	共働き世帯に対する子どもへの支援をもう少し手厚くしてほしいです。また、保育料が高すぎです。
2	私は区外から通っているのですが、保育園使用料を住んでいる市に払う制度がおかしいと思います。通っている市や区に支払うことができるように全体の制度を変えていただきたいです。通っている保育園に還元してほしいです。
【保育園に関すること】	
1	保育園が通勤に便利な駅近くに、さらに増えると選択肢が広がり、良いと思います。
2	保育園が充実し、安心して子どもを預けられるようになると、仕事も安心してできると思います。
3	保育園が充実していたため、近くの希望する保育園に入れました。
4	金町の駅前付近(利用しやすい場所)に保育園が少ないように思います。場所の問題はあると思いますが、水元地域などは空きがある一方、利用しやすい場所にある保育園には空きがない状況が続いており、保護者が利用しやすい場所に保育園を整備することが必要なのではないかと思いました。送迎ステーション事業を試験的に開始予定とのことで、良い取組であると思っています。
5	住んでいる場所からは幼稚園は何ヶ所もあるが、保育園は2箇所しか選ぶ事が出来ませんでした。自転車には乗りたがらない時期だったため、遠くの保育園への登園は難しく、職場復帰まで少し時間がかかりました。保育園には園庭がなく、少し不満でしたが、職場復帰のためには選ばざるを得ませんでした。幼稚園に上られるタイミングでまた探し直すことになり、仕事時間が減ります。幼稚園に転園したら新しい環境に慣れるまで、また時間がかかると思います。仕事と子育ての両立は非常に難しいです。職場の理解が得られているからこそ成り立っている状況です。
6	保育園に駐車場がほしいです。近くに住んでいる人まで車を使うと道路が混雑するためです。何km以上の距離の人に許可証を発行すると助かる人がいると思

	ます。兄弟で保育園が違う人がいますが、優先して同じ保育園にしてあげてほしいです。オムツのレンタル、毎月2袋くらいの補助があると助かります。上千葉公園のような動物とふれあえる無料の公園が増えると嬉しいです。
7	流山市のように駅から各保育園へ送迎してくれるサービスがあると、園選択の幅が広がるので検討してほしいです。
8	保育園での父母会を廃止して欲しいです。保育園の持ち物が多すぎると思います。(手ぶら保育推奨のところもあつたりするので、正直お昼寝布団、毛布カバーなど、指定された縫い方で提出しなければならないなど、本当に負担が大きいです。)学童保育は、1年生が1番必要としているのに、落ちてはわくチャレにも登録できず、学童に行かない子どもたちが溢れていました。学童の人数枠を増やせる環境整備をお願いします。この不景気では、鍵っ子になるしか選択肢のない子が多くなっていってしまうと思います。
9	感染症にかかった場合、医師の判断のもと登園をしていますが、最終的な判断は親に任されていると思います。例えば、手足口病も健康状態(全身)が改善し、食欲があればOKと言うのはあいまいで、園によっては発疹があると感染力が高いため、休んでほしいと言われます。もう少し細かく判断基準を設けてほしいです。
10	正社員で働きながら子育てするには、まだ不安があります。コロナ禍後は、少しの鼻水や咳でも登園できず、急な休みを取らなくてははいけません。西亀有小学校には低学年のわくチャレがなく、放課後の校庭解放もないため困っています。
【病児・病後児保育について】	
1	子どもが保育園通園時は、病児保育・病後児保育を何度も利用させていただきました。ただし、エリアが偏っているので、もっと増えるとありがたいです。また、親がサービス業で土・日・祝日の出勤もあるため、日曜・祝日にも保育園や学童の開設を検討していただけることを願っています。
2	病児・病後児保育について、時間や条件・場所などがなかなか利用しにくい状況でしたので、利用したいと思っていましたが、結局一度も利用するにはいたりませんでした。ひとり親なのですが、区のホームページは情報を探しにくく、どのような支援があるのか分かりにくかったです。
3	病児保育施設を近所に作って欲しいです。
4	病児保育を充実していただけるとよいです。各施設に病児保育が存在していれば共働き家庭の負担が少なくなると思います。職場の理解が低い中、子どもの体調不良に対応できず困る場面が多いです。もう少し病児保育の利用ハードルが下がると助かります。
5	病児保育が少なく、近隣には1ヵ所しかありません。利用したくても予約が取れないことが多く、計画的には利用できません。遠方の施設にも登録していますが、交通手段等を考えると利用することは現実的ではないです。病後児保育は各エリアに複数あるため、もっと利用のハードルを下げたいと思います。病後児の利用要件をクリアしていれば、いつもの園に通うことができます。また、保育園の満1歳予約入園の枠をもっと増やしてほしいです。保育園入園に不安を感じることなく、1歳まで育休を取れるように支援をお願いしたいです。
6	病児保育施設を近所に作って欲しいです。民間の学童の情報が欲しいです。

【一時保育・休日保育について】	
1	一時保育をもっと利用しやすくしてほしいです。
2	一時保育の受け入れ時間が限られており、枠も一杯なことも多いため、その点の解消ができればありがたいです。
3	一時保育の預け先が毎月どこも争奪戦で、予約がなかなかとれません。この問題を何とか解消してほしいです。
4	一時保育に興味はありますが、利用しにくいです。利用方法がわかりにくく、あまり空きが無いです。
5	子ども未来プラザで保育園に通っていない子どもを一時預かりしてくれるサービスを利用したことがあります。ただ、保育園に子どもが通っている今でも利用したいと思う瞬間が多々あります。夫の出張の都合などで土日ワンオペになる日は特に利用したいです。
【学童保育の定員について】	
1	保育所は次々とできていくが、学童保育が不足しているように感じます。小4以上は学童保育が利用できないため、今後どうしようか悩んでいます。犯罪や事故なども多く、1人で留守番させるのが不安です。毎日習い事をする経済的余裕もありません。学校では校庭開放などもしているが、毎日ではありません。放課後の子どもたちの居場所がほしいです。
2	学童が不足しています。東金町地区は半田小学校の近くに学校がなく、学区が広いので学童にも人が集まります。ひとり親や障害児以外は3年生から学童に入れません。まだ、8歳や9歳の子どもが夏休みなど家で1人でいなくてはいけない現状です。むしろ、保育園は定員割れで余っています。どうかはやく学童を増やしてください。本当によろしくお願いします。
3	学童の数が少ないと思います。フルタイムで働いており、まわりに親族もいないので今から心配しております。
4	学童の利用できる人数を増やしてほしいです。長い休みなど、その期間だけ預かれる場所が限られており、自宅から遠い場所しかありません。働く親が増えていくため、学童も受け入れ人数や場所が増えてほしいです。
5	私が子どもを産んだ10年前に比べて、子育て中の家庭に対する支援が格段に良くなっていると感じます。現在も給食費を無料にさせていただき、非常に助かっています。お隣の江戸川区に住むご家庭からは、「葛飾区はいいはねー」と良く比較して言われます。もう学童年齢ではありませんが、学童に入れなかったという話を良く聞きます。共働きも増え、私のようなひとり親家庭にはなくてはならない施設だと思いますので、増やしていただくと皆助かると思います。
【学童保育の預かり時間について】	
1	私立学童については、仕事が休みの日には預けることができません。仕事が終わったらそのままお迎えに来て下さいというのは、お金も払っているのにも関わらず、子育て支援とは言えないのではないかと思います。親がゆっくり休めることで、心に余裕ができ、育児ができるし、買い物やちょっとした家事ができれば、子どもとゆっくり関わる時間が持てます。提出した勤務時間通りにはいかないし、ワンオペなので30分でも1時間でも良いから時間があるととても助かります。通常の預か

	り時間で 17 時前には迎えに行っているのので柔軟な対応をお願いしたいです。(直接言われたことはないが、入会の時や毎回の手紙に書いてあることから圧迫感を感じます)。
2	学童の預かり時間をすべて 19 時以降までにしてほしいです。今のままだと、18 時までの学童に預けることになり、職場を変える必要性が出てしまいます。それにより所得が減少し、生活水準が下がってしまいます。是非ご検討の程、よろしくお願い致します。
3	学童の数を増やしてほしいです。また、保育園と同じように 20:15 まで延長を行ってほしいです。19:00 までだとお迎えが間に合わず、1 人で帰宅して、1 人で留守番の時間が 4 時間程あり心配です。
4	学童保育の夏休みは開始時間を 8:30 からではなく、勤務時間にあわせ預かってもらえるようにしてほしいです。また、中学生以上の子どものための預かり場所も増やして欲しいです。家に 1 人でいさせるのは心配です。
5	学童保育が 18 時までで、容赦なく 1 人でも外に出されてしまうのが心配でした。
6	区立学童保育の開所時間の延長をしてほしいです。朝の通勤が早い人のため、長期休暇は開所時間を早くしてほしいです。せめて 7 時半頃には開いてほしいです。また、全ての公園で、ネットの囲い設置と野球ボールの使用ができるようにしてほしいです。
【学童保育に関すること】	
1	学校が長期休暇(特に夏休み)の時、学童に入れなかったため、1 日中小学生が家に 1 人でいなければならなりません(両親が仕事で出勤するため)。長期休暇の時だけでも、子どもの面倒を見る場所が必要だと感じます。
2	学童保育の地域差があるように思います。夏休みのことを考えると、学童が整っていないと、結局仕事ができないので困ってしまいます。
3	色々な子育て支援をいただいているので、今後もより子育てをしやすい環境をつくってください。新小岩(駅前)は学童がないので、もっと充実させてほしいです。
4	今は保育園なので問題ないが、共働きのため学童に入りたいです。倍率などは把握していませんが、子育てと仕事の両立が出来るように、入れないことがないように体制を整えてほしいです。横浜では学童で 20 時までの預かりがあると聞きました。常時のつもりはないが、イレギュラーで長時間預かりの環境があると、祖父母が近くにいなくても安心して仕事と子育てができます。
5	保育施設に比べ、学童施設が少なく、預かり時間が短いため、不便を感じます。また、学童申し込みが保育施設に比べて各施設へ問い合わせが必要で煩雑なものも不便です。長期休暇時のみでも預かっていただける施設を増やしていただけると助かります。
6	学童保育も無料にしてください。
7	小学校高学年の居場所をつくってほしいです。低学年は学童保育がありますが、高学年は入れず、共働きの場合、どうしても悪い方向へ行きがちです。サマチャレの増設や学童の拡充、児童館の受け入れを増やすなど、ぜひ宜しくお願いします。
8	是非、新小岩地区に学童や児童館などの放課後に子どもが安全に過ごせる場所の

	拡充をお願いします。
9	放課後に子どもたちが集まれる施設や学童を高砂地区にも作って欲しいです。少なくとも小学校の近くに整備して欲しいです。私を含め、まわりの母親たちも、子どもが小学校に上がると仕事を辞めなければならないとよく話しています。朝の小学生のための居場所をつくってほしいです。親の出勤時間が早いため、転職するか、子どもが1人で登校時間まで過ごすこととなります。他の自治体でも校庭解放したり、学童ですごせるようにしたりと対応しているところがあるので、ぜひ葛飾区でもお願いいたします。
10	学童保育は、安心して預けられる場所ですが、夏休みなどの長期の休みになると1日室内で過ごさなければならず、飽きてしまうと思います。また、運動不足が心配です。人員の問題で難しいのはわかりますが、理想としては短時間でも外に出られる時間をつくって気分転換させてほしいです。外に出られるスペースがある学童が少ない様に思います。また、夏休みのわくチャレも、働いている親としては助かりますが、8月がないのが残念です。ボールをおもいっきり使える公園が少ないです。少しでも蹴ったりすると、近所の方が区に連絡をするのか、禁止の看板がすぐ立てられてしまうのが残念です。さらに、発達相談の面談を希望する場合、4～5ヶ月待ちとなるため、その間に本人の発達が変化してしまうことがありました。スムーズに相談面談がしたいです。
【教育・保育事業等に関すること】	
1	親が働いていても働いてなくても、幼稚園か保育園を自由に選んで子どもを通わせられるようになってほしいです。また、親の負担になるPTAは全て廃止し、有志による組織で活動して欲しいです。
【子育て支援に関するアンケートについて】	
1	高校生の娘がいます。幼児や小学生向けのアンケートがほとんどで、現状、そこからの育児は離れてしまっているのでわかりません。中・高生の親にとってこのアンケートは必要で、意義があるものなのでしょうか。
2	アンケートの質問が、いつどこで誰がなど、具体性に乏しく、何をさしているかわからず回答に困る内容が多かったです。
3	今回のアンケートですが、子どもたちの年齢とはかけ離れた質問が多く、回答に困りました。子どもは3人いますが、2人は成人してます。1番下の子が高校2年生です。
4	子どもが高校生以上なのに、質問が小さい子のいる家庭向けの質問ばかりで、意味がわかりません。
5	スマホでのアンケート、QRコード入力の方が便利です。
【子育て支援情報等の周知について】	
1	妊婦の時や産後は余裕がなく、色々なサービスを利用したくても調べることができません。こちらから調べようとしなくても、区から電話をもらえるなどのサポートがあるとありがたいと思いました。卒乳の時のおっぱいケアなど、どうして良いかわからず、区外の友人に聞いたり、色々検索しました。もっと区から妊婦さんや産後の人に積極的に情報を発信してほしいです。
2	屋外プールの開放時間を早めてほしいです。育児・子育てに関する区が提供してい

	るサービスについて、普段働いていて週末も雑用に追われているため、自ら情報を取りに行く余裕はありません。先日、(週末の) ベビーシッターを初めて利用して、シッターさんから一時保育の助成を受けられることを知りました。このように「たまたま」人伝いで知る事が多いため、もっと必要な人に情報を届けるシステムを考えてほしいです。
3	幼稚園と保育園、どちらに入れるか迷っています。入園の申し込みやどのくらい支援が受けられるか、正直わかっていません。もちろん調べてはいますが、そういった説明の会のようなものがあればいいなと思いました。
4	保育園の入園案内は読み込めば情報の宝庫ですが、文字が多くてどんな時に何をすれば良いのか分かりづらいと思いました。また、保育料の減免については、基準(例:収入がいくら減ると保育料の階層がどのくらいかわるのか)が、どこにも明示されておらず、問題だと思います。収入減による減免対象になるかは、エクセルの計算ツールなどを提供してほしいです。ファミサポやトワイライトなどの事業には、電車やバスで行きにくい場所に出向かないと登録できないため、子どもを抱えながらの負担がとても大きいです。電子申請の拡充を希望します。
5	保育園入園前に、児童館の定期イベント(○才のあつまりなど)を探して参加し、こもりがちだった育児中に大変助けられました。しかし、イベント情報の検索が大変でした。最寄りの児童館(3~5館)のイベント日時の情報が一度に検索できると申込みがしやすくなると思いました。
6	初めての子どもだと使い方がよく分からないし、○歳児健診などの際にはもう少し情報がほしかったです。子どもをつれて頑張って健診に行っているの、それぞれの家庭にあった内容が聞けると嬉しかったです。1人目と3人目の子どもを育てる人は、聞きたいことが異なると思います。
7	耳にすることがあっても、どのように利用していいのかわからず、利用できないことがあります。紙があっても、読むだけで、そこから先に進めないでいる事が多いです。誰かが入って利用出来るように、最初はサポートしていただきたいです。
8	聞かないと教えてくれないことが多いです。知らない人にはそのままの体制があると思います。
【子育てひろばのサービス内容について】	
1	子育て広場(りぼん)のスタッフがとても良くしてくれています。情報量も豊富で、他の人ももっと利用すればいいのにと、もったいなく思います。新小岩地域は3歳未満の子ども向けの公園が少ないです。
2	子育て広場(幼児向け)に小学生は入れないのが不満です。小1を含む赤ちゃん、幼児の兄弟がいる場合、親が一人しかいない時は子育て広場を利用することはできない(小1の留守番はできないため)。やむを得ない時は、小1、2ぐらいの子も下の子と同様に子育て広場を利用できると、子育ての負担が減って助かります。
3	いろはのような施設を増やして欲しいです。ママが交流できるようなイベント(小さいものでよいので)を定期的で開催してほしいです。ママ友の和ができるような仕組み作りを行政にやってほしいです。
【子育て支援施設の充実について】	
1	授乳室などのサービスが充実していて良いと思います。

2	いつもお世話になっております。保護者の利用しやすい保育所や関連施設の設置、運営ありがとうございます。昨夏、カナマチぷらっとでお会いした墨田区からお越しの方から、「葛飾区って子育て関連充実しているんでしょう？うらやましい」と言われました。まだ子どもが小さく、直接的な恩恵を受けている感はありませんが、地域が子育てを支えているということだと安心しております。
3	雨の日や暑い日に、外で思い切り遊ばせられる場所がないです。屋外だけど涼める場所があればいいと思います。広いスペースがある小児科が少ないです。
4	午後に子どもが行ける、屋内の遊び場がほしいです。
5	新小岩に住んでいると、区の端に位置しているからなのか、近くに子どもが1人で行くことのできる遊び場や図書館などの施設がなく、残念に思います。近くにあるのは小さな公園のみで、夏や冬の暑さ寒さ、防犯の面でも心配です。新小岩児童館が閉所してしまったため、早急に替わるような施設を作っていただきたいです。
【子ども未来プラザ・児童館について】	
1	行政の様々なサービス（児童館など）に助けてもらっています。綾瀬駅周辺は足立区と葛飾区が混在しているような地域のため、児童館や保育園が少なく感じています。対応を考えて頂けたらと思います。
2	青戸のいろはや鎌倉の子ども未来プラザをよく利用していましたが、スタッフの方々のお人柄が素晴らしく、本当に安心して何でも相談させていただいていました。金町保健センターでも、ペンぎんクラブでお世話になり、言葉が少し遅かった下の子も大変お世話になり、今では普通に幼稚園で過ごしています。これからも、悩んでいる人に支援が行き届くことを心から願っています。
3	児童館を民営に委託し、開所時間を延長してほしいです。また、子どもたちの居場所なのか、夕方以降の公園では中高生がたむろしています。
4	安全に遊べる屋外施設がほしいです。児童館のおもちゃの衛生面が気になります。おもちゃが濡れていたり、床が汚れていたりしています。
5	子ども未来プラザは講座が多いですが、場所が遠いため、近くの児童館でもっと子育て講座が開催されるとうれしいです。
6	児童館をよく利用しているので、とても助かっています。子どもの成長につながっていると思います。
7	児童館と子ども未来プラザをよく利用しています。とてもありがたいです。
8	児童館も放課後に過ごす場所として提供してもらいたいです。一度家に帰ってからでないで利用できないというのは、今の時代にそぐわないと思います。共働き家庭が多い中で、誰もいない家に帰ってから、また児童館に行くというのは、なんのメリットがあるのでしょうか。
【子育て支援サービス等について】	
1	会社員やフルタイム勤務よりも、個人事業主や自営業の世帯主の妻、パートタイム（週3日勤務など）の方が、税金面や保育所、学童利用の時に優遇されているようで納得いかないです。ただし、地域にはたくさんの利用できる施設があり、選択肢が与えられていることには感謝しています。ひとつお願いがあるとすれば、「ギフト向けサークル」等あるといいなと思います。勉強ではなく、友だちとの過ごし方や気持ちの落ち着け方などを情報共有できる場が欲しいです。

	学校等現場の方とも共有できれば最高です。
2	子育て家庭家事サポーター派遣事業について、子どもが2歳になると20時間に減ってしまいますが、我が家は年子育児を行っており、上の子が2歳になった時点でも家事の負担が大きいので、対象期間や時間を長くしていただければ助かります。
3	最近では職員不足のため、申請しても相談に1ヶ月位かかってしまいます。スタッフを増やしてほしいです。
4	共働きで祖父母のサポートが受けられない世帯に対して、サポートが充実してほしいです。体験の格差が、社会問題になりつつあります。無料ないし、安価で参加できる子どもの体験型イベントなど、区内各地で開催してほしいです。全くない訳ではないが、平日開催が多いです。申し込みも先着順であるため、仕事時間に申し込みできない場合があります。小1から小4くらいまでの放課後に過ごせる場所や選択肢を増やしてほしいです。ジェンダーレス水着の導入をお願いします。制服は夏暑そうなので、 Poloシャツなど、柔軟な対応や発想の導入をお願いします。インクルーシブ教育の推進のため、物心つかないうちから多様性を知り、互いに学び合い、尊重し合う環境をつくるのが大切ではないかと思います。他世代交流が可能な居場所や集いの場（みまもりの場）があるとよいです。
5	相談や保育園への手続きなど、複雑なものがあり、難しいです。子どもや若者が気軽に相談できたり、立ち寄れる居場所がたくさんできるといいなと感じます。
6	多目的な子育て世帯への支援をしてほしいです。低所得や非課税世帯だけでなく全ての子育て世帯への支援が望ましいです。就労内容や職業により、支援を受けにくい所もまだ多いと感じます。
7	子どもが安心して生活できる環境を整えてほしいです。また、保護者も様々な生活のスタイル（母が就業している、家にいる、様々なケースがあると思うが）があると思うので、それに寄り添った行政であってほしいです。
8	子どもたちの様々な体験や経験を増やすイベントを企画してほしいです。
9	乳幼児期のみサポートが充実しているように感じています。そのみに重点がおかれているようです。すべての人（子育てしていない人）が安心して生活することができるようなサポートを期待します。
10	子育てサービス自体は充実していてありがたいと思っています。今後も、サービスに従事する人たちの意識や技術の向上など、質の改善は必要だと思います。
11	ベビーシッターはいつも予約がとれないし、病児保育も条件付きで利用したくてもできません。2人以上の子育てをする母親は本当に大変です。
【子育て世帯への経済的支援について】	
1	子どもの出産や保育園などの補助金に関する情報をもっとわかりやすく提供してほしいです。
2	もう少し手当が増えると嬉しいです。特に多子世帯への優遇が充実していると、ファミリー層が葛飾に住むと思います。
3	子どもがいる世帯に対しての給付金等を増やしてほしいです。公園などの公共施設のトイレやオムツ替え台をもっとキレイにしてほしいです。汚いと子どもがトイレを利用しにくいです。
4	ミルクやオムツの定期便があれば本当に助かります。

5	もっと子育てに関する支援を手厚くしてほしいです。(経済面、地域の環境) 共働きしないといけない状況であり、非常にきびしい状況です。
6	出産祝い金や助成金など、今後も続けてほしいです。
7	電動自転車の助成費を上限5万円からもう少し増額して頂けたら、非常に助かります。
8	低所得世帯への支援は手厚いと思うが(国からもそうですし)、中間層への支援を区独自でも行っていただけると葛飾区で子育てしたいと思う方がもっと増えると思います。生活保護や住民税非課税世帯にばかり給付があって、何故中間層にはないのか疑問に感じています。30~40、50代の世帯で子育てしている家庭は、子育てや教育に最もお金がかかり、物価も上昇しているため厳しい状況にあります。
9	所得制限で多額の税金を支払った人々に児童手当が支給されてないことは、不公平です。
10	中学に進学した子どもがいますが、給食が小学校の時の方が美味しく、メニューも工夫されており楽しかったそうです。子どもが赤ちゃんの時は多くの支援があり育てるのにお金がかからないけれど、成長するにつれ、食費や習い事など、大人と同じ様に生活費がかかるようになります。幼児の支援だけでなく、小中高生のいる家庭の支援も考えて欲しいです。子どもの大学費用を考えると三人目は産めなかったです。
11	児童手当を高校生まで延長してほしいです。
12	非常にサービスが行き渡っていると思います。様々なサービスにお世話になりました。今は、子どもの習い事を考えていて支援があると嬉しいです。
13	区ではなく国や都の裁量かもしれませんが、頑張っている人には報われて欲しいので、児童手当の所得制限撤廃(収入がある世帯も手当を貰える)と、子どもの扶養控除の導入をしてほしいです。
14	長女(中2)が生まれた時と次女(小4)が生まれた時を比較すると、子育て支援のサービスが良くなったと感じます。現在もサービス内容が良くなっているようですが、2人育てるのが経済的にもギリギリかと思います。小学生や中学生くらいまでは子育て支援が充実しているが、高校生や大学生にどのような支援があるのかわからないです。
15	将来の事を考えると、共働きでも子ども1人を育てるのがやっとな生活です。葛飾区で家を購入したいと思っていますが、なかなか踏み切れません。誰も住んでいなさそうな空き家を見ると、「ここに住めたらいいのに」と思います。少子高齢化社会で、今後も葛飾区が安定した税収入を得るためには、やっぱりまだ結婚していない若い世代への支援が必要なのではないのでしょうか。働くことだけでやっとな生活を送っている現状を何とか改善できないのでしょうか。

基本目標2. すこやか子育て！について

【妊婦健康診査事業等について】	
1	子どもの歯科健診や年齢別健診などの場所が遠くて、仕事をしながら平日に健診を受けるために連れて行く調整が大変でした。事情を説明して、職場から近場の健診場所の施設に電話しても断られました。また、自宅からの健診場所に関しても、西亀有の住所の健診場所が金町保健センターなのは遠いと思います。青戸保健センターの方が近いです。健診場所を選べるようにしてほしいです。
【産後ケア事業について】	
1	年々、妊娠や産後ケアが充実している印象で、とても助かっています。産後ケアセンターには、7日間無料で宿泊させて頂いて、体調を整えることができました。また、ベビーシッターの助成があったおかげで、妊娠中の自宅安静や産後の回復ができました。
2	産後ケアに訪問型も含めてほしいです（上の子がいると、宿泊・デイケアを使い辛い時があります）。夜間休日の子ども救急医療が分かりにくく、ここへ行けば、ここに問い合わせれば大丈夫というのがあると助かります。ベビーシッター利用支援については、双子の場合、シッター2人を手配するというのが現実的に難しいです。1人のシッターに複数の子どもを頼んだ時も、助成対象になると使いやすいです。
3	出産後の母親の体のケアについて充実していただけるとありがたいです。例えば、産後矯正は保険適用になるなどの支援があれば、経済的にも精神的にもゆとりが生まれるので、子どもにも良い影響を与えることにつながると思います。
4	双子のため、産後2～3ヶ月迄はとても大変でした。産後ケア施設のような場所が、産後直ぐだけでなく、2～3ヶ月経ってからでも利用できると、親のリフレッシュになるかと思いました。
5	産後ケアの通所ケアが無料で7回まで行けるのがとても良かったです。
【医療機関について】	
1	子どもの夜間受け入れ可能な病院（特に小児科）を増やしてほしいです。出産祝い金があるとよいです。保育所の受け入れ枠を増やしてほしいです。
2	東金町地区（水元公園近く）に小児科がほしいです。
3	葛飾区は子育てに力をいれていると5年ほど前から聞いています。新小岩周辺に産婦人科（出産できる病院）がなさすぎます。ひとり親家庭休養ホーム事業について、葛飾区は導入しないのでしょうか。低収入のため、他の家庭よりもレジャー施設に遊びに行く機会がありません。
4	小児科が増えてほしいです。屋内で遊べる施設が増えてほしいです。
5	子どもと親と一緒に利用できる場所がもっと沢山できるとうれしいです。小児科が少なすぎます。良い病院がないです。
6	育児相談の日程が、月に複数あるとありがたいです。
7	新しい事業が色々あったが、知らないことが多かったため、私自身、もう少し興味を持ちたいと思った。また、現在はどうなっているかわからないが、夜間診療で小児科医が常駐しておらず、乳児の診察を内科の先生が行っていました。不安な親

	の気持ちを汲み取ってもらえず、かなりショックだったこともあり、その後子どもの具合が悪くなっても利用しませんでした。医者は専門家なので大したことないと思うかも知れないが、親は不安でどうしたらいいかわからないのです。病児保育などの充実を考えているとは思いますが、夜間診療での子どもの診察のことも考えてもらいたいです。
8	コロナ以後、子どもの発熱外来を診てくれる病院が少なくなりました。また、小中学生を診てくれる病院も少ないです。小中学生の子育てについて相談できる所が少ないです。幼少時より思春期や反抗期の子に対しての子育てのほうが大変ではないかと思っています。
9	幼稚園生の子が生まれた頃は、過去のコロナの影響で子育て支援も中々受けられず、外出も少なく過ごして来ました。これからは区のイベントなど色々な活動に参加したいと思うので、子ども向けのイベントを企画していただけると嬉しいです。また、現在は小学生の子どもの発達について、私もすごく不安で、支援につながるまで右往左往しました。大変かと思いますが、軽度の子や様子見の子も何かしらの支援が簡単に繋がるようになればと思います。また、7年ほど前は幼稚園生で言語聴覚士による言語訓練が葛飾区では受けられず、区外の民間の医療機関で受けていました。発音が不明瞭で訓練したい子も区内で受けられるといいと思います。常盤中学校の制服がセーラー服やジャンパースカートなのを見かけますが、最近の気候に合わない気がします。新宿中学校が制服を変えましたが、新校舎になるようですので、ポロシャツや女子でもスラックスなど現状の気候や状況に合わせてもらえるといいと思います。給食の無償化も早く、子育て支援には力を入れてくださっていると感じますので、これからも子育てしやすい葛飾区にしてください。
【支援体制等に関すること】	
1	葛飾区は、ほんと残念な区です。子育てもしにくいです。金町保健所の保健師全員の態度が悪いです。1から教育をしっかり受けてほしいです。電話してきて舐め腐った態度、威圧的な態度をしてきてほんと不愉快でしかありません。威圧感と子どもを見た目で判断し、嫌な保健師ばかりで差別される。本当に不愉快だったので、どうかしてほしいです。
2	妊娠中に具合が悪いことがあり、妊娠8ヶ月面談でゴミ出しすら行けないほどだという相談をしたことがあります。ネットスーパーなどを駆使してどうにか乗り切りましたが、出産してから「しあわせサービス」があるのを知りました。知っていたら利用したのにと思いました。せっかく「妊娠8ヶ月面談」があるのなら、そういったサービスも紹介していただけたらと思います。
【相談に関すること】	
1	区役所の子育て支援窓口を、区民事務所などにも設置してほしいです。
2	赤ちゃんの発育について、不安な時は当日又は翌日くらいに、時間の許す限りゆっくり話を聞いてくれる専門員がいるといいと思います。子育て相談の予約は取らせていただきましたが、だいぶ先の予約になったことと、20分ほどしか時間がなく、十分な質問や相談ができないと思ったからです。
3	幼い頃から子どもの偏食がひどく、ずっと悩んでいます。色々な場所に相談したが、解決することはなかったです。最近では、給食を食べることにプレッシャーを

	感じているようで、学校に行くのも気が重い様子の時があり、困っています。学校以外でも、このような相談ができる場所があると良いと思います。
4	亀有在住のものです。亀有駅周辺に子育て向けの施設（相談する場所）がほしいです。

基本目標3. いきいき子育て！について

【仕事と子育ての両立支援について】	
1	共働き世帯への子育て支援がもっと充実すると助かります。
2	出産や育児のために一度仕事を離れたお母さんたちが再就職をする際に利用できる、マザーズハローワークのような場所を葛飾区に設けてほしいです。

基本目標4. あんしん子育て！について

【おむつ替えスペース等の充実について】	
1	公共施設のベビールームは、どこも人気のない場所に設置されていることが多く、入る時に不安になります。休日は人が多いですが、平日はまったく人がいないこともあるので、防犯面が心配になります。
2	授乳場所を増やしていただくと助かります。
3	赤ちゃんの駅がもう少し増えると、より助かります。また、給水ポイントも多めに設置していただくと、暑い時期も安心して遊べます。
4	飲食店に限らず、屋外の公園でも安心して利用できる清潔なおむつ替え台、授乳室がもっと増えると暮らしやすいです。
5	金町区民事務所内の赤ちゃんの駅を利用しようとしたのですが、何もない広いフロアにおむつ替え台と椅子、カーテンで仕切るだけのスペースがありました。すぐ近くに男性の守衛の方が座っていて、授乳したら音が丸聞こえだと思い、安心して利用することができませんでした。赤ちゃんの駅を謳うなら、安心して利用できるスペースを確保してほしいです。
6	男女平等センターのオムツ替えのスペース（キッズルーム）みたいな場所を一般の人にも貸し出してほしいです。立派な場所があるのにもったいないです。児童館よりおもちゃもあるし、小さい子の遊ぶスペース、親同士の交流にもつながると思います。また、公園など遊具の使い方、小学生と未就学児がぶつかりそうになって危ないです。ボールなどのマナーなどについても考慮していただくとありがたいです。
【子ども未来プラザ・児童館の整備について】	
1	にこわ新小岩や結にお世話になりました。2人目ができたら、また利用したいと思います。
2	幼児に対しては、平日の午後に室内で遊べる場所が近所がないのが困っています。なお、小学生は、低学年でも学校で放課後遊べる環境を区内全体で整えてもらいたいです。通う学校によって違うため、不公平に感じます。ひとり親に対しての支援は、とても充実しているように感じますが、子どもに対しての支援がより充実すると子どもの数も増えていくと思いますので、宜しくお願いします。

3	新小岩南口側には児童館がないので、南口側にも子どもが安心して遊べる場所として児童館を作ってほしいです。
4	近くに子ども未来プラザがあると嬉しいです。午後に児童館に行くことが多いのですが、乳児向けの玩具が多いため、1日中動いて遊べる部屋があると良いと思いました。これから小学生になった時にも、公園以外に室内で遊べるような施設が充実していたら嬉しいです。
5	月曜日から日曜日までほぼワンオペのため、土日の仕事休みの日も子どもと1日いると、出来る事やることがなくなってきました。そんな時に児童館は休みだったり、人と関われる場所や息を抜ける場所がないのが辛い時があります。
【駅や施設のバリアフリーについて】	
1	人口の割に駅が狭く、ベビーカーでは利用しにくいです。
2	夫がサービス業のため、土、日、祝日は出勤です。しかし、週末や祝日に使える児童館が少なく、子ども未来プラザがとても役立っています。是非、奥戸立石地区にも造っていただきたいと思います。また、立石駅の上り改札がなぜスロープになっていないのか疑問です。私は二人乗りベビーカーを使用しているので、必ず駅員さんと呼ぶ必要がありとても不便です。今後は、車いすやベビーカーの配慮をぜひお願いしたいです。
【歩道等の整備について】	
1	高砂は、道がとても狭いです。道路もデコボコや傾斜があり、ベビーカーを利用している時に非常に危険です。また、子どもと歩く際も車と接触しそうになるくらい道が細くて狭いです。どうかして欲しいです。宜しくお願いします。
2	金町駅北口の駅前が、路駐している車や理科大の学生が横並びで歩いているため、もう少し道路を整備した方が安全だと思います。新しく商業施設もできて、人通りが増えているため、今のままだと危ないと思います。
3	小3の子どもがひとりで自転車に乗れるようになったが、交通ルールを守らない大人がいることや信号のない横断歩道があり、不安になります。
4	保育園、学童、学校が密集している地域で、大型トラックが猛スピードで走ってる環境が気になります。地域をもっと広い視野で見てほしいです。
【子連れで利用できる場所について】	
1	雨の日に、小学生以下の4歳から5歳ほどの子が思いっきり体を動かせる場を提供してもらえると嬉しいです。例えば、学校の体育館のような広い場所で、ボール遊びや遊具（うんてい、鉄棒、なわとびなど）が使える無料の場所があると、嬉しいと思います。
2	公園の水遊びは6月から始めてほしいです。足立区のギャラクシティのような設備がほしいです。
3	駅前のカナマチぷらっとのような、誰でも（子どもも）安心して使えるスペースが、駅近くだけでなく理科大の周辺や、少し駅から離れた場所にもあるといいと思います。
4	日曜日にも屋内で遊べる場所があれば良いと思います。
5	交通公園のような公園がいくつかあり、水遊びできる所もあるのはとてもいいと

	<p>思います。子どもが小中学生になると行くこともないですが、小さな子がいると遊びに行く場所があるのは嬉しいです。児童館も充実していると思います。</p>
<p>【公園のトイレについて】</p>	
1	<p>区内にはたくさん公園があり嬉しいが、トイレがやや不潔な感じがします。新たな場所への整備もありがたいですが、既存の施設の整備もして頂けると嬉しいです。暗いトイレは子どもたちが利用を避けるようになり、犯罪が起きる場所にならないか心配です。</p>
2	<p>公園のトイレ等、衛生面や使いやすさで子どもを連れて行きにくいところもあります。少しずつでも整備されるとありがたいと思います。まだ子どもが小さいのですが、将来的に学童の入りやすさなど不安に感じています。</p>
3	<p>公園や公共施設が不衛生であることが気になります。特にトイレは男女別、授乳やお着替えができる個室が必要だと思います。また、夏でも遊べるように、日除けやスプリンクラーの設置をお願いします。</p>
4	<p>子育てをするようになり、公園のありがたさを日々痛感しております。しかし、高砂北公園のお手洗いについては、もう少し明るくて虫が入りにくい設備になると子どもが怖がらずに使えます。</p>
<p>【ボール遊びのできる公園の整備について】</p>	
1	<p>大きな子どもがボールで遊べる公園がもっと欲しいです。学校の校庭でも構わないです。保育園の昼寝体制について、区として検討してほしいです。発達段階に応じて、昼寝が必要ない子どもに無理矢理昼寝をさせるのは、本人にとって苦痛でしかありません。我が子に関していえば、保育園に行きたがらない唯一の理由になっています。当然、夜の寝つきが悪くなるので、早寝早起きに支障が出ています。人員を配置して、昼寝の必要のない子どもを静かに過ごさせることを、区として取り組んでいるところもあると聞いています。</p>
2	<p>高砂北公園などには、オムツ替えの台がない場所がまだあるので、設置してほしいです。また、サッカーやボール遊びが禁止の公園が多いのが残念です。サッカーの試合や大人数での使用が禁止なのか、幼児と大人の2人程度のパスだけでもダメなのかが分かりません。全て禁止だとすると、個人でボール遊びをする場所が少ないように感じます。例えば、住吉子ども広場は広大な敷地に関らず、サッカーも野球、自転車まで禁止で、何をやる場所なの分かりません。もったいないと感じます。</p>
3	<p>ボール遊びが出来ない公園ばかりで困っています。</p>
4	<p>公園はキレイに整備されている所が多いですが、ボール遊びが禁止されている場所が多すぎます。学区外まで行かないと、サッカーや野球等ができないのがかわいそうに思います。</p>
5	<p>幼児向けの公園や施設は充実してきているように思います。小学校の中・高学年や中学生がスポーツを友人と楽しめる公園がもっとあると助かります。学区内にボールを使える場所がないと、学区外やボールを禁止している場所での遊びが増すおそれがあります。良い施設も近くにないに行くことができません。なるべく自転車で行くことのできる範囲に必要な施設があってほしいです。</p>

【公園の遊具について】	
1	公園にはインクルーシブ遊具をもっと増やしてほしいです。また、球技専門の公園を増やし、小さい子が遊ぶ場所と区別してほしいです。
2	0～2歳向けの遊具を公園に増やしてほしいです。(例：ブランコ) 東スポーツ公園の砂場には、屋根のように日差しを和らげるものがあると嬉しいです。夏場は直射日光が強すぎて、砂がカラカラで熱くなっているため、遊ぶのに適していないと思います。
3	新小岩公園に幼児の遊べるスペースがほしいです。錦糸公園のように3歳前後向けの遊具と、それ以上の年齢向け遊具と場所を分けてあそべる遊具がほしいです。もしくは、交通公園のような機能がほしいです。
4	大きな公園だけでなく、小さめな公園にも鉄棒やちょっとした遊具を増やしてほしいと思いました。現状では老朽化で撤去されたままだったり、夏になると草が生いげって遊べなかったり(利用者が少ないから?)して、少し残念です。鉄棒はよく取り合いになるので、もう少し増えると良いと思います。安全面の観点から難しいのでしょうか?また、図書館や児童館をよく利用します。特に中央図書館は子ども用のスペースが広いので、0才の子どもも連れて行きやすいです。
【安心して遊べる公園づくりについて】	
1	地域の公園は夕方になると小学生のたまり場になっており、鬼ごっこで走り回っているため、小さな子どもを遊ばせるのは危ないです。新小岩の南口には、小さい子どもを遊ばせる室内施設が少ないです。
2	子どもたちが体をおもいっきり動かせるような場所がないです。ボール遊びや水場など、ボールOKの公園でも近所の住民からうるさいと叱られることもよくあります。小さい子の親御さんからは、危ないから他の場所へ行つてと言われることもあります。一番体で遊びたい年頃の子どもたちが遊べる場所がないです。土手や高架下のスペースを他区のように上手く使わせてほしい。墨田区や江東区には、そういう場所があり開放的になっていると思います。子どもを増やすのもいいが、すでに生まれている子どもたちの環境にも気を配ってあげてほしいです。
3	子どもが小学生の頃、ブレイブボードが流行り、練習して上手に乗りこなせるようになったが、道路や公園での使用が制限され始め、スポーツ公園ですら禁止されてしまいました。できる場所がなく、ブレイブボードでみんなで遊ぶことが廃れてしまった。上手に乗りこなし、みんなで楽しく遊んでいたのに残念です。欲しかったので一万円もかけて買ったのに、使う場所がなくなりました。
4	ボール投げや鉄棒などが出来るところが増えてほしいです。
【公園等の整備に関すること】	
1	夏場に水あそびができる場所がとても多く、非常にありがたいです。他区の友達が”葛飾に住みたい”という程、葛飾の大きなPRポイントだと思っています。曳舟川親水公園沿いの水あそびエリアの着替えスペースが充実していれば、さらに人気になるだろうと思います。水元公園の遊具がもっと充実したらいいなと感じます。乳幼児が遊ぶエリアが少なく、隣の三郷公園(遊具多数)へ行くことが多いです。お花茶屋公園は、場所はとても便利ですが、芝が伸び放題で虫も多く、遊具も古いため、きれいになったら利用者も増えると思います。公立保育園に通って

	<p>いますが、駐輪場に雨よけがなく、雨の日に子ども2人を自転車から降ろすと、びしゃびしゃになってしまいます。雨よけを設置して頂くと助かります。</p>
2	<p>葛飾区内のアクセスしやすい場所に、大きめの遊具（アスレチック等）がある公園や雨の日に室内で体を動かせる施設（小学生くらいまでが対象）があるとありがたいです。現状では、葛飾区外に行き遊んでいます。</p>
3	<p>夏の水遊びのできる公園などは、すごく充実しているように思っています。一方で、図書館や学校など、古い施設が多いように思います。また、インフラワクチンの助成金などは、すごくありがたいです。古い公園や遊具がほとんどない公園など、新しく整備してほしいです。</p>
4	<p>葛飾区は公園がたくさんあって、子どもの遊ぶ場所があるので、とても助かっています。しかし、東水元6丁目に引っ越した後、6丁目が水元公園に近いせいか、遊具のある公園がなく、子どもに少々不便な思いをさせているようです。ここ数年、新築戸建が多く建てられた地域に公園の設置の検討をお願いします。</p>
5	<p>夏の暑さが年々厳しくなり、子どもたちの過ごせる場所が室内になることで、安心・安全な場所を探すのが困難です。室内で遊べる公園のような所があれば良いと思います。学校の帰り道が途中で1人になり、心配です。朝は大人が立っていてくださっているの、助かっています。</p>
6	<p>金町三丁目には、狭い公園が1つしかありません。金町小の学区域には、その小さな公園しかなく、子どもが鬼ごっこやボール遊びをする場所がありません。友達と遊ぶときには、カナマチぷらっとや友達の家で遊ぶしかないので、外遊びができる環境があると嬉しいです。</p>
<p>【防犯対策について】</p>	
1	<p>街中には防犯カメラはどのくらい設置されているのでしょうか。四つ木地域ではあまり見ないように思います。増やしてほしいです。また、小学生になるにあたり、学童に対して不安があります。保育園にはあまり困らない地域ですが、学童は少ないです。葛飾区の子育て支援は年々更新されており、対象外の時は対象の人を羨ましいと思うほどの時もあります。これからも継続的な子育て支援が増えることを期待しています。</p>
2	<p>こち亀のこども110番の表示はよく貼ってあるが、何をしてもらえるのかよくわからないです。もっとパトロールをしてほしいです。</p>
3	<p>子ども未来プラザには入口にセキュリティがあるが、健康プラザには誰でも入れ、建物内で怒鳴ったりしている人もいます。同じ子育てスペースで、子どもの安全について、あまりの違いにおどろきます。</p>
4	<p>夕焼け小焼けのチャイムが鳴ってから、母（自分）の仕事が終わり帰宅するまでの間、家で子どもだけ過ごすことが心配です。</p>
5	<p>防犯カメラの増設や見回りの強化、道路の拡張など、もっと子どもが安心して過ごせる環境を整備してほしいです。</p>
<p>【公共交通について】</p>	
1	<p>もう少しバスなどアクセスが良好だともっと良いと思います。引っ越してきたばかりで、まだ分からないことも多いです。</p>
2	<p>堀切菖蒲園周辺のバスをもう少し増やしてほしいです。</p>

基本目標5. みんなで子育て！について

【水泳の授業について】	
1	保育園を快適に利用できています。また、休日にあいている小児科が近所にあり助かります。住みやすいです。ただし、小学生のプールの問題は気になります。お金がないと泳げないことや夏の水難事故の対策として、やはり水泳授業は必要ですし、民間プールを利用するよりも、何校かに一校プール施設を持ち、そこで授業できた方が良かったように思います。
2	小学校のプール授業が、外部のスポーツクラブに委託になりました。取組自体には賛成ですが、プールの授業が12月末まで続くため、濡れた髪のまま過ごすことに心配があります。せめて11月中旬には終わるようにスケジュールを検討してほしいです。
【学校の教員について】	
1	小中学校の先生の労働環境改善を通じて、子どもたちにとっても過ごしやすい学校生活が実現することを望んでいます。就学前の環境については充実していると思います。
【学校の指導・サポートについて】	
1	葛飾区は道幅もせまく、家同士が密集していて、何をすることも狭いと感じます。発達障害グレーゾーンの子どもたちが増えているにも関わらず、学校も対応できていないし、そういう子どもたちが学べる施設がなさすぎます。そのため、不登校や生きづらさを感じる子どもたちが増えていると思います。親への対応も親身になって行うべきです。子どもたちが安心して元気に暮らしていくには大人がもっと子ども心（メンタル）を勉強し、理解するべきです。身近にそういう場所をもっとたくさん作るべきです。
2	保育園や小学校の時代遅れ感が否めない点があります。前時代的というか、スケジュールが直前にしか提供されず、紙配付が多いなどです。区には連絡しましたが、健診で半裸にされている点は、子どもたちにもう少し配慮していただきたいです。
3	小中学生の学力に差があるのは（2極化のような感じ）仕方のないのですが、マナーが悪い子（小さい子や周りの人への配慮など）が目立つことがあります。学校でサポートしてあげられたらいいと思うことがあります。先生は大変なので外部の方と協力してできたらよいと思います
4	小学校の教育が充実していないです。先生が不足していて、習熟度別学習ができていないと感じます。また、支援児をサポートする人材も足りないと思います。学童入所が3年生になると難しくなり、待機となりました。わくチャレのスタートも6月からだったので、それまで一人で過ごすことになりました。学校の振替休日や開校記念日などの平日はわくチャレも休みで、一人で過ごさせることができました。土曜の教育の日が減ったのはよかったです。医療費が高校生まで無料なのは助かりますが、給食費無料よりも上記の教育費に予算を充てていただきたいです。
5	小学校までは葛飾区立にお世話になりましたが、現在は私立の中高一貫校に在籍しています。息子は、小学校生活では友達と遊ぶことや体育の授業で身体を動かすことを楽しんでいました。しかし、主要な教科では授業のスピードが遅く、内容も

	簡単に感じていたようです。親としては簡単すぎて適当にやってもわかるとは思ってほしくなく、学習することは楽しいと思ってほしくて、学校外での学習をさせることにしました。そのおかげで難しい問題を解く楽しさを知ってくれたと思います。勉強についていけないお子さんのフォローももちろん大事なことです。授業内容が簡単すぎると思う子どもが一定数いることもまた事実です。学習意欲の高い子どもへの配慮も検討していただけたらと思います。
6	金町中学校バレー部女子の体制を改善してほしい。昨年の不祥事の件で指導者がいなくなり、練習量も減少しているとのこと。なぜ生徒が我慢をしなくてはならないのでしょうか。以前の状態に戻してほしいです(学校に対応をお願いしても無視されています)。
【学校の老朽化について】	
1	中学校のプールの授業も早く外部にしてほしいです。また、古い保育園、小学校、中学校の校舎を建替えてほしいです。特に奥戸地区は、古い校舎が多いです。
【タブレット端末について】	
1	学校の取組に対して、保護者側の意見がなかなか反映されないと感じます。例えば、タブレット(iPad)がとても重く、通学時の大きな負担になっています。使用しない日は、家に置いておくなど、酷暑の中の負担を少しでも減らしたいです。子どもたちには、子ども未来プラザをもっと活用してほしいです。理科大とのコラボイベントが充実してきており、とても楽しみです。
【特別支援教室等について】	
1	学校に対してですが、特別支援学級がある学校に対しては、ちゃんと普通学級の保護者に対して、説明会などを開いてほしいです。特別支援学級に対して、見た目で見判断することや白い目で見めるのではなく、親子ともども同じ人間として見て頂けるようにしてほしいです。また、学校の先生も、見て見ぬふりをせず、障害者に対してばかにしたりすることを見たら、注意出来る指導者であってほしいと思っています。
【図書館等の整備について】	
1	いつも子どもと一緒に図書館を利用させていただいています。小説や文庫本もたくさんあり、楽しいですが、マンガも読みたいので、もう少しマンガの種類が増えると嬉しいです。
【その他】	
1	区営プールやミッカなどで、近くに住む子どもたちが子どもだけで遊んでいるのを見たらやましくなります。小学生が1人で出かけられる範囲は学区内程度であり、校則でも学区外に子どもだけで出かけないよう指導されます。共働きで、歳の離れた複数の子それぞれに付き添う時間は限られ、子どもたちの成長機会が減ってないか心配になります。そんな中、金町公園や東柴又小夏季プール、公立図書館の学校への団体貸出、郷土と天文博の出張授業など、子どもたちがとても楽しんでいるようです。これらの事業が継続し、規模を拡大していくことを希望します。
2	子どもたちの食事の質をもっと良くして欲しいです(オーガニックなど)。保育園より小学校の給食は質素で、子どもたちがかわいそうです。牛乳も選択制にしては

	しいです。また、公園の制限が多過ぎます（ボールNGや野球NGなど・・・）。誰のための公園なのか疑問に思います。
3	給食費無料については、昔からあればいいなと思っていたので、実施していただき感謝しています。給食を食べない子どもはいないので公費で出すべきだと思っていました。幼児の頃も遊ぶ場所がたくさんあり、過ごしやすかったです。
4	最近の子どもたちは、習い事ばかりしていて忙しそうだと思う日々です。英語についてももっと力を入れてほしいです。
5	中学のブラック校則をどうにかしてほしいです。表現の自由が制限されていることや、もっと多様性を認めるべきです。校則に縛られることがストレスを生みます。時代に合わせて変えるべきです。また、校外学習の際、ジャージを着用することもあります。学校名と児童名が刺繍されているため、個人情報を守られていないです。小学校・中学校もそうだが、5月や6月の運動会では、なぜ児童用のテントが無いのでしょうか。職員、来賓のみにテントがあるのはおかしいです。近年の気温の上昇を考えると、一番体力を消耗している児童にテントを優先すべきです。購入予算がないなら、PTA会費を使って購入すべきです。PTAへの加入も自由参加にして欲しいです。強制的に役員や係をやらせるべきではないと思います。
6	子どもたちには、多くのプロスポーツの場を提供してほしいと考えています。
7	青戸地域は、地域の人たちの子どもへの愛情をととても感じる地域だと思っています。とても住みやすく、子育てしやすい環境に感謝しています。
8	少子化が進む世の中ですが、近所子どもたちに声をかけて去年実施した手持ち花火会が、今年はいつの間にか子ども同士でロコミをしていて10家庭で13人もの子どもが集まりました。葛飾の、東京の、日本の未来を担う子どもたちが心からの「楽しい！」をたくさん感じて、健やかに過ごせるように、利用できる制度は積極的に利用しながら区と一緒に成長を見守りたいと思っています。
9	延長保育の充実よりも、保護者が保育できる区を目指してほしいです。例えば、学校教員や幼稚園、保育園、役所勤務の方々が軒並み定時に帰宅できるようにするなどです。また、葛飾区の企業については、残業をさせない仕組みづくりに力を入れている企業への区独自の評価や奨励などです。さらに、子どもに関わる全ての大人へ、発達障害やウェルビーイング、人権についての研修を充実させてほしいです。ウィメンズパルでたまに行っているが、子育て中の保護者が往復のバスで行けるわけがないと思います。意識の高い人ですら行けないのに、意識が低い層にはなおさら届くわけがないです。子育て広場でも、そのようなイベントのある日には遊ぶスペースを閉鎖する場合があるが、普通に遊び場を開いている傍らに職員がプチ講座をするなど様々な取組方法があると思います。意識高い保護者にはワークショップ形式ができると良いと思います。特に男性への参加を促進してほしいです。10年前と比べて男性参加型イベントの数が大きく変わっていないように感じ、子どもの未来にとって不利益であると思います。また、教員には、特別なニーズのある子どもに対応するための最低限の知識を持ってほしいです。例えば、授業中にトイレ行くことや忘れ物することに対して叱責することや、不登校の子を「心が弱い」と形容するのではなく、より適切に対応をしてほしいです。多動についても、「将来多動だと困る」と言うのではなく、脳の物理的発達で治るのがほとんどとい

	うことは全教員が知っておく必要があると思います。通級教員の知識が不足しています。生徒指導提要すら読んだことのない教員が、「集団の適応」をやたら前面に押し出して自立活動をすすめています。なんとかしてほしいです。
10	来年から小学生になるのですが、第一子であるため、小学校に関する情報が全く手に入らないと感じています。具体的には、入学前に健診や面談があるのか、いつ頃なのか不明です。また、学童も保育園に比べると情報が少ない気がします。保育園は、園見学や体験保育をはじめ園庭開放や子育てひろばに参加して情報収集ができましたが、小学校や学童はそのような機会がなく、電話での問い合わせしかできずにいます。また、保育園が学区外のため、就学前に訪問するのが他校になるため、進学する小学校に入学前に子どもだけでも訪問できたらと思います。学校は勉強の場であるため、難しいとは思いますが、ご検討いただけますと幸いです。

基本目標6. つながる子育て！について

【児童虐待防止対策の推進について】	
1	子どもたちの様々な特性や、多様な家庭環境に寛容なところが、葛飾区の良い所だと感じます。不適切な教育や虐待が見過ごされないようなネットワークがさらに充実すると良いと思います。
【障害児等への支援について】	
1	障害児が学びや体験ができるイベントを開催してほしいです。公園に行って周りの子どもたちと遊ぶことが難しく、ショッピングセンター等のキッズイベントの工作コーナー等も参加しにくいです。また、習い事をするに当たり、プールやピアノなど、障害の種類にもよって受け入れ可能な教室を開示してくれると助かります。個々に親が問い合わせなければいけない状況です。
【ひとり親への支援について】	
1	ひとり親への支援をもう少し増やして欲しいです。実家住まいだと、区との関わりや支援が全くなく感じています。

その他

【その他】	
1	お世話になっております。4人の子育て中です。以前住んでいた世田谷区では子育ては難しいと思います。葛飾区で本当によかったです。
2	広報を読んだ時は、「こういう活動をしている人だな」と思いますが、実際に利用する機会がないので、時間が経つと忘れてしまいます。
3	葛飾区からの支援などを通じて、少子化対策に取り組んでいただきたいです。
4	住む価値のある場所です。子どもたちに奉仕し、世話をするための活動がたくさんあります。
5	葛飾区は子育てしやすいと思います。
6	夫婦ともに生まれも育ちも葛飾区で、葛飾区から出たことがありません。葛飾区は子育てに関する支援や施設が充実しており、近所も子育て世帯が多く、とても生活しやすいです。

7	<p>質問内容がかなり小さいお子様向けのものと感じました。私は子育ては一生続くものだと考えており、小学生以上のお子様がいらっしゃるご家庭では、そんな支援私の時にはなかったというものばかりです。確かに、少子化が問題視されており、産む事に視点が集中しがちな現代ですが、その後、親になれば小さい時の支援ばかり拡充されても、一番子育てが難しい時期はその子どもや親によって大きく異なると思います。親になることに戸惑いを感じている方々は、子どもに十分な家庭の存在や教育の場を提供し、一生責任を持って育てていけるかという不安を抱えていると思います。授業料無償化など頑張ってくださいますが、大学は違いますね。子どもを一人産むだけでも大変なのに、3人以上や条件付きで年収によって受けられる支援が異なることがないよう、全ての子どもがいる家庭が支援を受けられる体制が望ましいと考えます。産めばよいのではありません。産んで親になるということは、子育て一生の覚悟が必要なのではないでしょうか。今の子どもたちは情報量が多いため、みんな現実を見えています。それが少子化の原因だと私は考えています。葛飾区も平等で、子どもたちが夢を持ち、のびのびと生活し、学べる環境になっていってくれることを望みます。以上、ありがとうございました。</p>
---	---

Ⅲ 調査結果（子ども）

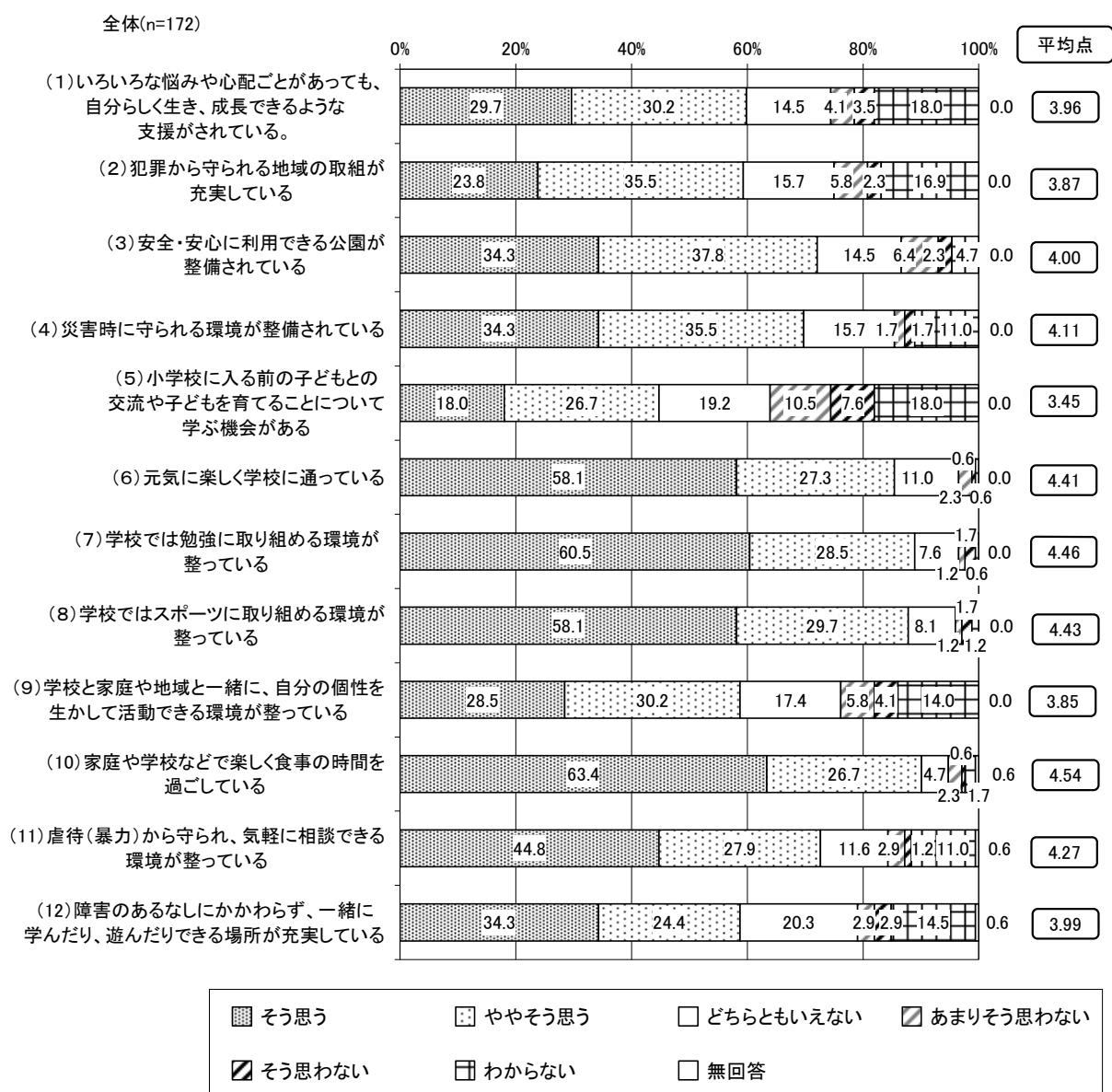
1 それぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

【全体】各選択肢の回答比率を算出するほか、「そう思う」を5点、「ややそう思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点にそれぞれ配点し、平均得点を算出しました。

【経年変化】令和3年度から実施している同様の調査3か年分の比較を掲載しています。

【全体】

(1) から (12) の評価は、『(10) 家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている』が 4.54 点で最も高く、『(5) 小学校に入る前の子どもとの交流や子どもを育てることについて学ぶ機会がある』が 3.45 点で最も低くなっています。

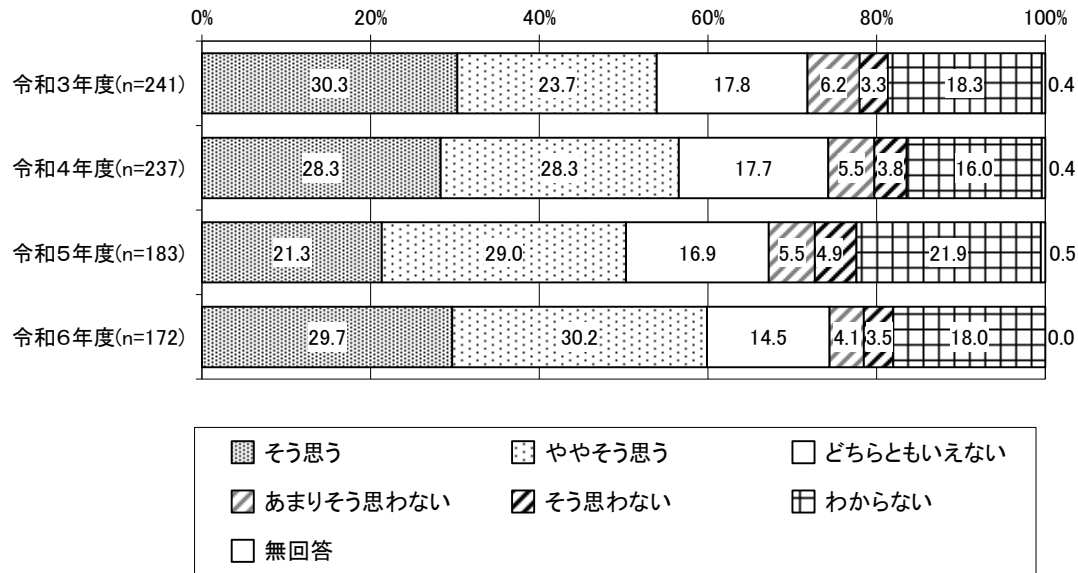


【経年変化】

(1) いろいろな悩みや心配ごとがあっても、自分らしく生き、成長できるような支援がされている。

「ややそう思う」が30.2%で最も多く、「そう思う」が29.7%、「わからない」が18.0%、となっています。

令和5年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加し、「わからない」の割合がやや減少しています。

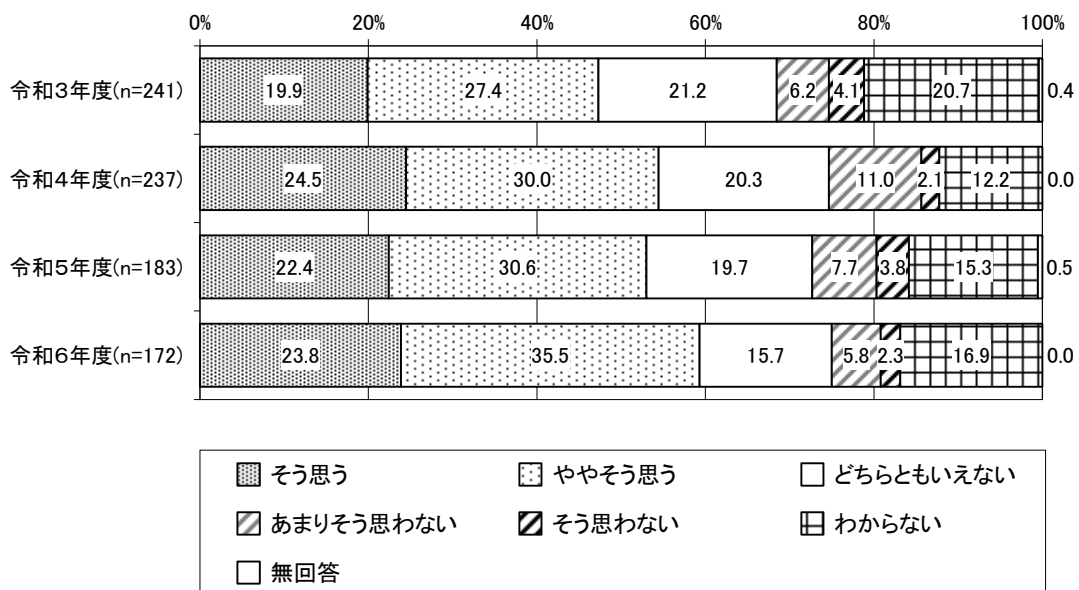


※令和3年度の調査の質問は「悩みや心配ごとがあったときに、自分を認めてもらいながら成長できるよう支援されている」

(2) 犯罪から守られる地域の取組が充実している。

「ややそう思う」が35.5%で最も多く、「そう思う」が23.8%、「わからない」が16.9%となっています。

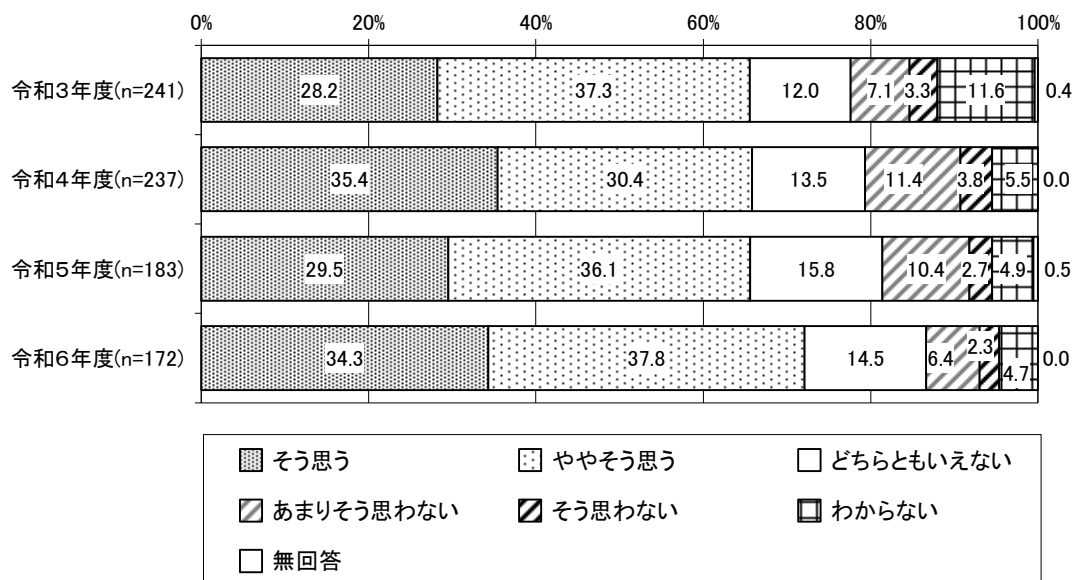
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合がやや増加し、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(3) 安全・安心に利用できる公園が整備されている。

「ややそう思う」が 37.8%で最も多く、「そう思う」が 34.3%、「どちらともいえない」が 14.5%となっています。

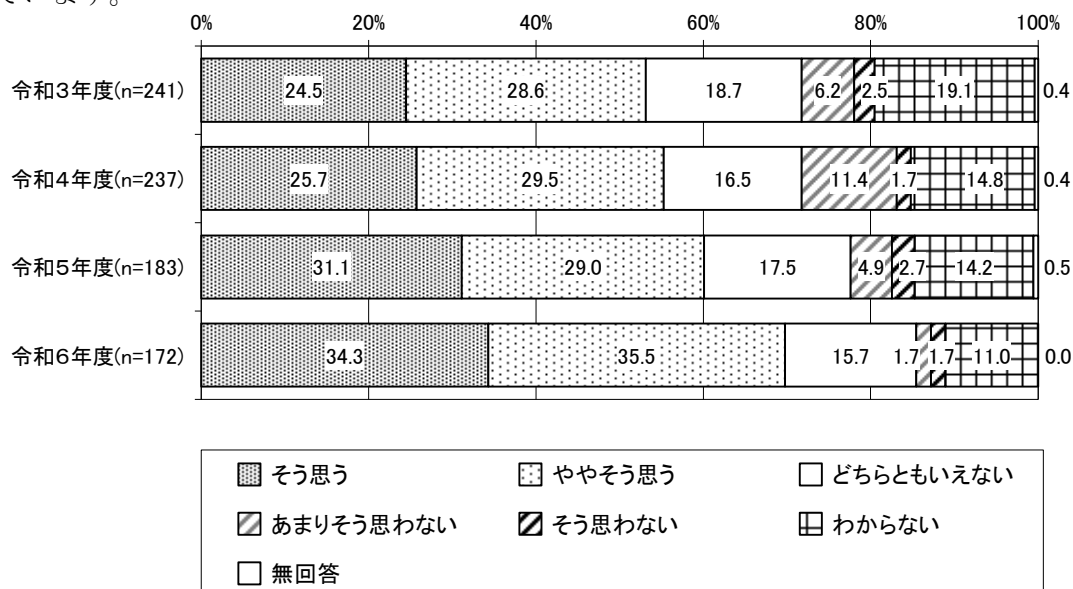
令和5年度調査と比較すると、「そう思う」の割合がやや増加し、「あまりそう思わない」の割合がやや減少しています。



(4) 災害時に守られる環境が整備されている。

「ややそう思う」が 35.5%で最も多く、「そう思う」が 34.3%、「どちらともいえない」が 15.7%となっています。

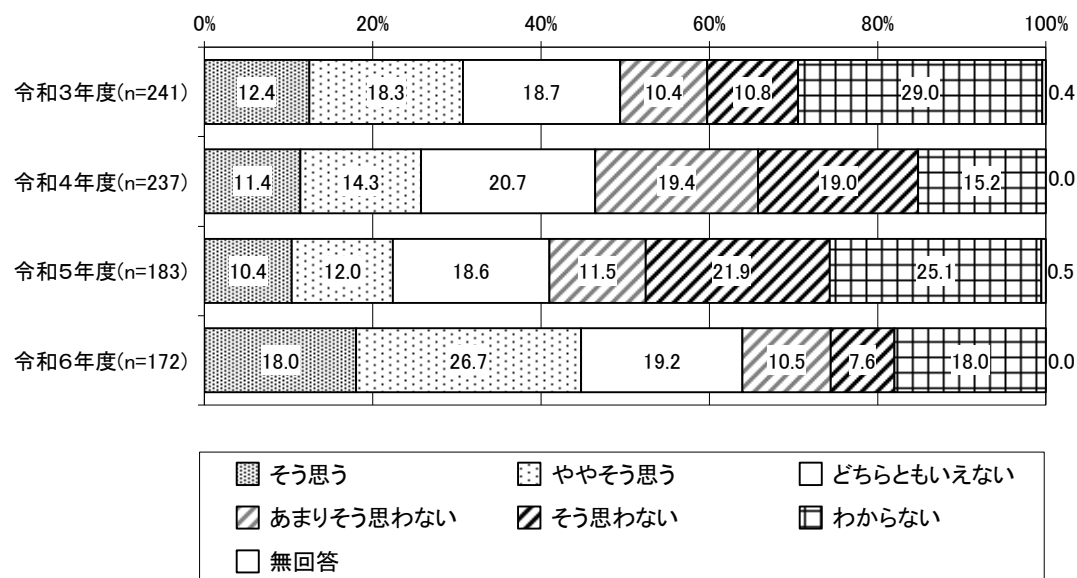
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加しています。さらに、「そう思う」の割合がやや増加、「あまりそう思わない」と「わからない」の割合がやや減少しています。



(5) 小学校に入る前の子どもとの交流や子どもを育てることについて学ぶ機会がある。

「ややそう思う」が26.7%で最も多く、「どちらともいえない」が19.2%、「そう思う」と「わからない」がともに18.0%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が大きく増加し、「そう思う」の割合が増加しています。さらに、「そう思わない」の割合が大きく減少し、「わからない」の割合が減少しています。

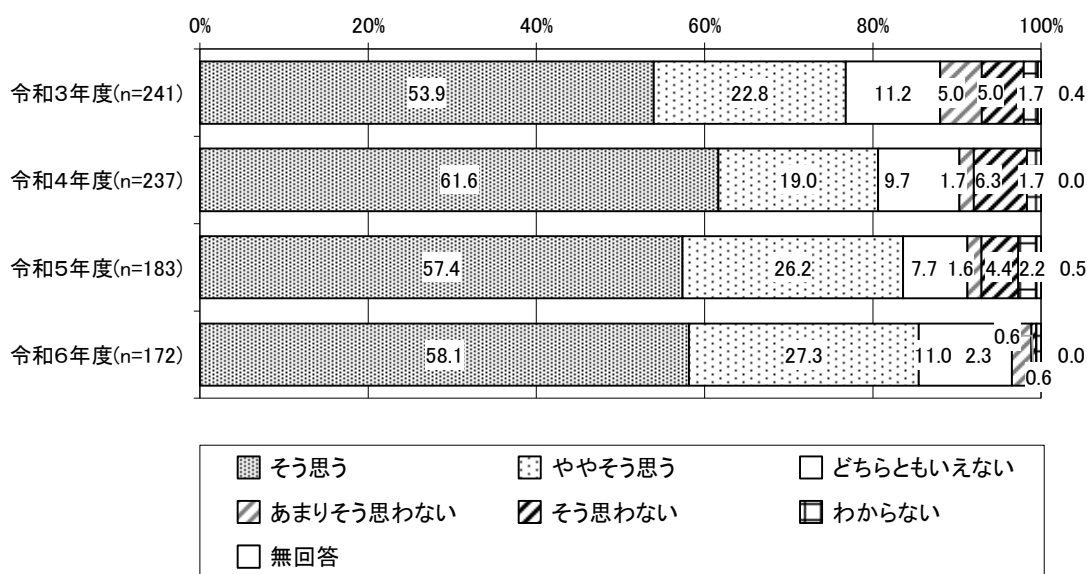


※令和5年度調査までの質問は「乳幼児と触れ合い、子育てについて学ぶ機会がある」

(6) 元気に楽しく学校に通っている。

「そう思う」が58.1%で最も多く、「ややそう思う」が27.3%、「どちらともいえない」が11.0%となっています。

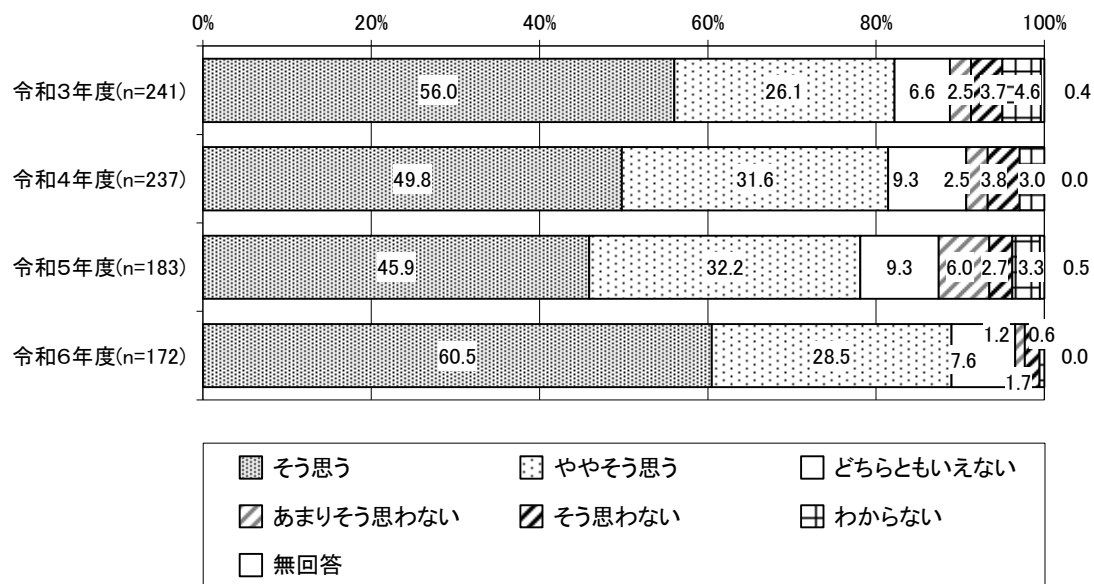
令和5年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合がやや増加し、「そう思わない」の割合がやや減少しています。



(7) 学校では勉強に取り組める環境が整っている。

「そう思う」が60.5%で最も多く、「ややそう思う」が28.5%、「どちらともいえない」が7.6%となっています。

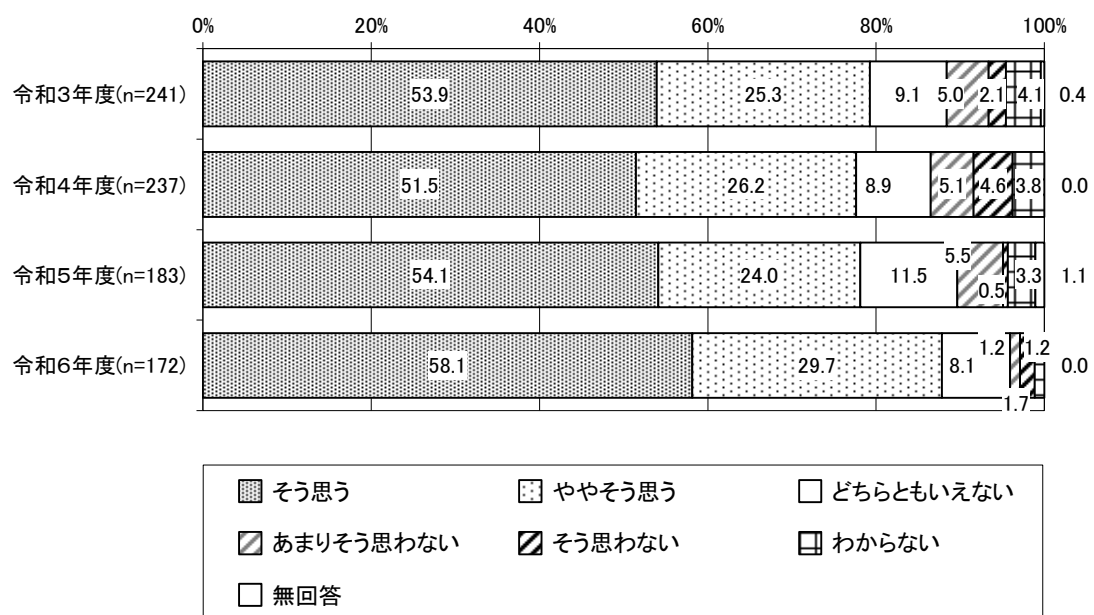
令和5年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が大きく増加しました。さらに、「ややそう思う」と「あまりそう思わない」の割合がやや減少しています。



(8) 学校ではスポーツに取り組める環境が整っている。

「そう思う」が58.1%で最も多く、「ややそう思う」が29.7%、「どちらともいえない」が8.1%となっています。

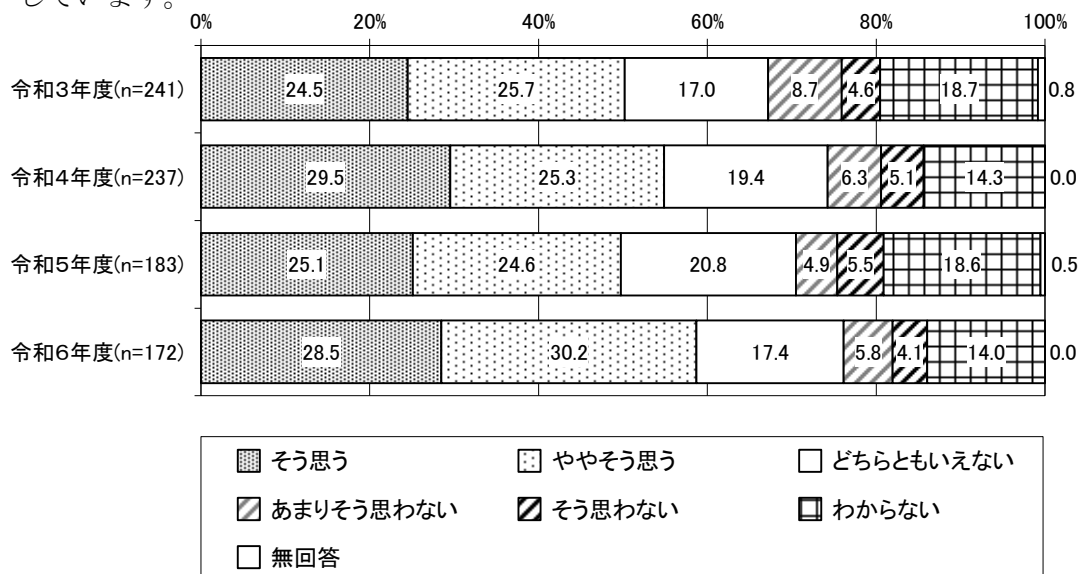
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加しています。さらに、「そう思う」の割合がやや増加、「あまりそう思わない」と「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(9) 学校と家庭や地域と一緒に、自分の個性を生かして活動できる環境が整っている。

「ややそう思う」が30.2%で最も多く、「そう思う」が28.5%、「どちらともいえない」が17.4%となっています。

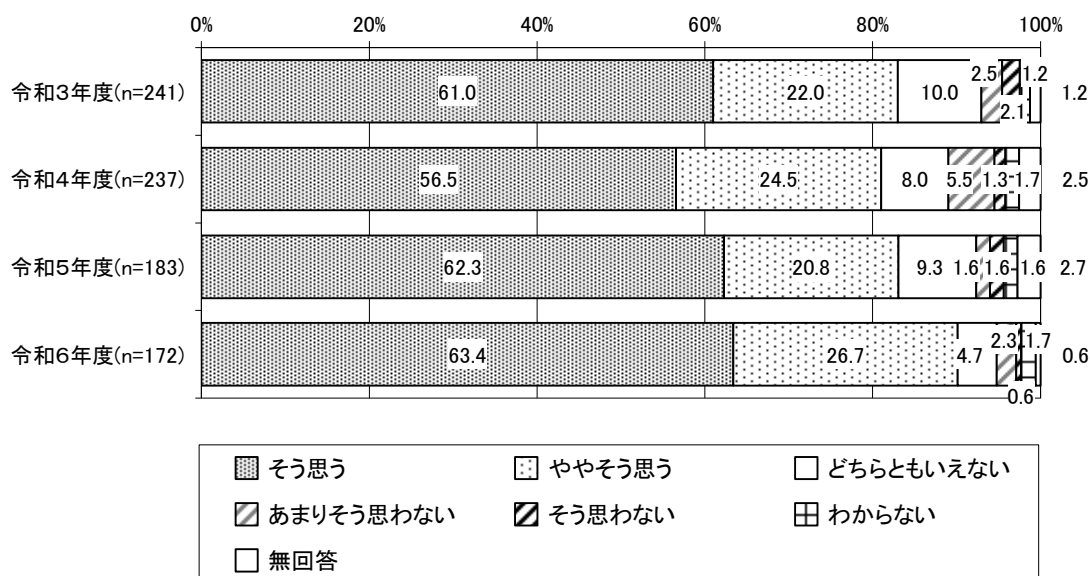
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加しています。さらに、「そう思う」の割合がやや増加し、「わからない」と「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(10) 家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

「そう思う」が63.4%で最も多く、「ややそう思う」が26.7%、「どちらともいえない」が4.7%となっています。

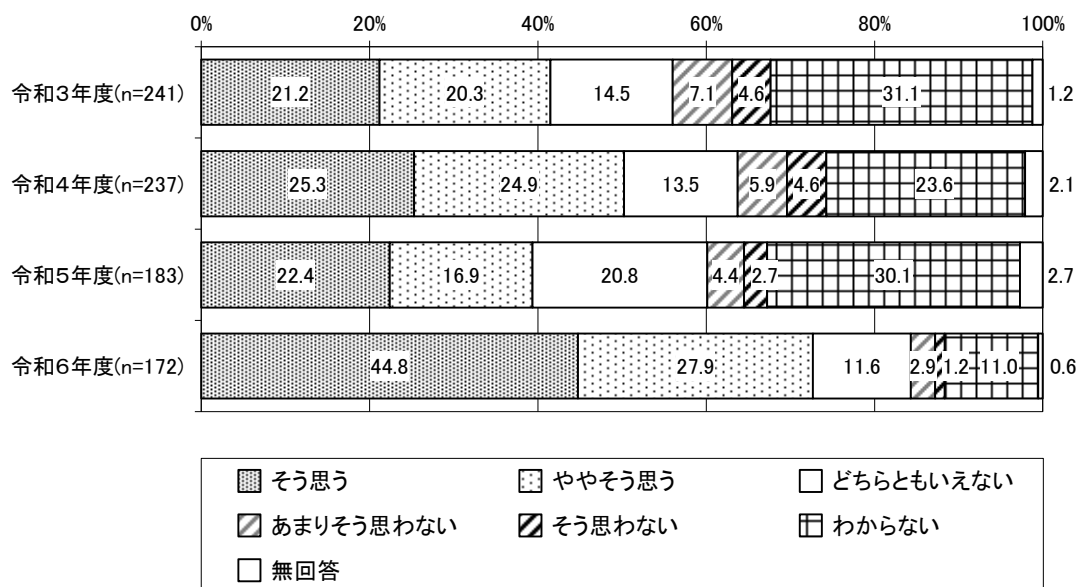
令和5年度調査と比較すると、「ややそう思う」の割合が増加し、「どちらともいえない」の割合がやや減少しています。



(11) 虐待（暴力）から守られ、気軽に相談できる環境が整っている。

「そう思う」が44.8%で最も多く、「ややそう思う」が27.9%、「どちらともいえない」が11.6%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「そう思う」と「ややそう思う」の割合が大きく増加し、「わからない」の割合が大きく減少しています。さらに、「どちらともいえない」の割合が減少しています。

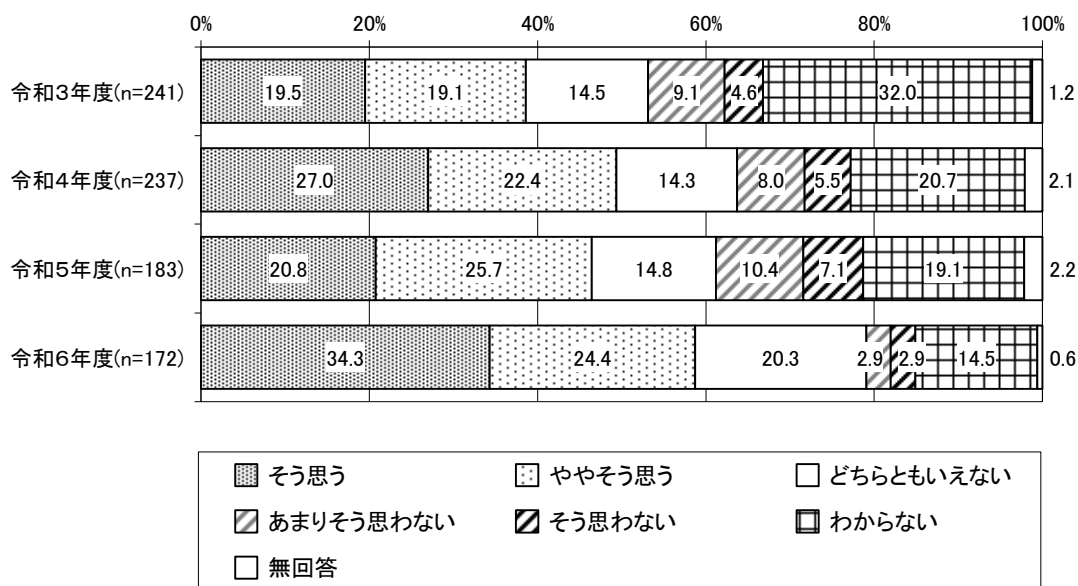


※令和5年度調査までの質問は「子どもが虐待から守られる取り組みが充実している」

(12) 障害のあるなしにかかわらず、一緒に学んだり遊んだりできる場所が充実している。

「そう思う」が34.3%で最も多く、「ややそう思う」が24.4%、「どちらともいえない」が20.3%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が大きく増加しています。さらに、「どちらともいえない」の割合が増加、「あまりそう思わない」の割合が減少しています。また、「わからない」と「そう思わない」の割合がやや減少しています。



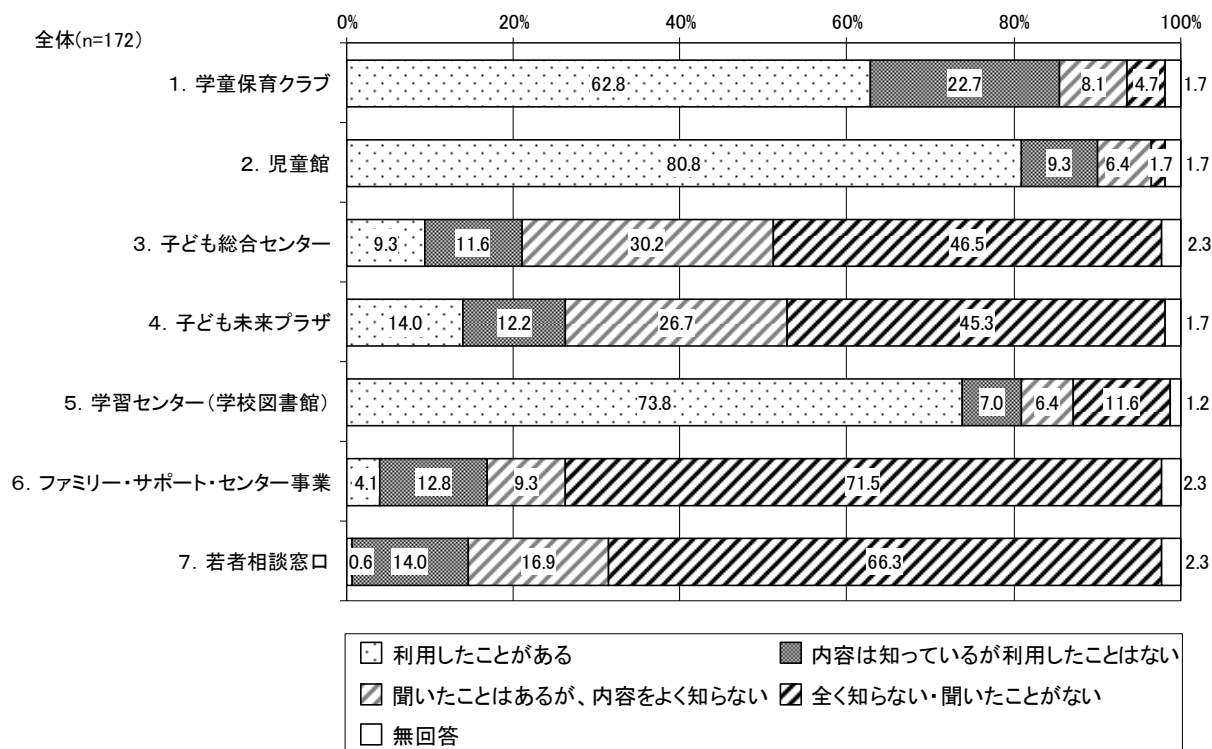
※令和5年度調査までの質問は「障害のあるなしにかかわらず、子ども同士と一緒に交流できる場所が充実している」

2 子ども・子育て支援に関する情報等についてお伺いします。

(13) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

『児童館』は80.8%が、『学習センター（学校図書館）』は73.8%が、『学童保育クラブ』は62.8%が「利用したことがある」と回答しています。

一方、『ファミリー・サポート・センター事業』は7割以上が、『若者相談窓口』も6割以上が「全く知らない・聞いたことがない」と回答しています。



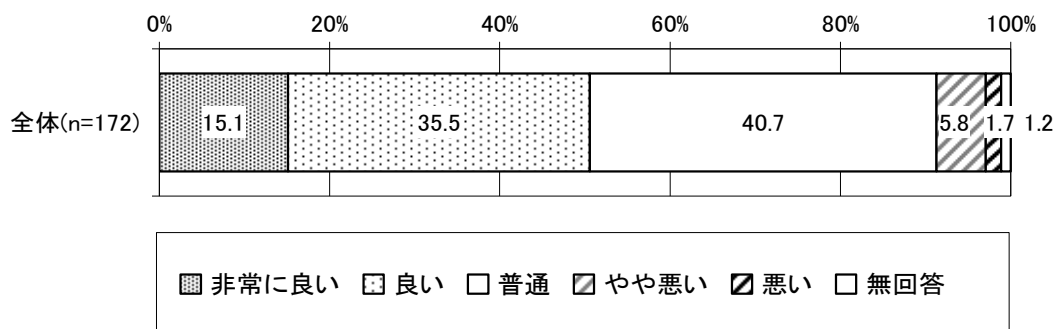
3 環境についてお伺いします。

(14) 自分の考えや判断を表現できる力を身につけ、大人に成長していく環境について、葛飾区の取組をどのように評価しますか。

【全体】

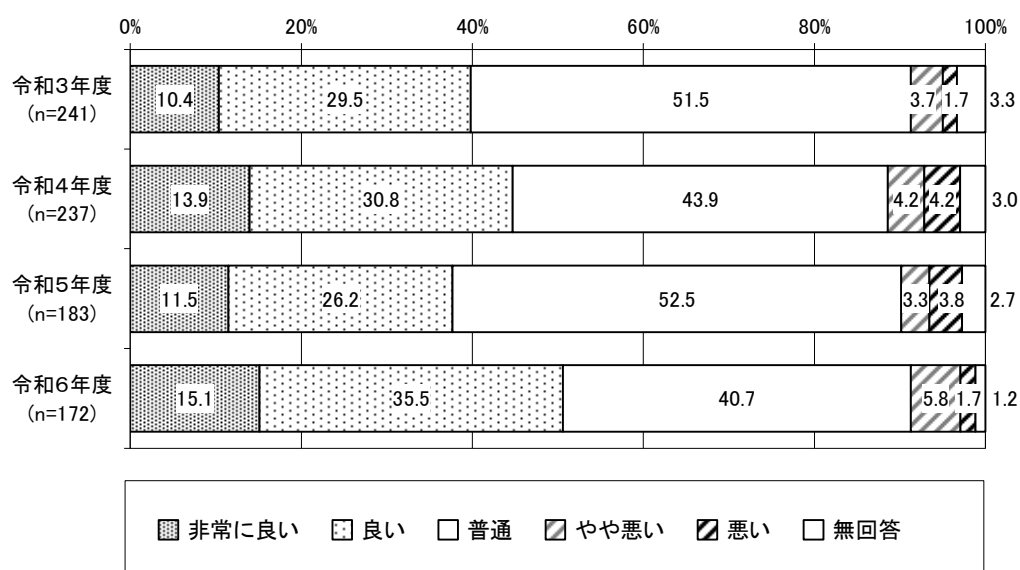
総合的な評価は、「非常に良い」「良い」の合計は50.6%、「やや悪い」「悪い」の合計は7.5%となっています。

「普通」が40.7%で最も多く、「良い」が35.5%、「非常に良い」が15.1%となっています。



【経年変化】

令和5年度調査と比較すると、「良い」の割合が増加し、「非常に良い」がやや増加し、「普通」の割合が大きく減少しています。



その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご意見・ご要望等の記述があったのは、回収数 237 票中 10 票でした。記述内容を区の子育て支援の「基本目標」に従って分類すると、以下のような結果となりました。

分類項目	件数
基本目標 1. のびのび子育て！について	1
基本目標 2. すこやか子育て！について	0
基本目標 3. いきいき子育て！について	0
基本目標 4. あんしん子育て！について	4
基本目標 5. みんなで子育て！について	3
基本目標 6. つながる子育て！について	0
その他	2

以下に、主な意見を掲載します（文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っている場合があります）。

基本目標 1. のびのび子育て！について

【子育て支援に関するアンケートについて】	
1	もっと分かりやすい質問にして欲しいと思いました。

基本目標 4. あんしん子育て！について

【ボール遊びのできる公園の整備について】	
1	ボール遊びが出来る公園がもっとあると便利です。
2	公園を増やせば良いと思う（広めの）。近所に何も言われたい、安全、安心な公園。サッカー、野球が不便なく出来る公園。
3	公園でボール遊びができれば良い。
【公園の遊具について】	
1	もっと公園を作って欲しい。もっと色々楽しめる遊具があったら、みんな楽しめるかなと思ったからです。

基本目標 5. みんなで子育て！について

【学校の指導・サポートについて】	
1	宿題を減らして欲しい。なぜなら減らしてくれたら自分の好きなことや友達と遊んだり自分のやりたいことが、もっとできるようになるからです。
2	給食を無理やり食べさせることは、より嫌いにさせることにもつながるため、やめさせた方が良くと思います。
3	いじめ0を目標にする活動は、とてもいいことだと思います。

その他

【その他】	
1	色々な取組をしていると思います。
2	葛飾区は良いまちだと思います。

令和6年度 子育て支援に関するアンケートご協力のお願い

葛飾区では、令和2年3月に「第二期葛飾区子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」を策定し、「子どもの幸せを第一に考え、全ての子どもと子育て家庭に地域社会全体で寄り添い、支えることを通じて、子どもの最善の利益が実現される『かつしか』を目指していく。」ことを基本理念として子育て支援に取り組んでいます。

区民の皆様には、子ども・子育て支援事業計画の事業がどの程度役立っているのか率直な評価をしていただき、さらに事業の充実に努めて参りたいと考えております。

お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、アンケートは無記名です。また、ご記入いただいた内容は調査目的以外に使用することはありませんので、ご安心ください。

●調査の対象（合計 約2,500人）

このアンケート調査は、次の皆様にご協力をお願いしています。

対象の方	調査票受取方法	回答する方
区内子育て施設を利用しているお子様の保護者 (認可保育園、児童館・子ども未来プラザ、幼稚園、家庭的保育事業所、認証保育所、子育てひろば、小規模保育事業所、認定こども園)	利用している施設で 配付	保護者様
区内子育て施設を利用している本人とその保護者 (学童保育クラブ)	利用している施設で 配付	施設を利用しているお 子様本人・保護者様
無作為抽出した区内に住む小学生、中学生、高校生 とその保護者	自宅に郵送	宛名に記載されているお 子様本人・保護者様

●調査回答方法（以下の2つを選べます。）

①オンライン回答

・オンラインにより回答する場合は、次ページを参考に回答してください。

②紙での回答

・施設で調査票を受け取った場合は、施設へ提出してください。

●回答期限

お手数ですが、令和6年7月10日（水）までに お願いいたします。

○お問い合わせ先○

葛飾区 子育て支援部

子育て政策課 子ども・子育て計画係

電話 03-5654-6136（直通）

03-3695-1111（代表）

内線 2432

オンライン回答方法

この調査は、スマートフォンやパソコンから回答することができます。

- 1 調査票の最初のページ上部に印刷されている QR コードを読み取り、調査特設ページを開いてください。
(または、ブラウザで <https://kk24p.fmq.jp/Q/auto/ja/kk24p/s/> を開いてください。)
- 2 ID と パスワードを半角英数字で入力してください。



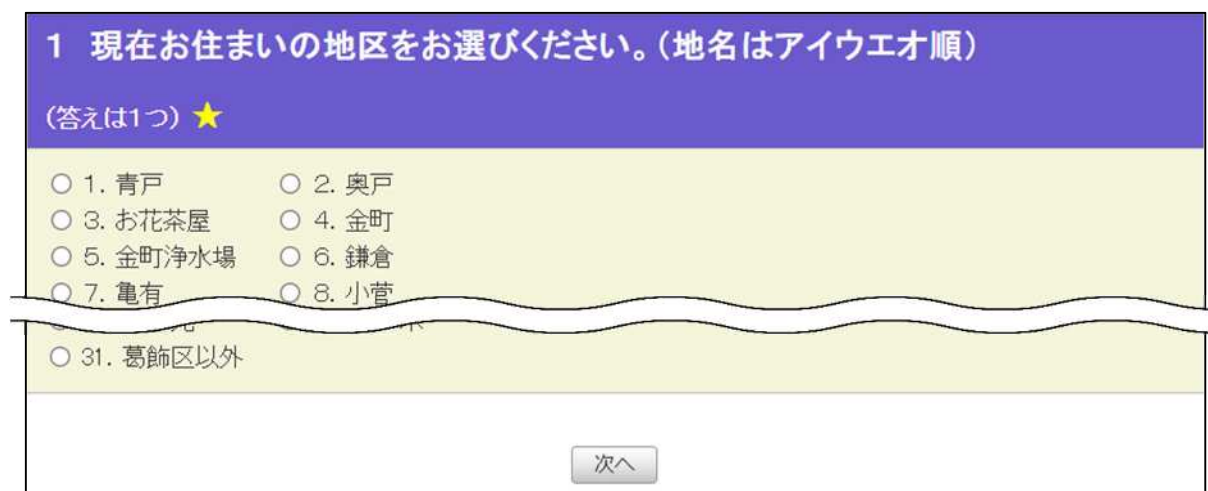
「令和6年度 子育て支援に関するアンケート(保護者用)」
ユーザID・パスワードを入力してください。

ユーザID
パスワード

ログイン

(上記 ID、パスワードから回答した方が特定されることはありません)

- 3 画面に表示された説明文をよくお読みになり、画面下部の「次へ」をタップまたはクリックしてください。
- 4 それぞれの問いに対してあてはまる数字の左横にある○ボタンまたは□ボタンを、タップまたはクリックしてください。黄色い★マークがついた質問には必ず回答してください。
次のページへ進むには、ページ下部の「次へ」ボタンをタップまたはクリックしてください。



1 現在お住まいの地区をお選びください。(地名はアイウエオ順)

(答えは1つ) ★

1. 青戸 2. 奥戸
 3. お花茶屋 4. 金町
 5. 金町浄水場 6. 鎌倉
 7. 亀有 8. 小菅

31. 葛飾区以外

次へ

- 5 回答を中断する場合は、ブラウザを閉じるか終了してください。
- 6 回答を再開する場合は、あらためて 1、2 の手順を進めると、前回終了したページが開くので続きを回答してください。
- 7 下記の画面が表示されたらアンケートは全て終了です。ブラウザを閉じるか終了してください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ オンラインで回答した場合は、調査票の提出は必要ありません。

アンケート調査票（保護者様用）

オンライン
回答用 QR コード



ID : 00xxx PASS : 00xx

該当する数字に○をつけてください。

1 現在お住まいの地区をお選びください。（地名はアイウエオ順）

1. 青戸	2. 奥戸	3. お花茶屋	4. 金町	5. 金町浄水場
6. 鎌倉	7. 亀有	8. 小菅	9. 柴又	10. 白鳥
11. 新小岩	12. 高砂	13. 宝町	14. 立石	15. 新宿
16. 西亀有	17. 西新小岩	18. 西水元	19. 東金町	20. 東新小岩
21. 東立石	22. 東堀切	23. 東水元	24. 東四つ木	25. 細田
26. 堀切	27. 水元	28. 水元公園	29. 南水元	30. 四つ木
31. 葛飾区以外				

2 お子様の年齢層をお選びください。

カッコ内には、お選びいただいた年齢層のお子様の人数をご記入ください。

1. 0～2歳（ ）	2. 3～5歳（ ）	3. 小学生以上（ ）
------------	------------	-------------

3 子育てに関するそれぞれの項目について、あなたの評価に最も近いものを一つお選びください。

☆【基本目標1. のびのび子育て！に関する質問】

(1) 保育所・学童保育クラブなどの保育施設が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(2) 保育所・学童保育クラブなどの保育時間が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(3) 延長、休日及び子どもの病気などに対応する多様な保育が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(4) 一時保育やベビーシッター利用支援事業など在宅家庭に対する保育サービスが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(5) 育児中の親同士が出会いや交流できる場所（子育てひろばなど）が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (6) 保育所・学童保育クラブなどの施設や、子育てひろばなどの子育て支援事業について分かりやすく情報提供されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標2. すこやか子育て！に関する質問】

- (7) 子どもの発育など子育てに悩む親が相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (8) 妊娠から出産、産後までの相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (9) 子どもの病気に昼夜・休日を問わず適切に対応する医療機関が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (10) 妊娠期を含めた子育て中の親（父親を含む）に、子育てについて学ぶ機会が提供されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (11) 悩みを持つ若者の相談しやすい仕組みや、支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標3. いきいき子育て！に関する質問】

- (12) 仕事と育児の両立ができるように職場での支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

- (13) 男性が積極的に家事・育児に取り組むことへの理解が進んでいる。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標4. あんしん子育て！に関する質問】

- (14) 乳幼児を連れた親が安心して外出できるように、公共施設などにおむつ替えや授乳などができるスペースが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(15) 保護者と乳幼児が利用しやすい公園・児童遊園が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(16) 様々な事情のある子どもが、自分らしく生き、社会的な自立につながる支援体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(17) 子どもを犯罪から守る地域の取り組みが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(18) 子どもが安心して利用できる、防犯・安全に配慮した公園・児童遊園が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(19) 災害時に子どもが守られる環境が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標5. みんなで子育て！に関する質問】

(20) 小・中学生と乳幼児が触れ合い、子育てへの関心が高められる機会が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(21) 子育てに関する地域の活動が活発で、身近なところで支援を受ける環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(22) 子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

※ (23)～(27)は、小学生以上のお子様がいる保護者の方にお尋ねします。
小学生以上のお子様がない保護者の方は(28)にお進みください。

(23) 子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(24) 学校においては、勉強に取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(25) 学校においては、スポーツに取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(26) 学校と家庭や地域の方が連携して、一人一人の子どもの個性を活かしながら活動できる環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(27) 子ども自身が食に関心を持ち、家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

☆【基本目標6. つながる子育て！に関する質問】

(28) 児童虐待防止への取り組みが充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(29) 障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(30) 乳幼児の障害を早期に発見・相談できる体制が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(31) ひとり親家庭への経済的・精神的な支援が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

4 子ども・子育て支援に関する情報提供についてお伺いします。

(32) 子育てに関する区の情報をどのように得ていますか。

(あてはまるもの全てに○を付けてください)

1. 広報かつしか	2. 区公式ホームページ	3. かつしか子育てマップ
4. その他のホームページ ()		5. 区公式フェイスブック
6. 区公式 X (旧ツイッター)	7. 区公式LINE	8. 育児支援ガイドブック
9. その他の方法 ()		10. 特に得ていない

(33) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

	利用した ことがある	内容は知って いるが利用し たことはない	聞いたことは あるが、内容を よく知らない	全く知らない・ 聞いたことが ない
1 認可保育所	1	2	3	4
2 幼稚園	1	2	3	4
3 認定こども園	1	2	3	4
4 認証保育所	1	2	3	4
5 家庭的保育事業所（保育ママ）	1	2	3	4
6 小規模保育事業所	1	2	3	4
7 夜間保育所（白鳥ふたば保育園）	1	2	3	4
8 学童保育クラブ	1	2	3	4
9 児童館	1	2	3	4
10 子ども総合センター	1	2	3	4
11 子ども未来プラザ	1	2	3	4
12 学習センター（学校図書館）	1	2	3	4
13 病児・病後児保育事業	1	2	3	4
14 休日保育事業	1	2	3	4
15 延長保育事業	1	2	3	4
16 定期利用保育事業	1	2	3	4
17 一時保育事業	1	2	3	4
18 幼稚園の預かり保育	1	2	3	4
19 ファミリー・サポート・センター事業	1	2	3	4
20 ショートステイ事業	1	2	3	4
21 トワイライトステイ事業	1	2	3	4
22 育児支援訪問事業	1	2	3	4
23 子育てひろば事業	1	2	3	4
24 妊婦健康診査費用助成	1	2	3	4
25 こんにちは赤ちゃん訪問事業	1	2	3	4
26 利用者支援事業 （子ども未来プラザや保健センターで行う、子育て支援事業 等に関する情報提供及び相談）	1	2	3	4
27 ベビーシッター利用支援事業	1	2	3	4
28 産後ケア事業	1	2	3	4
29 ゆりかご葛飾	1	2	3	4
30 若者相談窓口	1	2	3	4
31 暮らしのまるごと相談窓口 （「ヤングケアラー」など暮らしに関する困りごとの相談窓口）	1	2	3	4

5 子育て環境についてお伺いします。

あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

(34) 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。

非常に良い	良い	普通	やや悪い	悪い
1	2	3	4	5
(選んだ理由がありましたらご記入ください。)				

その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入されたアンケート用紙は、調査票を施設で受け取った場合は施設へ提出、

調査票を郵送にて受け取った場合は返信用封筒にて提出してください。

オンラインで回答した場合は紙での提出は不要です。

令和6年度 子育て支援に関するアンケート(お子様用)

● 調査票の回収方法 (以下の2つを選べます。)

① オンライン回答 (お子様と保護者様別々のタイミングで構いません)

- ・オンラインにより回答する場合は、以下を参考に回答を作成してください。

② 紙での回答

- ・回封の返信用封筒にて、お子様と保護者様別々に提出もできます。

● 回答期限

お手数ですが、

令和6年7月10日(水)までに

お願いいたします。

オンライン回答方法

この調査は、スマートフォンやパソコンから回答することができます。

1 調査票の最初のページ上部に印刷されているQRコードを読み取り、調査特設ページを開いてください。

(または、ブラウザで <https://kk24c.fmq.jp/Q/auto/ja/kk24c/s/> を開いてください。)

2 ID とパスワードを半角英数字で入力してください

「令和(れいわ)6年度(ねんど) 子育て(こそだ)て支援(しえん)に関(かん)するアンケート(お子様用(こさまよう))」
ユーザID・パスワードを入力(にゅうりよく)してください。

ユーザID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="ログイン"/>	

(上記 ID、パスワードで、回答した方が特定されることはありません)

3 画面に表示された説明文をよくお読みになり、画面下部の「次(つぎ)へ」をタップまたはクリックしてください。

令和(れいわ)6年度(ねんど) 子育て(こそだ)て支援(しえん)に関(かん)するアンケート(お子様用(こさまよう))


[ご協力(きょうりよく)のお願い(ねがい)]

葛飾区(かつしかく)では、令和(れいわ)2年(ねん)3月(がつ)に「第二期(だいにぎ)葛飾区(かつしかく)子(こ)ども・子育て(こそだ)て支援事業計画(しえんじぎょうけいかく)(令和(れいわ)2年度(ねんど)～令和(れいわ)6年度(ねんど))」を策定(さくてい)し、「子(こ)どもの幸(しあわ)せを第一(だいいち)に考(かん)がえ、全(すべ)ての子(こ)どもと子育て(こそだ)て家庭(かてい)に地域社会(ちいきしゃかい)全体(たい)が実現(じつげん)される『かつしか』を目指(めざ)していく。」ことを基本理念(きほんりねん)として子育て(こそだ)て支援(しえん)に取組(とりく)んでいます。

区民(くみん)の皆様(みなさま)には、子(こ)ども・子育て(こそだ)て支援事業計画(しえんじぎょうけいかく)の事業(じぎょう)がどの程度(ていど)役立(やくだ)っているのか率直(そっちよく)な評価(ひょうか)をしていただき、さらに事業(じぎょう)の充実(じゅうじつ)に努(つと)めて参(ま)りたいと考(かん)がえております。

お忙(いそ)しい中(なか)、誠(まこと)に恐縮(きょうしゆく)ではありますが、何卒(なにとぞ)ご協力(きょうりよく)のほどお願(ね)がい申(もう)し上(あ)げます。

なお、アンケートは無記名(むきめい)です。また、ご記入(きにゅう)いただいた内容(ないよう)は調査目的(ちょうさもくてき)以外(いがい)に使用(しよう)することはありませんので、ご安心(あんしん)ください。

- 4 それぞれの問いに対してあてはまる○ボタンまたは□ボタンを、タップまたはクリックしてください。黄色の★マークがついている質問は、必ず答えてください。
次のページへ進むには、ページ下部の  ボタンをタップまたはクリックしてください。

以下(い)かの質問(しつもん)にお答(こた)えください。

★黄色(きいろ)の星(ほし)マークがついている質問(しつもん)は、かならず答(こた)えてください。

1 それぞれの項目(こうもく)について、あなたの評価(ひょうか)に最(もっと)も近(ちか)いものを一(ひと)つお選(えら)びください。

(1)いろいろな悩(なや)みや心配(しんぱい)ごとがあっても、自分(じぶん)らしく生(い)き、成長(せいちょう)できるような支(し)援(えん)がされている。

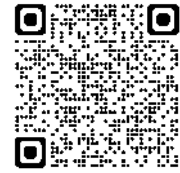
(答(こた)えは1つ) ★

- 1. そう思(おも)う
- 2. ややそう思(おも)う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりそう思(おも)わない
- 5. そう思(おも)わない
- 6. わからない

- 5 回答(かいとう)を中(ちゅう)断(だん)する場合は、ブラウザ(ばらうざ)を閉(と)じるか終(しゅう)了(りょう)してください。
- 6 回答(かいとう)を再(さい)開(かい)する場合は、あらためて1、2の手(て)順(じゆん)を進(すす)めると、前(ぜん)回(かい)終(しゅう)了(りょう)したペー(ぺー)じが開(ひら)くので続(つづ)きを回(かい)答(とう)してください。
- 7 下(か)記(き)の画(が)面(めん)が表(ひょう)示(じ)されたらア(あ)ンケ(け)ート(と)は全(すべ)て終(しゅう)了(りょう)です。ブラウザ(ばらうざ)を閉(と)じるか終(しゅう)了(りょう)してください。

以上(いじょう)で終(お)わりです。ご協(きょう)力(りょく)あ(あ)り(が)と(う)ご(ざ)い(ま)し(た)。

※ オンラインで回(かい)答(とう)した場合は、紙(かみ)で(てい)出(しゅつ)は必(ひつ)要(よう)あ(あ)り(ま)せ(ん)。



あいでいー ばす
ID : 00xxx PASS : xx00

すうじ
あてはまる数字に○をつけてください。

1 それぞれの項目について、あなたの評価に最も近いもの一つをお選びください。

(1) いろいろな悩みや心配ごとがあっても、自分らしく生き、成長できるような支援がされている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(2) 犯罪から守られる地域の取組が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(3) 安全・安心に利用できる公園が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(4) 災害時に守られる環境が整備されている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(5) 小学校に入る前の子どもとの交流や子どもを育てることについて学ぶ機会がある。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(6) 元気に楽しく学校に通っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(7) 学校では勉強に取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(8) 学校ではスポーツに取り組める環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(9) 学校と家庭や地域と一緒に、自分の個性を生かして活動できる環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(10) 家庭や学校などで楽しく食事の時間を過ごしている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(11) 虐待（暴力）から守られ、気軽に相談できる環境が整っている。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

(12) 障害のあるなしにかかわらず、一緒に学んだり、遊んだりできる場所が充実している。

そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1	2	3	4	5	6

2 子ども・子育て支援に関する情報についてお伺いします。

(13) 区で実施している子ども・子育て支援に関する施設・事業を知っていますか。

	利用したことがある	内容は知っているが利用したことはない	聞いたことはあるが内容をよく知らない	まったく知らない・聞いたことがない
1 学童保育クラブ	1	2	3	4
2 児童館	1	2	3	4
3 子ども総合センター	1	2	3	4
4 子ども未来プラザ	1	2	3	4
5 学習センター（学校図書館）	1	2	3	4
6 ファミリー・サポート・センター事業	1	2	3	4
7 若者相談窓口	1	2	3	4

3 環境についてお伺いします。

あなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。

(14) 自分の考えや判断を表現できる力を身につけ、大人に成長していく環境について、葛飾区の取組をどのように評価しますか。

非常に良い	良い	普通	やや悪い	悪い
1	2	3	4	5

（選んだ理由がありましたらご記入ください。）

その他ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入されたアンケート用紙は、同封の封筒をご使用ください。

オンラインで回答した場合は紙での提出は不要です。